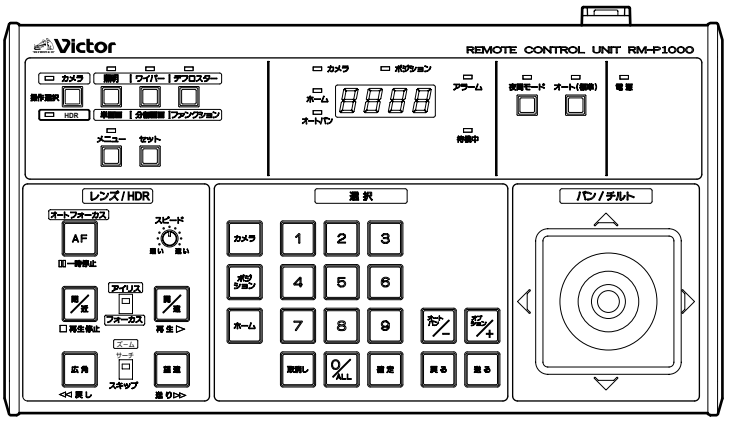
リモートコントロールユニット

型名 RM-P1000

取扱説明書 (B)



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0502-001B

特長

本機とシステムコントロールユニット (SW-U1403) およびコンビネーションカメラ（TK-S576B、TK-S655、TK-S625 など）を組み合わせた場合の特長です。

CCU を使用せず、TK-S576B、TK-S655、TK-S625、TK-S850 が接続可能

カメラコントロールユニット（CCU）を使わずにコンビネーションカメラ（TK-S576B、TK-S655、TK-S625 など）、同軸多重型ビデオカメラ（TK-S850 など）が最大 4 台まで（SW-U1403 を4台カスケード接続で、最大１６台まで）接続できます。

本機2台をカスケード接続可能

本機2台を接続することで、2ヶ所からの制御ができます。

最大 1600 ポジションまで設定可能

カメラ1台に最大 256 ポジションの設定ができます。（TK-S576B 使用時）

SW-U1403 をカスケード接続時、カメラ 16 台までのシステム運用ができ、最大 1600 ポジションの設定ができます。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　：操作上の注意が書かれています。

メモ　　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　　：参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書で記載していますリモートコントロールユニット “RM-P1000” とは (B) バージョンの商品であり、本文中では RM-P1000(B) を “RM-P1000” と表現しています。
- 本書で記載していますシステムコントロールユニット “SW-U1403” とは (B) バージョンの商品であり、本文中では SW-U1403(B) を “SW-U1403” と表現しています。
- 本書で記載していますハードディスクレコーダー “VR-509” とは (B) バージョン以降の商品であり、本文中では次の機種を “VR-509” と表現しています。
  - VR-509(B)
  - VR-509B(B)
  - VR-509N(B)
  - VR-509BN(B)
- 本書で記載していますハードディスクレコーダー “VR-516” とは VR-516/VR-516B の (B) バージョン以降の商品であり、本文中では次の機種を “VR-516” と表現しています。
  - VR-516(B)
  - VR-516B(B)
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

● 次のような場所に置かない

誤動作や故障の原因となります。

- 許容動作温度（0 ℃ ～ 50 ℃ ）範囲外の暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（30%RH ～ 80%RH）範囲外の湿気の多いところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 厨房など蒸気や油分の多いところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

● 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

● 本機の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

● 内部に物を入れない

通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。

その他

● 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。

● 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。

移動について

● 移動するときは接続コード類を外す

移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

お手入れについて

● お手入れは、電源を切ってから行なってください。

● 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

省エネについて

● 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

もくじ

はじめに

特長 2
正しくお使いいただくためのご注意 3
もくじ 4
各部の名称とはたらき 5

操作

AC アダプターの取り付け 9
電源を入れる 9
手動操作 11
　カメラを選択する 11
　ホームポジションを選択する 12
　プリセットポジションを選択する 14
　画角を調節する 16
オート動作 18
　シーケンス動作 18
　オートパン動作 20
夜間モード 21
　夜間モードにする 21
　夜間モードの解除 21
アラーム動作・解除について 22
　アラーム動作 22
　複数のアラーム入力時の動作 23
　アラーム入力時の優先モード 23
　アラーム解除 24
操作権限と優先リモコンについて 25
　操作権限と優先リモコンについて 25
　操作権限 25
　優先リモコン 25
VR-516C を接続する（RS-485 接続） 28
　接続 28
　接続設定 29
VR-516C を操作する（RS-485 接続） 30
　基本操作 30
　記録された映像を見る 31
　記録された映像を探す 33
　その他の操作 35
VR-509/VR-516/VR-777DX を接続する（RS-232C 接続） . . . 36
　接続 36
　接続設定（VR-509/VR-516） 37
　接続設定（VR-777DX） 37
VR-509/VR-516 を操作する（RS-232C 接続） . . . 38
　基本操作 38
　記録された映像を見る 39
　記録された映像を探す 41
　その他の操作 43
VR-777DX を操作する（RS-232C 接続） 44
　基本操作 44
　記録された映像を見る 45
　記録された映像を探す 47
　その他の操作 49
分割ユニット SW-D410/SW-D1600 の操作 50
　システム例 (SW-D410) 50
　SW-D410/SW-D1600 の接続設定 50

設定

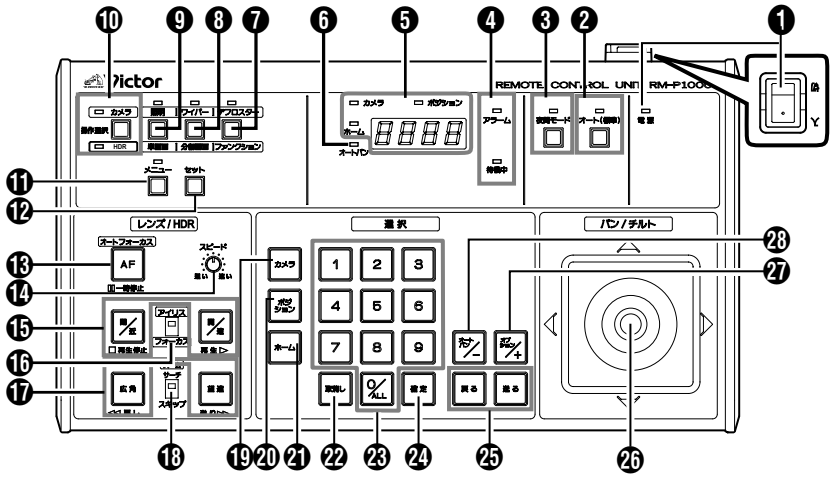
メニュー設定の手順 52
メニューの基本操作 53
　メニュー画面の起動 53
　設定値を変える 54
メニュー画面の流れ 56
システム設定 58
　SW-U1403 使用台数 58
　カメラ設定 58
　モニター出力設定 60
　外部接続機器設定 61
　リモコン設定 65
　アラーム設定 65
　夜間モード設定 66
カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定 . 67
ホームポジション設定 68
　ホームポジションの登録 68
　ホームポジションの映像設定 70
　ホームポジション設定画面 70
プリセットポジション設定 71
　プリセットポジション設定手順 71
　メニューの流れ 72
　ポジションヘッダーの表示設定 74
　ポジションヘッダーの編集 74
　プリセットポジションの登録 75
　プリセットポジションの映像設定 77
データ I/O 端子設定 78
　端子 A 設定 78
　端子 B 設定 79
設定時のメッセージ表示について 81
キーロック（誤操作防止） 82

その他

こんなときは 83
保証とアフターサービス 85
仕様 86

各部の名称とはたらき

コントロールパネル



❶ [電源] 電源スイッチおよび表示灯

電源の入 / 切スイッチです。
“ 入 ” 側にすると表示灯が点灯します。

❷ [オート（標準）] オート（標準）状態設定ボタンおよび表示灯

メニューで設定した、オート（標準）モードにする場合に押します。(☞ 18 ページ)“ON” のときには表示灯が点灯します。

❸ [夜間モード] 夜間モード設定ボタンおよび表示灯

夜間モードにする場合に押します。夜間モードの設定は接続のカメラの種類により異なります。“ON” のときには表示灯が点灯します。(☞ 21 ページ)

メモ :

- 夜間モードの設定によって、[カメラ夜間標準動作] を “ 連動 ” にすることができます。(☞ 66 ページ)

❹ アラームおよび待機中表示灯

- [アラーム] アラーム表示灯

  SW-U1403 、またはカメラ側からアラーム入力があると表示灯が点灯、点滅します。(☞ 22 ページ)

  点灯　：リモコンで操作中のカメラにアラーム入力がある場合。

  点滅　：リモコン操作中以外のカメラにアラーム入力がある場合。

- [待機中] 待機中表示灯

  点灯　：リモコンでの操作ができないときに点灯します。

メモ :

- RM-P1000（マスタ）または VR-516C を使用してメニュー操作を行なっているとき、RM-P1000（スレーブ）で点灯します。点灯中は操作不可です。

❺ [カメラ / ポジション / ホーム] 表示部および各表示灯

- カメラ / ポジション表示部

  ポジションが点灯しているときはポジション番号が表示され、カメラおよびホーム表示灯が点灯しているときは、カメラ番号が表示されます。

- [ポジション] ポジション表示灯

  “ ポジション ” が選択されているときに点灯します。

- [カメラ] カメラ表示灯

  “ カメラ ” が選択されているときに点灯します。

- [ホーム] ホーム表示灯

  ホームポジションのカメラが選択されているときに点灯します。

❻ [オートパン] オートパン動作表示灯

カメラ／ポジション表示部 ❺ に表示されている番号のカメラが、オートパン動作しているときに点灯します。

❼ [デフロスター / ファンクション] デフロスター操作ボタンおよび表示灯 / ファンクションボタン

- [デフロスター]

  屋外カメラハウジング用リレーボックス（RB-5129）を介してデフロスターのＯＮ / ＯＦＦ操作を行います。デフロスターが動作しているときは、表示灯が点灯します。

- [ファンクション]

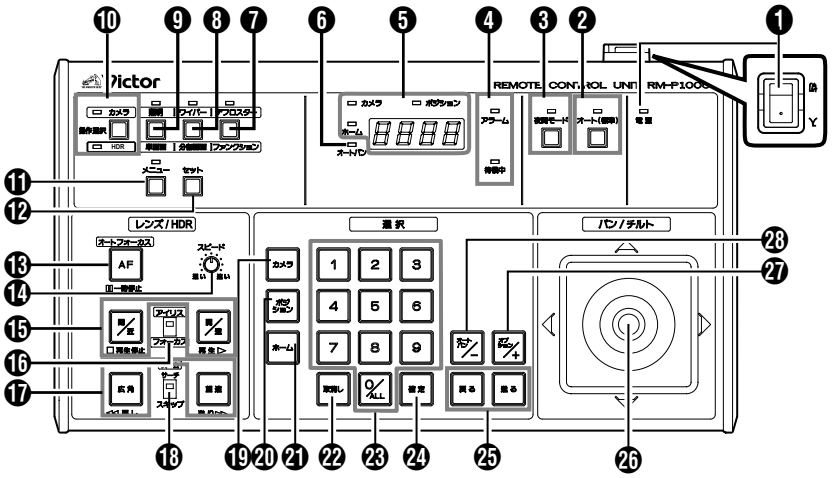
  VR-516C と RS-485 接続したときに使用します。

  [メニュー] と [ファンクション] ボタンを同時に押すと、VR-516C のメニュー画面を表示します。(☞ 35 ページ)

  また、分割画面表示中に [分割画面] と [ファンクション] ボタンを同時に押すと、分割画面が逆方向（16 分割→９分割）に切り換わります。(☞ 30 ページ)

各部の名称とはたらき (つづき)

コントロールパネル (つづき)



❽ [ワイパー/ 分割画面] ワイパー操作ボタンおよび表示灯 / 分割画面ボタン

● [ワイパー]

屋外カメラハウジング用リレーボックス（RB-5129）を介してワイパーの ON/OFF 操作を行います。ワイパーが動作しているときは、表示灯が点灯します。

● [分割画面]

[操作選択] 表示灯 ❿ で “HDR” が点灯しているときは、[分割画面] ボタンとして機能します。

❾ [照明/単画面]照明操作ボタンおよび表示灯/単画面ボタン

● [照明]

屋外カメラハウジング用リレーボックス（RB-5129）の AUX 端子の ON/OFF 操作を行います。AUX 端子が “ON” とき、表示灯は点灯します。リレーボックスのディップスイッチの 1 番ピンは “OFF” で使用してください。

● [単画面]

[操作選択] 表示灯 ❿ で “HDR” が点灯しているときは、[単画面] ボタンとして機能します。

❿ [操作選択]操作選択ボタンおよびカメラ/ HDR表示灯

本機で操作する対象を切り換えます。
“ カメラ ” 選択時はカメラの操作、“HDR” 選択時はハードディスクレコーダーなどの外部制御機器の操作が行えます。

⓫ [メニュー] メニューボタンおよび表示灯

約 1 秒間押すとメニュー画面が表示されます。
(☞ 53 ページ)
メニュー画面が表示されている間は、表示灯が点灯します。

⓬ [セット] セットボタンおよび表示灯

メニュー画面で各設定を登録する場合に押します。
[操作選択] ❽ が、“HDR” になっている場合は、[決定] ボタンとして機能します。

⓭ [オートフォーカス（AF）/▮▮ 一時停止] オートフォーカス / 一時停止ボタン

ピントの自動調節を行う場合に押します。
[操作選択]❿ が、“HDR” になっている場合は、[一時停止] ボタンとして機能します。

⓮ [スピード] スピード調節つまみ

フォーカス、ズームの動作スピードを調節するためのつまみです。

時計方向　：動作スピードが速くなります。

反時計方向　：動作スピードが遅くなります。

メモ :

● [操作選択] ❿ が “HDR” になっている場合は、サーチスピード調節つまみとして機能します。(☞ 31、39、45 ページ)

⓯ [アイリス（閉）（開）/ フォーカス（近）（遠）/■ 再生停止 /▶ 再生] アイリス / フォーカス操作ボタンおよび再生停止 / 再生ボタン

● [アイリス（閉）（開）]

[操作選択] ボタン ❿ で “ カメラ ” を選択し、[アイリス / フォーカス] 切換スイッチ ⓰ が “ アイリス ” に設定されている場合、レンズアイリスの操作が行えます。
(☞ 17 ページ)

閉：アイリス（絞り）を閉じます。

開：アイリス（絞り）を開きます。

● [フォーカス（近）（遠）]

[操作選択] ボタン ❿ で “ カメラ ” を選択し、[アイリス / フォーカス] 切換スイッチ ⓰ が “ フォーカス ” に設定されている場合、レンズフォーカスの操作が行えます。
(☞ 17 ページ)

近：近い被写体にピントをあわせます。

遠：遠い被写体にピントをあわせます。

メモ：
- フォーカス操作のスピードは、スピード調節つまみ ⓮ で調節できます。

● [再生停止 / 再生]

[操作選択] ボタン ⓾ で “HDR” を選択した場合、接続された HDR の再生停止、再生操作が行えます。

⓰ [アイリス/フォーカス]アイリス/フォーカス切換スイッチ

[アイリス（閉）（開）/ フォーカス（近）（遠）] 操作ボタン ⓯ の機能を切り換えます。

アイリス側　：アイリス（絞り）の操作が行えます。

フォーカス側：フォーカス（ピント）の操作が行えます。

⓱ [ズーム（広角）（望遠）/ サーチ（◀◀ 戻し）（送り ▶▶）/ スキップ（◀◀ 戻し）（送り ▶▶）] ズーム操作ボタン / サーチ操作ボタン / スキップ操作ボタン

● [ズーム（広角）/（望遠）]

[操作選択] ボタン ⓾ で “ カメラ ” を選択した場合、ズーム操作が行えます。

広角：被写体が小さくなります。

望遠：被写体が大きくなります。

メモ：
- ズーム操作のスピードは、スピード調節つまみ ⓮ で調節できます。

● [サーチ（◀◀ 戻し）（送り ▶▶）]

[操作選択] ボタン ⓾ で “HDR” が選択されている場合、HDR のサーチ操作が行えます。(☞ 31、39、45 ページ)

● [スキップ（◀◀ 戻し）（送り ▶▶）]

[操作選択] ボタン ⓾ で “HDR” が選択されている場合、HDR のスキップ操作が行えます。(☞ 32、40、46 ページ)

⓲ [ズーム/サーチ/スキップ]ズーム/サーチ/スキップ切換スイッチ

[ズーム（広角）（望遠）/ サーチ（◀◀ 戻し）（送り ▶▶）/ スキップ（◀◀ 戻し）（送り ▶▶）] 操作ボタン ⓱ の機能を切り換えます。

● ズーム

[操作選択] ボタン ⓾ で “ カメラ ” が選択されている場合、カメラのズーム操作が行えます。

● サーチ / スキップ

[操作選択] ボタン ⓾ で “HDR” が選択されている場合、サーチ / スキップの機能を切り換えます。

サーチ側　：サーチ操作が行えます。

スキップ側：スキップ操作が行えます。

⓳ [カメラ] カメラ選択ボタン

カメラを選択します。
カメラ選択中は [カメラ] 表示灯 ❺ が点灯し、カメラ表示部 ❺ に選択されたカメラ番号が表示されます。

⓴ [ポジション] ポジション選択ボタン

ポジションを選択します。
ポジション選択中は [ポジション] 表示灯 ❺ が点灯し、ポジション表示部 ❺ に選択されたポジション番号が表示されます。

㉑ [ホーム] ホームポジション選択ボタン

選択されたカメラをホームポジションに戻します。
ホームポジション選択中は [ホーム] 表示灯 ❺ が点灯します。

㉒ [取消] 取消しボタン

入力した番号を取り消す場合に使用します。

㉓ [0/ALL、1 ～ 9] テンキーボタン

カメラ番号、ポジション番号を入力する場合に使用します。
[0/ALL] は、場合に応じて [0] または [ALL]（全てを選択）を押します。

㉔ [確定] 確定ボタン

テンキー ㉓ で入力した番号を確定するときなど、操作を確定する場合に使用します。

㉕ [戻る / 送る] 番号戻しボタン / 番号送りボタン

カメラ番号、ポジション番号を戻す（もしくは送る）場合に押します。

㉖ [パン / チルト] パン / チルトコントロールレバー

選択されたカメラを、パン（水平）/ チルト（垂直）方向に回転させ、カメラの向きを調節します。
また、メニュー画面表示中は項目の選択や設定値の変更に使用します。

▲：回転台を上方向に動かします。

▼：回転台を下方向に動かします。

◀：回転台を左方向に動かします。

▶：回転台を右方向に動かします。

メモ：
- レバーの傾斜角度によって、パン / チルト動作のスピードを 8 段階で制御できます。(☞ 16 ページ)

㉗ [オプション/＋]オプション操作ボタン/数値増加操作ボタン

● [オプション]

[操作選択] ボタン ⓾ で “ カメラ ” が選択されている場合、複数のアラームが入っている状態で押すと、アラームカメラの切り換えができます。(☞ 22 ページ)

● [+]（VR-509/VR-516/VR-516C）

[操作選択] ボタン ⓾ で “HDR” が選択されている場合、メニュー上の数値を増加します。

㉘ [オートパン / ー] オートパン操作ボタンおよび表示灯 / 数値減少操作ボタン

● [オートパン]

[操作選択] ボタン ⓾ で “ カメラ ” が選択されている場合、設定されたポジションを設定時間間隔でパン（水平）方向に往復、あるいは回転するオートパン動作を開始します。オートパン動作中は [オートパン] 表示灯 ❻ が点灯します。

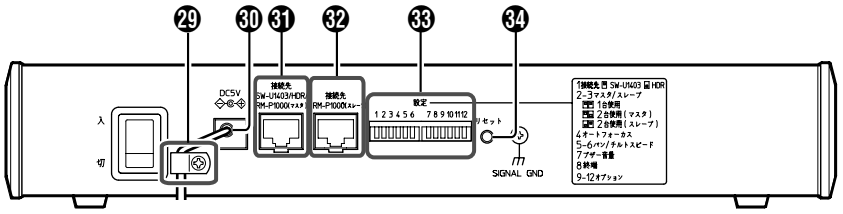
● [－]（VR-509/VR-516/VR-516C）

[操作選択] ボタン ⓾ で “HDR” が選択されている場合、メニュー上の数値を減少します。

メモ：
- カメラが、オートトレースモードに設定されている場合、設定されたトレース動作を行います。詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をお読みください。

各部の名称とはたらき (つづき)

リアパネル



㉙ ケーブルクランプ

AC アダプターのケーブルを本機に固定します。

(☞ 9 ページ)

㉚ [DC5V] 電源入力端子

付属の AC アダプターを接続します。

㉛ [接続先 SW-U1403/HDR/RM-P1000（マスタ）] コントロールコネクター 1（RJ-45)

システムコントロールユニット SW-U1403 もしくは、ハードディスクレコーダーなどと接続する端子です。

㉜ [接続先 RM-P1000（スレーブ）] コントロールコネクター 2（RJ-45)

2台目の RM-P1000（スレーブ）へ接続するコネクターです。RM-P1000（スレーブ）のコントロールコネクター 1㉛と接続します。

㉝ [設定 1 ～ 12] 設定切換ディップスイッチ

本機の設定を切り換えます。

ピン番号	機能	スイッチ設定	
1	接続先を切り換えます。	■	SW-U1403
			HDR（VR-516C）
2 3	本機のマスタ / スレーブを切り換えます。	■ ■	マスタ（1台のみ使用）
		■	マスタ（2 台カスケード接続時）
		■	スレーブ（2 台カスケード接続時）

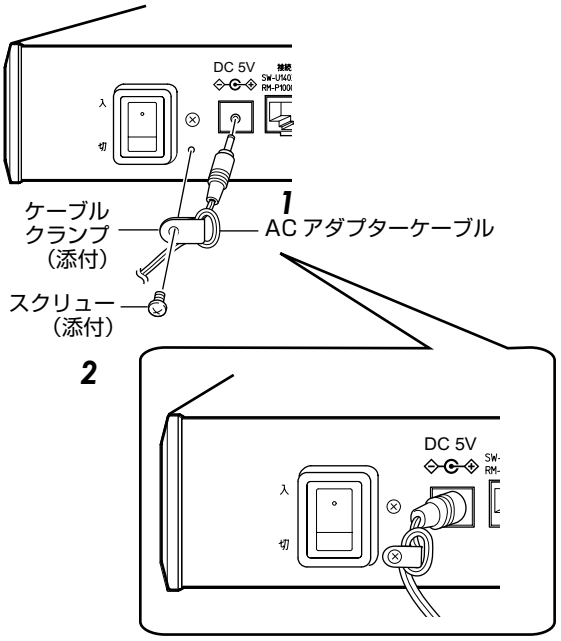
ピン番号	機能	スイッチ設定	
4	オートフォーカス機能をするボタンを設定します。	■	オートフォーカス（AF）ボタン
		■	オートフォーカス（AF）ボタン、フォーカス（近）（遠）ボタン同時押し
5 6	パン / チルトコントロールレバーの動作段階を切り換えます。	■ ■	8段階
		■ ■	5 段階
		■ ■	4 段階（速め）
		■ ■	4 段階（遅め）
7	ブザー音の大きさを設定します。	■	大
		■	小
8	終端を切り換えます。本機がスレーブの場合、終端に設定してください。	■	終端切
		■	終端入
9～12	サービス用です。さわらないでください。	―	

㉞ [リセット] リセットボタン

本機をリセットします。

AC アダプターの取り付け

付属の AC アダプターを本機に取り付けます。



1 AC アダプターケーブルを添付のケーブルクランプに 1 回巻きつける

アダプタープラグの抜けを防止するため、必ず巻きつけて取り付けてください。

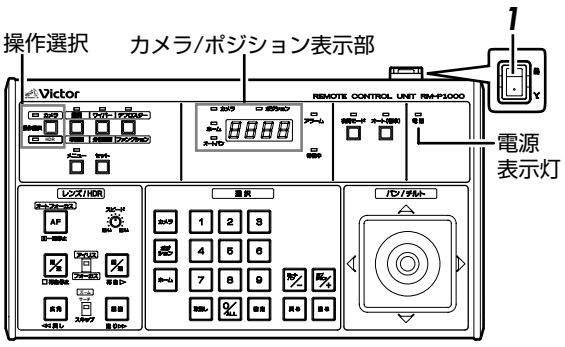
2 ケーブルクランプをリアパネルに取り付ける

添付のスクリュー（M3 × 8mm）を使い、ケーブルクランプを本機背面に固定します。

ご注意：

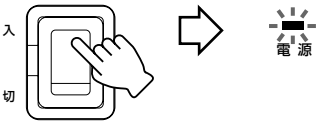
- 付属の AC アダプター以外のアダプターを使用しないでください。

電源を入れる

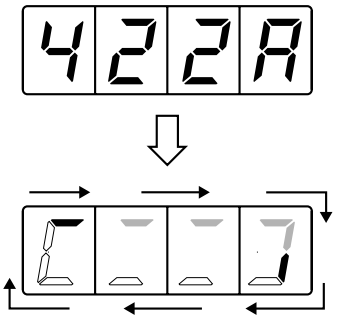


1 電源スイッチを “ 入 ” にする

- 「ピッ」とブザー音が鳴り、電源が入り、電源表示灯が点灯します。



- カメラ／ポジション表示部に「422A」と表示されたあと、回転します。



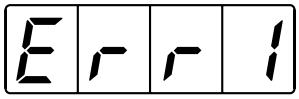
メモ：

- SW-U1403 システムでは、電源投入時 [オート（標準）] 表示灯が点灯し、[操作選択] は “ カメラ ” が選択されています。
- 本機のみの電源を再投入した場合は、電源を切る前の状態に戻ります。
- SW-U1403との初期通信中は[待機中]表示灯が点灯し、消灯後オート（標準）状態となります。

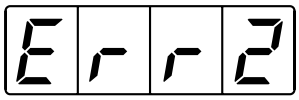
電源を入れる（つづき）

■ エラー表示

- 本機と SW-U1403 の通信が、正しく行われていない場合、カメラ／ポジション表示部に “Err 1” と表示されます。接続ケーブルやシステム電源を確認してください。



- リモートコントロールユニットの設定が実際の接続と異なる場合、カメラ／ポジション表示部に “Err2” と表示されます。



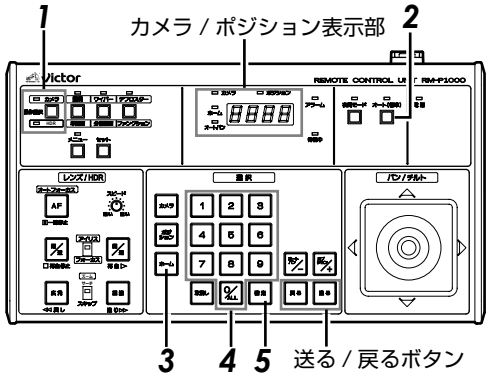
例） [外部接続機器設定 ..] の [接続機種] を “SW-D410” と設定し、[SW-D410 接続設定] の [リモコン２→モニター出力] を “ なし ” と設定した場合に、リモコン２が接続されているとき。

- リモコン２の接続をはずしたあと、リモコン１の電源を入れ直し、設定を確認してください。

手動操作

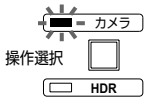
カメラを選択する

カメラ番号を指定して、映像を確認します。



1 [操作選択]が“カメラ”になっていることを確認する

- 電源投入時[操作選択]は“ カメラ”となっており、[カメラ] 表示灯が点灯しています。

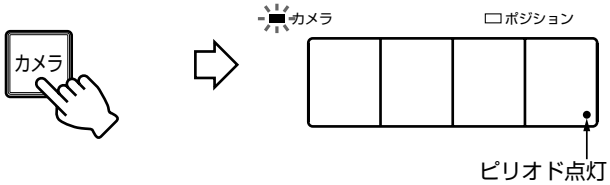


2 [オート（標準）] を押し、オート（標準）状態を解除する

- [オート（標準）] 表示灯が消え、シーケンス動作 (☞ 18 ページ) が解除されます。

3 [カメラ] を押す

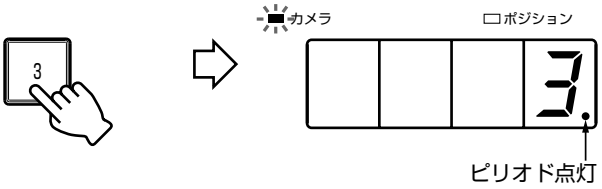
- カメラ選択モードとなります。
  カメラ／ポジション表示部にピリオドが点灯表示され、[カメラ] 表示灯が点灯します。



4 カメラ番号を入力する

- **例：カメラ 3 を選択する場合**

  テンキーの [3] を押します。
  - カメラ／ポジション表示部に “3” と表示されます。

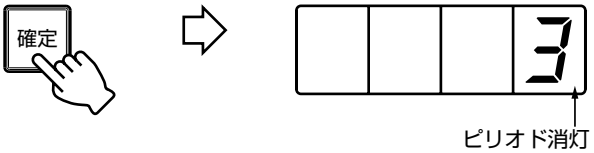


メモ：

- 入力を間違えた場合は[取消し]ボタンを押してください。

5 [確定] を押す

- 選択したカメラの映像に切り換わります。
- ピリオドが消灯します。



メモ：

- 入力した番号のカメラがないときは、「ピッ」と音がして手順 ***3*** のカメラ番号入力待ち状態に戻ります。
- 再度テンキーでカメラ番号を入力し、[確定] ボタンを押すと、入力した番号のカメラ映像に切り換わります。

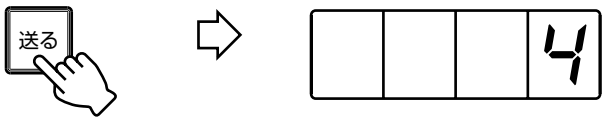
手動操作（つづき）

カメラを選択する（つづき）

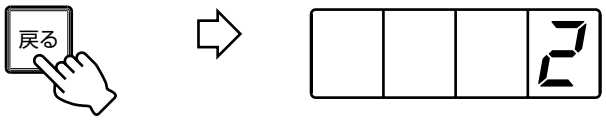
■ 別のカメラを選ぶ

選択されたカメラ番号の前後のカメラを選択します。

● [送る] を押す
- 次の番号のカメラ映像に切り換わります。



● [戻る] を押す
- 前の番号のカメラ映像に切り換わります。

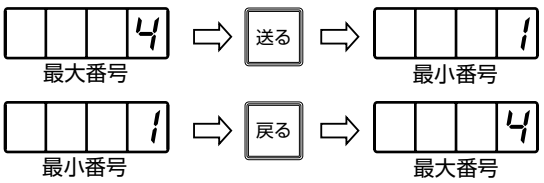


メモ：
- 選択したカメラ番号の前後にカメラがない場合に[戻る]/[送る] ボタンを押すと、自動的に次のカメラ番号まで飛びます。

  例：カメラ 1 の次がカメラ 3 の場合

- カメラ番号の最大番号および最小番号で[戻る]/[送る]ボタンを押したとき、最大番号の場合は最小番号へ、最小番号の場合は最大番号へ飛びます。

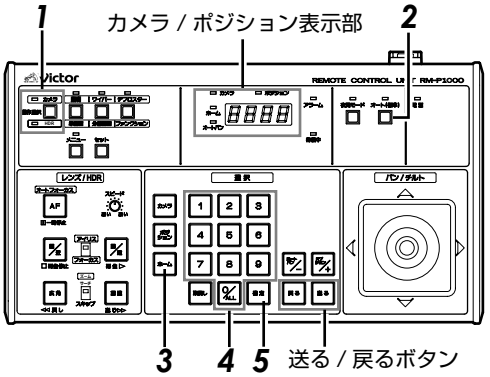
  例：カメラが 1 ～ 4 台まで登録されている場合



ホームポジションを選択する

カメラ番号を指定して、見たいカメラのホームポジションを見ることができます。

ホームポジションとは：
- 各カメラには、プリセットポジション（1 台につき 255 ポジション：TK-S576B、63 ポジション：TK-S655、31 ポジション：TK-S625、2 ポジション：TK-S850）とは別に 1 ポジションがホームポジションとして設定されています。
- 固定カメラの映像も選択できます。
- 固定カメラの場合、オートシーケンスでモニターに表示される映像はホームポジションの映像です。(☞ 18 ページ)

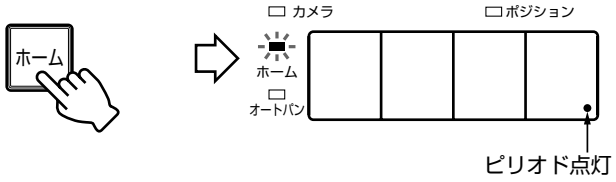


1 [操作選択]が“カメラ”になっていることを確認する
- 電源投入時[操作選択]は“ カメラ ”となっており、[カメラ] 表示灯が点灯しています。

2 [オート（標準）] を押し、オート（標準）状態を解除する
- [オート（標準）] 表示灯が消え、シーケンス動作 (☞ 18 ページ) が解除されます。

3 [ホーム] を押す

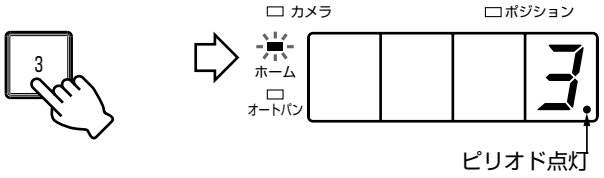
- ホームポジション番号入力待ち状態となり、ピリオドが点灯します。
- [ホーム] 表示灯が点灯します。



4 ホームポジション番号を入力する

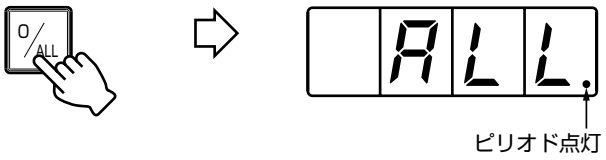
● 例 1：カメラ 3 のホームポジションを選択する場合

テンキーの [3] を押します。



● 例 2：全てのカメラをホームポジションにする場合

テンキーの [0/ALL] を押します。

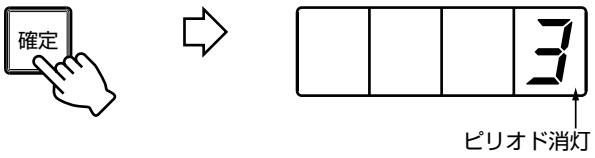


メモ：

- 入力を間違えた場合は [取消し] を押してください。

5 [確定] を押す

- 選択したカメラのホームポジション映像に切り換わります。
- ピリオドが消灯します。



メモ：

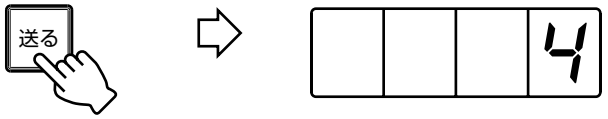
- 入力した番号のカメラがないときは、「ピッ」と音がして手順 ***3*** のホームポジション番号入力待ち状態に戻ります。
- 再度テンキーでカメラ番号を入力し、[確定] ボタンを押すと、選択したカメラのホームポジション映像に切り換わります。

■ 別のカメラのホームポジションを選ぶ

選択されたホームポジションの前後のカメラのホームポジションを選択します。

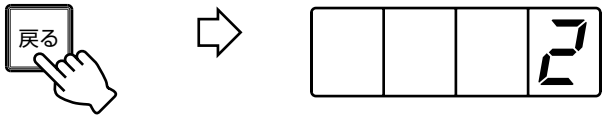
● [送る] を押す

- 次のカメラのホームポジション映像に切り換わります。



● [戻る] を押す

- 前のカメラのホームポジション映像に切り換わります。



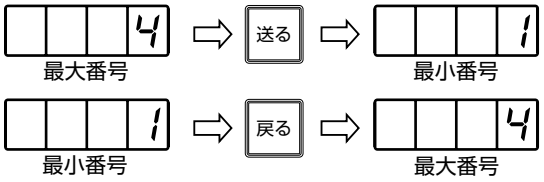
メモ：

- 選択したカメラ番号の前後にカメラがない場合に [戻る]/[送る] ボタンを押すと、自動的に次のカメラ番号のホームポジションまで飛びます。

  例：カメラ 1 の次がカメラ 3 の場合

- カメラ番号の最大番号および最小番号で [戻る]/[送る] ボタンを押したとき、最大番号の場合は最小番号へ、最小番号の場合は最大番号へ飛びます。

  例：カメラが 1 ～ 4 台まで登録されている場合



手動操作（つづき）

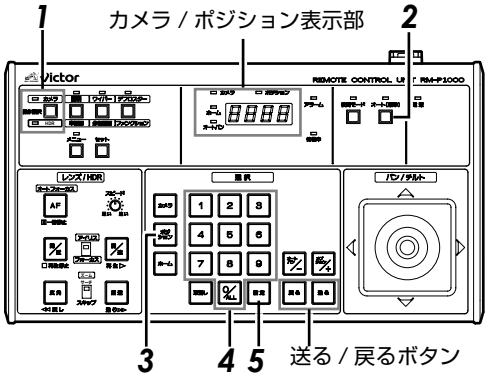
プリセットポジションを選択する

見たいポジションの映像を見ることができます。

プリセットポジションとは：

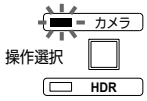
- 各カメラには、あらかじめ用途に合わせたポジション（プリセットポジション）が登録されています。
- 登録できるポジションは、カメラにより異なります。

TK-S576B : 255 ポジション
TK-S655 ：63 ポジション
TK-S625 ：31 ポジション
TK-S850 ：2 ポジション



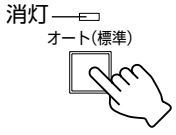
1 [操作選択]が“カメラ”になっていることを確認する

- 電源投入時[操作選択]は“カメラ”となっており、[カメラ] 表示灯が点灯しています。



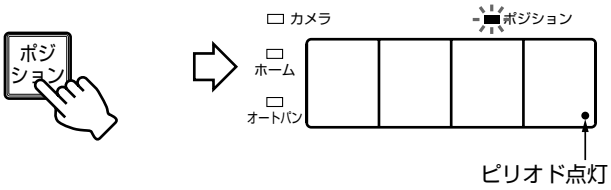
2 [オート（標準）] を押し、オート（標準）状態を解除する

- [オート（標準）] 表示灯が消え、シーケンス動作（☞ 18 ページ) が解除されます。



3 [ポジション] を押す

- プリセットポジション番号入力待ち状態となり、ピリオドが点灯します。
- [ポジション] 表示灯が点灯します。



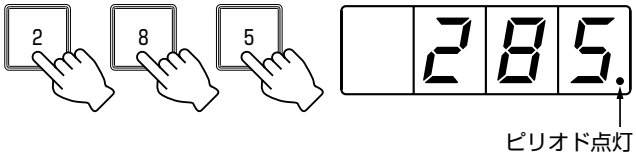
メモ：

- プリセットポジション番号入力待ち状態で、[確定] ボタンを押すと、表示可能なポジションの中で最小番号のポジションが選択されます。

4 プリセットポジション番号を入力する

● 例：285 番のプリセットポジションを選択する場合

テンキーの [2]、[8]、[5] を押します。

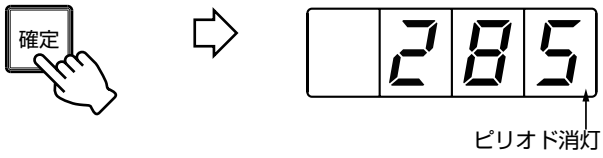


メモ：

- 入力を間違えた場合は[取消し]ボタンを押してください。

5 [確定] を押す

- 選択したプリセットポジションの映像に切り換わります。
- ピリオドが消灯します。



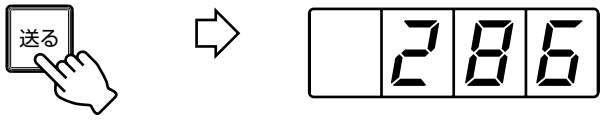
メモ：

- 入力した番号のプリセットポジションが設定されていないときは、「ピッ」と音がして手順 ***3*** のプリセットポジション番号入力待ち状態に戻ります。
- 再度テンキーでプリセットポジション番号を入力し、[確定] ボタンを押すと、選択したプリセットポジションの映像に切り換わります。

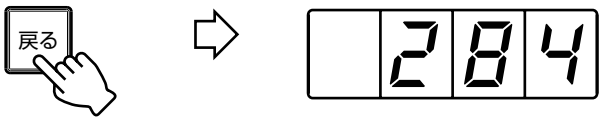
■ 別のプリセットポジションを選ぶ

選択されたプリセットポジションの前後のポジションを選択します。

● **[送る] を押す**
  ● 次のポジション番号の映像に切り換わります。



● **[戻る] を押す**
  ● 前のポジション番号の映像に切り換わります。



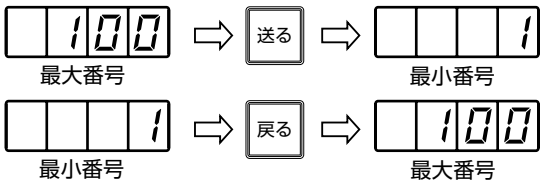
メモ：

● 選択したプリセットポジション番号の前後にポジションがない場合に [戻る]/[送る] ボタンを押すと、自動的に次のポジションまで飛びます。

例：286 ポジションの次が 289 ポジションの場合

● プリセットポジション番号の最大番号および最小番号で [戻る]/[送る] ボタンを押したとき、最大番号の場合は最小番号へ、最小番号の場合は最大番号へ飛びます。

例：プリセットポジションが 1 ～ 100 番まで登録されている場合

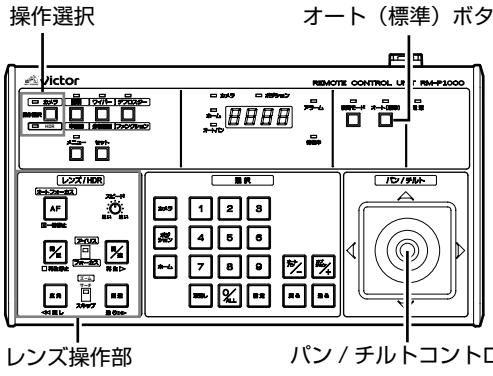


手動操作（つづき）

画角を調節する

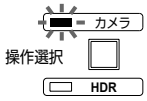
パン／チルト操作およびレンズ操作により、選択したカメラ・ポジションを見たい画角に設定することができます。

■ マニュアル操作したい映像の選択



1 [操作選択]が“カメラ”になっていることを確認する

- 電源投入時[操作選択]は“カメラ”となっており、[カメラ] 表示灯が点灯しています。



2 [オート（標準）] を押し、オート（標準）状態を解除する

- [オート（標準）] 表示灯が消え、シーケンス動作 (☞ 18 ページ) が解除されます。

3 マニュアル操作したい映像を選択する

カメラ番号、ホームポジション番号、プリセットポジション番号を入力し、マニュアル操作したい映像を選択します。

(☞ 11 ページ)(☞ 12 ページ)(☞ 14 ページ)

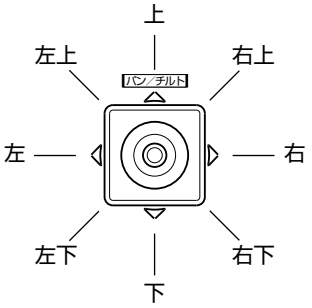
- モニター表示されている映像を手動で操作し、映像を見たい画角に調節することができます。

■ パン／チルトコントロールレバーの操作

● カメラの方向を変える

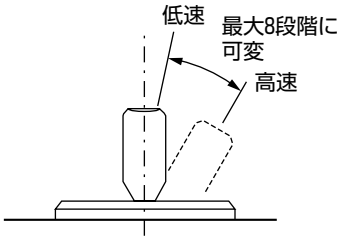
パン／チルトコントロールレバーを操作し、カメラの方向を変えます。

- パン / チルトコントロールレバーを傾けると、傾けた方向に応じてカメラの回転部分が回転し、カメラの方向が変わります。

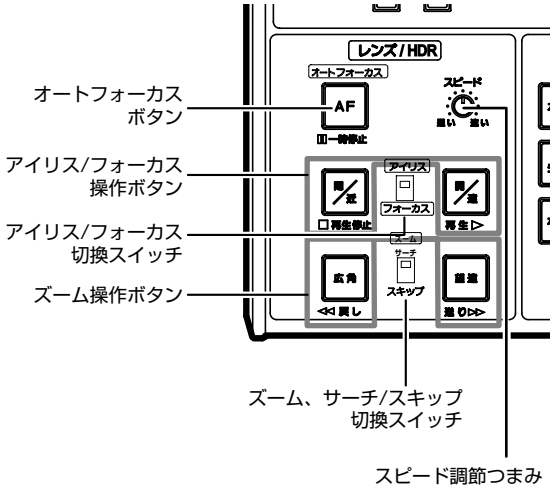


● カメラの動作スピードを調節する

レバーの傾きに応じて、カメラの動作スピードが 8 段階に可変します。



■ レンズ操作

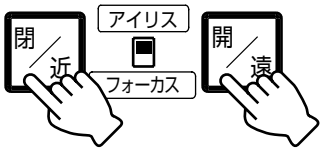


● **アイリス（明るさの調節）**

[アイリス / フォーカス] 切換スイッチを “ アイリス ” 側にし、[閉]/[開] ボタンでアイリスを調節します。

[閉]：アイリス（絞り）を閉じる

[開]：アイリス（絞り）を開く

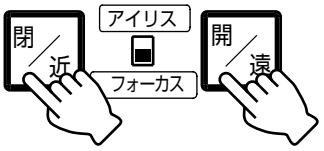


● **フォーカス（ピントの調節）**

[アイリス / フォーカス] 切換スイッチを “ フォーカス ” 側にし、[近]/[遠] ボタンでピントを調節します。

[近]：近い被写体にピントを合わせる

[遠]：遠い被写体にピントを合わせる



メモ：

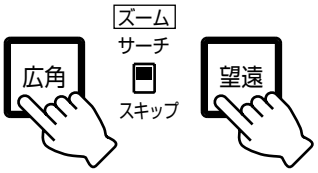
- フォーカス操作のスピードは、スピード調節つまみで調節できます。

● **ズーム（被写体のサイズ調節）**

[広角]/[望遠] ボタンでズームを調節します。

[望遠]：被写体が大きくなる

[広角]：被写体が小さくなる



メモ：

- ズーム操作のスピードは、スピード調節つまみで調節できます。

● **オートフォーカス（ピントの自動調節）**

[オートフォーカス（AF）] ボタンを押し、ピントを自動調節します。

オート動作

シーケンス動作

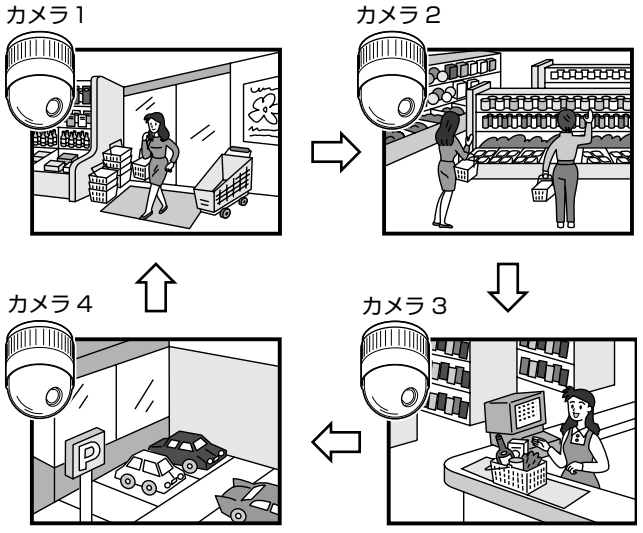
[オート（標準）] ボタンを押すと、全てのカメラ、モニターの状態がオート（標準）モードになり、シーケンス動作が開始されます。

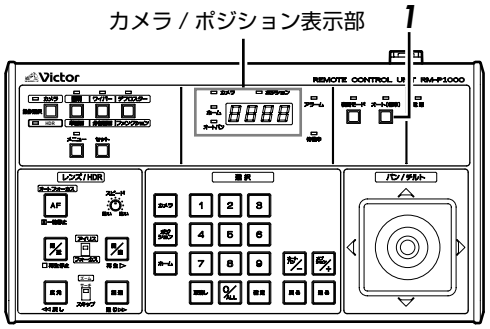
シーケンス動作とは：

- 各カメラのホームポジション（もしくはプリセットポジション）映像を一定時間間隔で切り換えてモニターに表示する機能です。
- シーケンス動作には、オートシーケンス動作とプリセットシーケンス動作があります。
  (☞ 19 ページ)
- 「オートシーケンス」、「プリセットシーケンス」どちらかの選択と、切換時間の設定が行えます。
  “ モニター出力設定 ” (☞60 ページ)

例：カメラ 1 ～ 4 のオートシーケンス

（プリセットシーケンスの場合は、カメラではなくポジションの映像を切り換えます。）



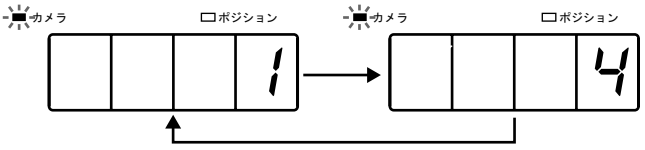


1 [オート（標準）] を押す

- [オート（標準）] 表示灯が点灯し、シーケンス動作を開始します。

- カメラ / ポジション表示部にカメラ番号（またはプリセット番号）が順番に表示されます。

例：カメラ 4 台が接続されている場合



■ シーケンス動作の解除

シーケンス動作を解除する場合は、再度 [オート（標準）] ボタンを押します。

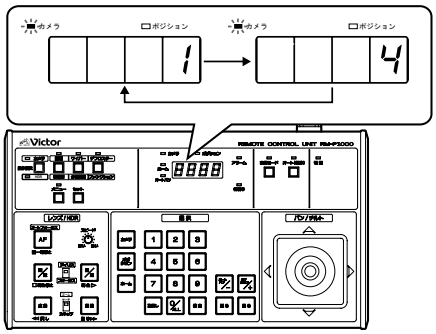
メモ：

- システム設定 [カメラタイプ / 標準状態設定 ..] 項目で標準状態が “ オートパン ” に設定されている場合、オートパン動作をしながら、シーケンス動作をします。
  “ オートパン動作 ” (☞20 ページ)
  “ カメラタイプ / 標準状態設定 ” (☞58 ページ)
- プリセットシーケンス中に、システム設定 [カメラタイプ / 標準状態設定 ..] 項目で標準状態が “ オートパン ” に設定されているカメラが選択された場合、オートパン動作を停止し、プリセットポジションに移動します。このとき、カメラ設定 [オートリターン動作時間] を “ なし ” 以外に設定していると再びカメラはオートパン動作に戻りますが、“ なし ” に設定しているとオートパン動作には戻りません。
- シーケンス動作中マニュアル操作（カメラ、ホームポジション、プリセットポジション選択など）はできません。
- 再度 [オート（標準）] ボタンを押すと、シーケンス動作はとまります。モニターには、とまったときに表示されていたカメラの映像が出力されます。さらにもう一度 [オート（標準）] ボタンを押すと、次のシーケンス対象のカメラ映像からシーケンス動作を再開します。
- シーケンス動作中にメニューを起動すると、シーケンス動作はとまります。

■ オートシーケンス動作

オートシーケンス動作とは：
- 接続カメラのホームポジションの映像を、一定時間間隔で切り換えてモニターに表示します。
- 切換時間の設定もできます。(☞ 60 ページ)

例：カメラ 4 台が接続されている場合

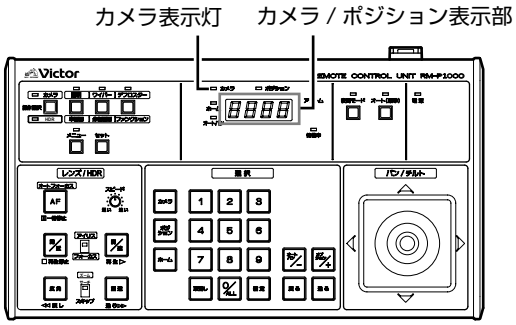


- 一定時間間隔でモニター画面の映像が切り換わると同時に、カメラ／ポジション表示部の表示も切り換わります。
- カメラ表示灯が点灯します。

メモ：
- システム設定 [カメラタイプ / 標準状態設定 ..] 項目で標準状態が “ オートパン ” に設定されている場合、オートパン動作をしながら、シーケンス動作をします。“ ホーム ” に設定されている場合は、ホームポジションでオートシーケンス動作をします。
  “ オートパン動作 ” (☞20 ページ)
  “ カメラタイプ / 標準状態設定 ” (☞58 ページ)
- [オートシーケンス設定 ..] の詳細は、[システム設定 ..] の “ モニター出力設定 ” (☞60 ページ) をご覧ください。

■ プリセットシーケンス動作

プリセットシーケンス動作とは：
- 設定されているプリセットポジションの映像を一定時間間隔で切り換えてモニターに表示します。
- 開始プリセット番号、終了プリセット番号、切り換え時間の設定ができます。(☞ 60 ページ)



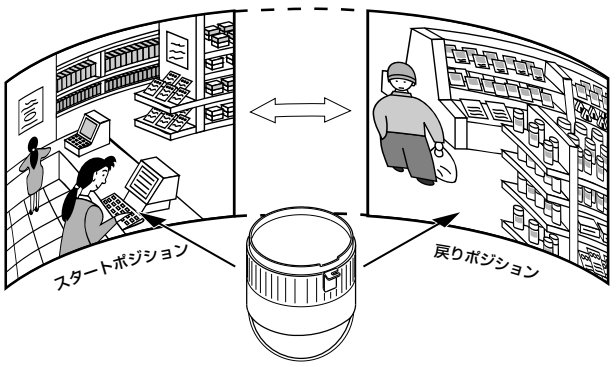
- 一定時間間隔でモニター画面の映像が切り換わると同時に、カメラ／ポジション表示部の表示も切り換わります。
- カメラ／ポジション表示部には、出力されているポジションの登録されているカメラ番号（もしくはプリセット番号）が表示されます。(☞ 60 ページ)
- [カメラ] 表示灯が点灯します。

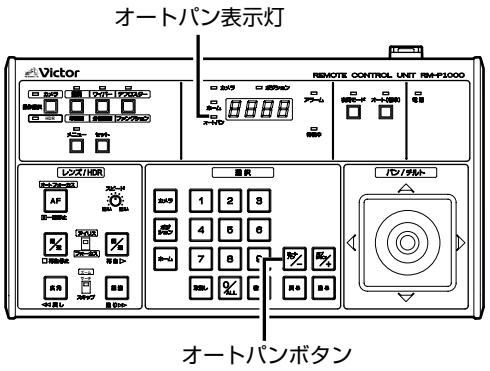
メモ：
- システム設定 [カメラタイプ / 標準状態設定 ..] 項目で標準状態が “ オートパン ” に設定されている場合でも、プリセットシーケンス中は “ オートパン ” 動作しません。
  “ オートパン動作 ” (☞20 ページ)
  “ カメラタイプ / 標準状態設定 ” (☞58 ページ)
- プリセットシーケンスを一度解除し再開すると、停止時のポジション番号の次の番号から動作を再開します。
- プリセットシーケンス解除後、カメラ／ポジション表示部にはポジション番号が表示されます。
- [プリセットシーケンス] 設定の詳細は、[システム設定 ..] の “ モニター出力設定 ” (☞60 ページ) をご覧ください。

オート動作（つづき）

オートパン動作

あらかじめ設定されたポジション間を一定の速さでゆっくり水平方向に往復します。2 つのポジション間の映像を見たいときに設定します。
スタートポジションと戻りポジションは、各カメラごとにカメラ側のメニューで設定します。





1 **カメラを選択する** (☞ 11 ページ)

2 **[オートパン] を押す**

- [オートパン] 表示灯が点灯します。
- その時点で選択されているカメラ（もしくはポジションを映しているカメラ）が、オートパン動作を開始します。

メモ :

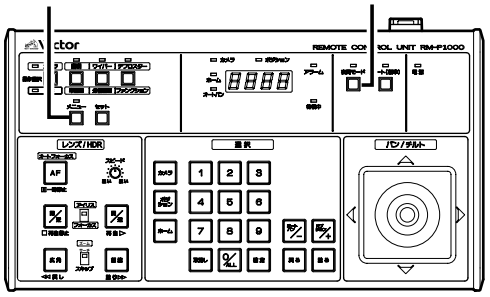
- オートパン動作の設定はカメラ側のメニューで行います。メニュー画面を起動させ (☞ 53 ページ)[カメラメニュー設定 ..] 項目でカメラ側のメニューを呼び出して設定します。
  接続カメラの種類によっては、メニューが異なります。詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。
- カメラ側のメニュー設定により、“ オートパン ” の他に “ オートトレース ” 動作を設定することもできます。詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。
- [システム設定..]の[カメラタイプ/標準状態設定..]項目で、標準状態の設定が “ オートパン ” に設定されている場合、オート（標準）モード時、オートパン動作をしながらシーケンス動作をします。
  “ オート動作 ” (☞18 ページ)
  “ カメラタイプ / 標準状態設定 ” (☞58 ページ)

夜間モード

夜間モードにする

カメラを夜間モードに設定します。

メニューボタン　　夜間モードボタン



1 [夜間モード] を押す

- [実行ディレイタイマー設定 ..] 項目で設定した時間の経過後に夜間モードに切り換わります。(☞ 66 ページ)。
- タイマー動作中 [夜間モード] 表示灯は点滅し、夜間モード動作中は点灯します。

メモ :

- [実行ディレイタイマー設定 ..] 項目は、“ なし ”、“ 30 秒 ”、“ 1 分 ”、“ 2分 ” の中から選択できます。設定した時間の経過後に夜間モードに切り換わります。(☞ 66 ページ)
- [カメラ夜間標準動作]項目が“ 連動 ” に設定されている場合、夜間モードに入ると、システム設定の [カメラタイプ / 標準状態設定](☞ 58 ページ) で設定された夜間標準モードになります。
- 夜間モード中に [メニュー] ボタンを押すと、夜間モードが解除され、メニューに入ります。夜間モードは 1 度解除されると、メニューが終了しても復帰しません。再度 [夜間モード] ボタンを押してください。
- 夜間モードはカメラ側のメニューで設定します。メニュー画面を起動させ、カメラ側のメニューを呼び出して設定してください。(☞ 53 ページ)
- 接続カメラの種類によってカメラメニューが異なります。詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。

夜間モードの解除

夜間モードを解除する場合は、再度［夜間モード］ボタンを押します。

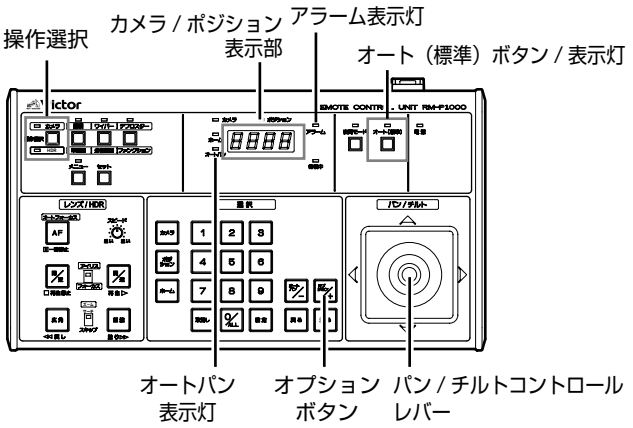
メモ :

- 夜間モードを解除するとき、[カメラ夜間標準動作] 項目が “ 連動 ” に設定されている場合は、カメラ設定の [カメラタイプ / 標準状態設定 ..] で設定されている標準状態になります。

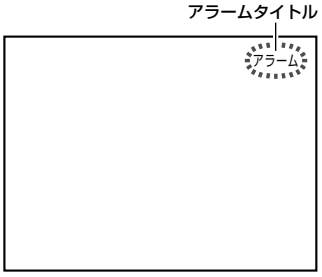
アラーム動作・解除について

アラーム動作

登録されているプリセットポジションにアラーム入力があると、本システムは以下のアラーム動作を行います。



- カメラはアラーム入力のあったポジションに移動します。
- モニターはアラーム動作中のカメラ映像を表示します。
- [アラーム] 表示灯が点灯します。
- カメラ／ポジション表示部にアラーム入力のあったポジション番号が表示されます。
- アラーム動作中、オート動作（オートシーケンス、プリセットシーケンス、オートパン）は停止し、[オート（標準）] 表示灯、[オートパン] 表示灯は消灯します。
- 設定されたアラームタイトルがモニター上に表示されます。(☞ 79 ページ)



＜モニター上のアラームタイトル表示例＞

メモ：

- [外部接続機器設定 ..] の [接続機種] を “VR-516C(RS-485)” と設定し、VR-516C 側の設定で [本体アラーム検出表示] が “入” になっている場合、VR-516C のアラームにより、SW-U1403 はアラーム動作を行います。また、カメラはホームポジションに移動します。詳しくは VR-516C の「 取扱説明書 」をご覧ください。

■ アラーム表示灯について：

点灯　：モニターに表示中のカメラにアラームが入ったとき。

点滅　：モニターに表示中のカメラではないカメラ（モニターに表示可能）にアラームが入ったとき。

消灯　：モニターに表示できないカメラにアラームが入ったとき。

メモ：

- [アラーム] 表示灯の状態は、モニター表示中のカメラ映像の状態と一致しますが、カメラ／ポジション表示部に表示されるポジション番号とは一致しない場合があります。

■ アラーム検索について：

複数のアラーム入力があった場合、[オプション] ボタンでアラームカメラを切り換えることができます。

※ [システム設定..] の [リモコンオプションキー] 項目が “ アラーム切換 ” に設定されている場合のみ (☞ 65 ページ)

■ アラーム動作の制約事項：

- アラーム優先モードで、アラーム状態のカメラを表示中、（アラーム表示灯は点灯中）リモコンでのパン／チルト操作、およびレンズ操作はできません。
- アラーム状態のカメラがあるとき（[アラーム] 表示灯は点灯あるいは点滅中）、メニューの起動はできません。

※ メニュー起動中（メニュー画面表示中）は、アラームを受け付けません。

複数のアラーム入力時の動作

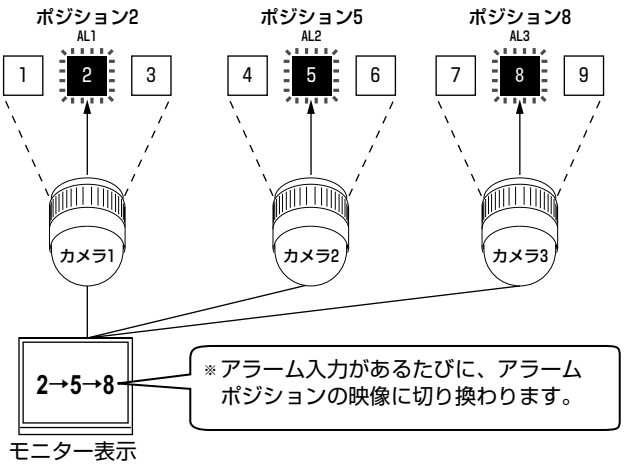
複数のアラーム入力があった場合、カメラの動作とモニター表示は以下のようになります。

例：ポジション2→ポジション５→ポジション8の順番でアラーム入力があった場合

● アラーム１：
ポジション２にアラーム入力
⇨ カメラ１がポジション２に切り換わり、ポジション２の映像がモニターに表示されます。

● アラーム２：
続けて、ポジション５にアラーム入力
⇨ カメラ２がポジション５に切り換わり、ポジション５の映像がモニターに表示されます。

● アラーム３：
続けて、ポジション８にアラームが入ると、
⇨ カメラ３がポジション８に切り換わり、ポジション８の映像がモニターに表示されます。



設定条件
カメラ１：ポジション１～３
カメラ２：ポジション４～６
カメラ３：ポジション７～９ で登録

アラーム入力時の優先モード

アラーム入力時のモニター制御に関して、マニュアル優先モードかアラーム優先モードを選択することができます。(☞ 65 ページ)

■ マニュアル優先モード

- モニターでマニュアル操作しているカメラにアラーム入力があった場合、マニュアル操作が優先となり、アラーム動作はしません。アラームタイトルをモニター画面上に表示します。
- ただし、マニュアル操作中でも以下の場合はアラーム動作を行います。
  - オート（標準）状態
  - ホームポジション状態
  - オートパン中
  - カメラ側のアラームが入ったとき
- マニュアル操作をしているときに他のカメラにアラームが入った場合、カメラはアラーム状態になりますが、モニターにはマニュアル操作中のカメラの映像が表示されたまま切り換わりません。

メモ：
- カメラ側のアラームが入った場合は、マニュアル優先に設定されていてもアラーム動作を行います。
- 優先タイムアウトの残り時間 (☞ 25 ページ) が無いときにアラームが入った場合は、アラーム動作を行います。

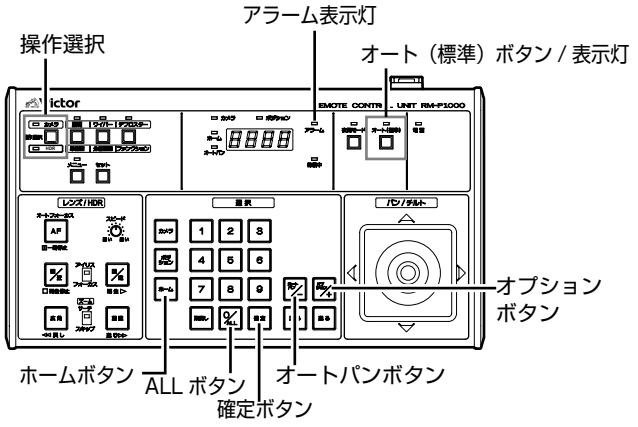
■ アラーム優先モード

- メニュー表示中以外はアラームを優先し、アラーム動作となります。

アラーム動作・解除について（つづき）

アラーム解除

アラームの解除方法は３通りあります。

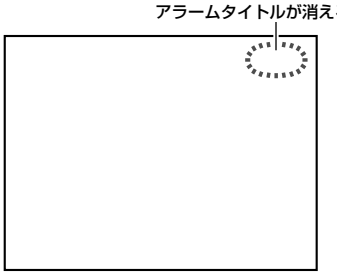


■ 自動解除

設定された時間が経過するとアラームは自動的に解除されます。“ アラーム戻り時間 ”（☞65 ページ）

● 解除後の動作

- カメラはアラーム入力前の標準状態（ホームポジション、あるいはオートパン）に戻ります。
- アラーム表示灯が消灯します。
- モニターがシーケンス動作中にアラームが入るとシーケンス動作（オートシーケンス、プリセットシーケンス）に戻ります。
- モニター上のアラームタイトルが消えます。
- マニュアル操作中のカメラの場合は、マニュアル操作を継続します。



＜モニター上のアラームタイトル表示例＞

メモ：

- 解除までの時間は[アラーム戻り時間]（☞65ページ）で設定できます。
- アラームタイトルの表示は、接続カメラの種類によって異なります。

■ 手動解除

下記の操作によりアラームが解除できます。

- アラーム中のカメラを選択する
  ⇨ そのままの映像でアラームが解除されます。
- ポジションを選択する
  ⇨ 選択したポジション映像に切り換わり、アラームが解除されます。
- [オート（標準）] ボタンを押す
  ⇨ アラームが解除され、シーケンス動作を開始します。
- [オートパン] ボタンを押す
  ⇨ 表示中のアラームが解除され、オートパン動作を開始します。
- [確定] ボタンを押す
  ⇨ アラーム画面表示のままで解除されます。

■ 複数のアラームを同時に解除するには

- [ホーム]ボタン→[ALL]ボタン→[確定]ボタンの順に押す
  ⇨ アラームが解除され、全てのカメラがホームポジションに戻ります。
- [オート（標準）] ボタンを押す
  ⇨ 全てのアラームが解除され、シーケンス動作を再開します。

操作権限と優先リモコンについて

本システムでは、[システム設定 ..] の [リモコン設定] や [外部接続機器設定] 項目の設定によって、リモコンを2台カスケードして運用することができます。

操作権限と優先リモコンについて

リモコン2台を使用するシステムでは、システム内の同じ通信制御カメラ、リレーボックスに対し、2台のリモコンから同時にカメラ操作を行なったとき、リモコン間でカメラ操作の競合が発生します。
これを防ぐために、本システムでは、

- 操作権限
- 優先リモコン

という機能をもとに動作します。

操作権限

操作権限には、カメラ操作を行なったときの「カメラ操作権限」とモニター出力操作を行なったときの「モニター操作権限」があります。

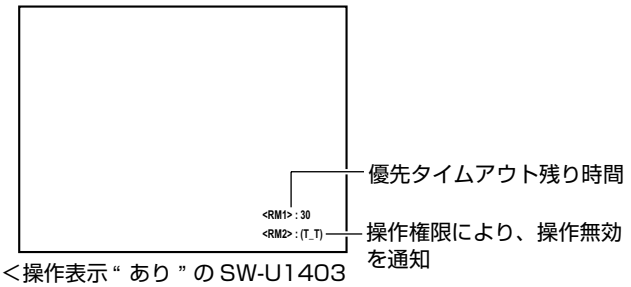
■ カメラ操作権限

先に以下のカメラ操作を行なったリモコンには、一定時間の「操作権限」が与えられます。
その間、他のリモコンから同じカメラの操作はできません。

- パン / チルト操作、およびレンズ操作
- ホームポジション選択
- ポジション選択
- [オートパン] ボタン操作

メモ：

- 「操作権限」を保持できる時間は " 優先タイムアウト " (☞65 ページ) で設定します。
- [リモコン設定]項目の[操作表示]を" あり "に設定すると、「操作権限」の残時間を SW-U1403 のモニター出力に点灯表示することができます。(☞ 65 ページ)



＜操作表示 " あり " の SW-U1403 モニターの表示例＞

■ モニター操作権限

先に以下のモニター出力操作を行なったリモコンには、一定時間の「操作権限」が与えられます。
その間、他のリモコンが同じモニターを使用する設定になっている場合、他のリモコンからの操作を受けつけません。
他のリモコンが別のモニターを使用する設定になっている場合は、他のリモコンからの操作を受けつけます。

- [オート（標準）] ボタン操作
- [夜間モード] ボタン操作
- [オプション] ボタン操作
- 複数アラームの同時解除操作

メモ：

- 「操作権限」を保持できる時間は " 優先タイムアウト " (☞65 ページ) で設定します。
- [リモコン設定]項目の[操作表示]を" あり "に設定すると、「操作権限」の残時間を SW-U1403 のモニター出力に点灯表示することができます。(☞ 65 ページ)
- [オプション] ボタン操作によるアラーム切り換え後の対象カメラが通信制御カメラの場合は、カメラ操作権限が与えられます。

■ 優先タイムアウト

一方のリモコンが、「カメラ操作権限」や「モニター操作権限」を取得した場合、[リモコン設定] の [優先タイムアウト] 項目で設定した一定時間内は、他のリモコンからの操作要求を受け付けません。(☞ 65 ページ)

メモ：

- 優先タイムアウト残り時間をカウント中に操作すると、再カウントとなります。
- [優先リモコン] が設定されている場合は、該当リモコンの操作が優先となります。(☞ 65 ページ)

優先リモコン

操作権限のあるリモコンがカメラ操作を行なっている間、他のリモコンは該当操作できません。
ただし、[リモコン設定] (☞65 ページ)、もしくは [外部接続機器設定] (☞61 ページ) (システム運用で異なります）で [優先リモコン] の設定をすると、その設定されたリモコン (優先リモコン) は、他のリモコン（非優先リモコン）が「カメラ操作権限」や「モニター操作権限」を取得し操作している途中でも、割込みして操作することができます。

操作権限と優先リモコンについて (つづき)

優先リモコン (つづき)

■ オートシーケンス動作時と優先リモコン動作について

● [オート（標準）] ボタンを入 / 切した場合、SW-U1403 のモニター動作とカメラ動作は、以下のようになります。

モニター端子		SW-U1403 のモニター出力		
リモコン設定		優先リモコンが設定されている場合		優先リモコンが設定されていない場合
		優先リモコン	非優先リモコン	
オート（標準）ボタン 切 ⇨ 入	映像出力	オートシーケンスもしくは、プリセットシーケンスを開始します。詳細はメニューで設定します。“ モニター出力設定 ” (☞60 ページ)	操作権限がある場合、オートシーケンスもしくは、プリセットシーケンスを開始します。	操作権限がある場合、オートシーケンスもしくは、プリセットシーケンスを開始します
	カメラ制御	メニューで設定された標準状態になります。(☞ 56 ページ)	変化なし	操作権限がある場合、メニューで設定された標準状態になります。
オート（標準）ボタン 入 ⇨ 切	映像出力	オートシーケンスもしくは、プリセットシーケンスが解除されたときに表示していたカメラの映像を表示します。	操作権限がある場合、オートシーケンスもしくは、プリセットシーケンスが解除されたときに表示していたカメラの映像を表示します。	操作権限がある場合、オートシーケンスもしくは、プリセットシーケンスが解除されたときに表示していたカメラの映像を表示します。
	カメラ制御	変化なし	変化なし	変化なし

● [オート（標準）] ボタンを入 / 切した場合、外部接続機器（SW-D410、SW-D1600、VR-509、VR-516、VR-516C、VR-777DX）のモニター動作とカメラ動作は以下のようになります。

モニター端子		外部接続機器（SW-D410、SW-D1600、VR-509、VR-516、VR-516C、VR-777DX）のモニター出力		
リモコン設定		優先リモコンが設定されている場合		優先リモコンが設定されていない場合
		優先リモコン	非優先リモコン	
オート（標準）ボタン 切 ⇨ 入	映像出力	オートシーケンスを開始します。詳細はメニューで設定します。(☞ 62 ページ)(☞ 63 ページ)	操作権限がある場合、オートシーケンスを開始します。	操作権限がある場合、オートシーケンスを開始します。
	カメラ制御	メニューで設定された標準状態になります。(☞ 56 ページ)	変化なし	操作権限がある場合、メニューで設定された標準状態になります。
オート（標準）ボタン 入 ⇨ 切	映像出力	オートシーケンスが解除されたときに表示していたカメラの映像を表示します。	操作権限がある場合、オートシーケンスが解除されたときに表示していたカメラの映像を表示します。	操作権限がある場合、オートシーケンスが解除されたときに表示していたカメラの映像を表示します。
	カメラ制御	変化なし	変化なし	変化なし

メモ :

●「カメラ制御」とは、ホームポジション移動、もしくはオートパン動作を表します。

■ アラーム解除手順と優先リモコンについて

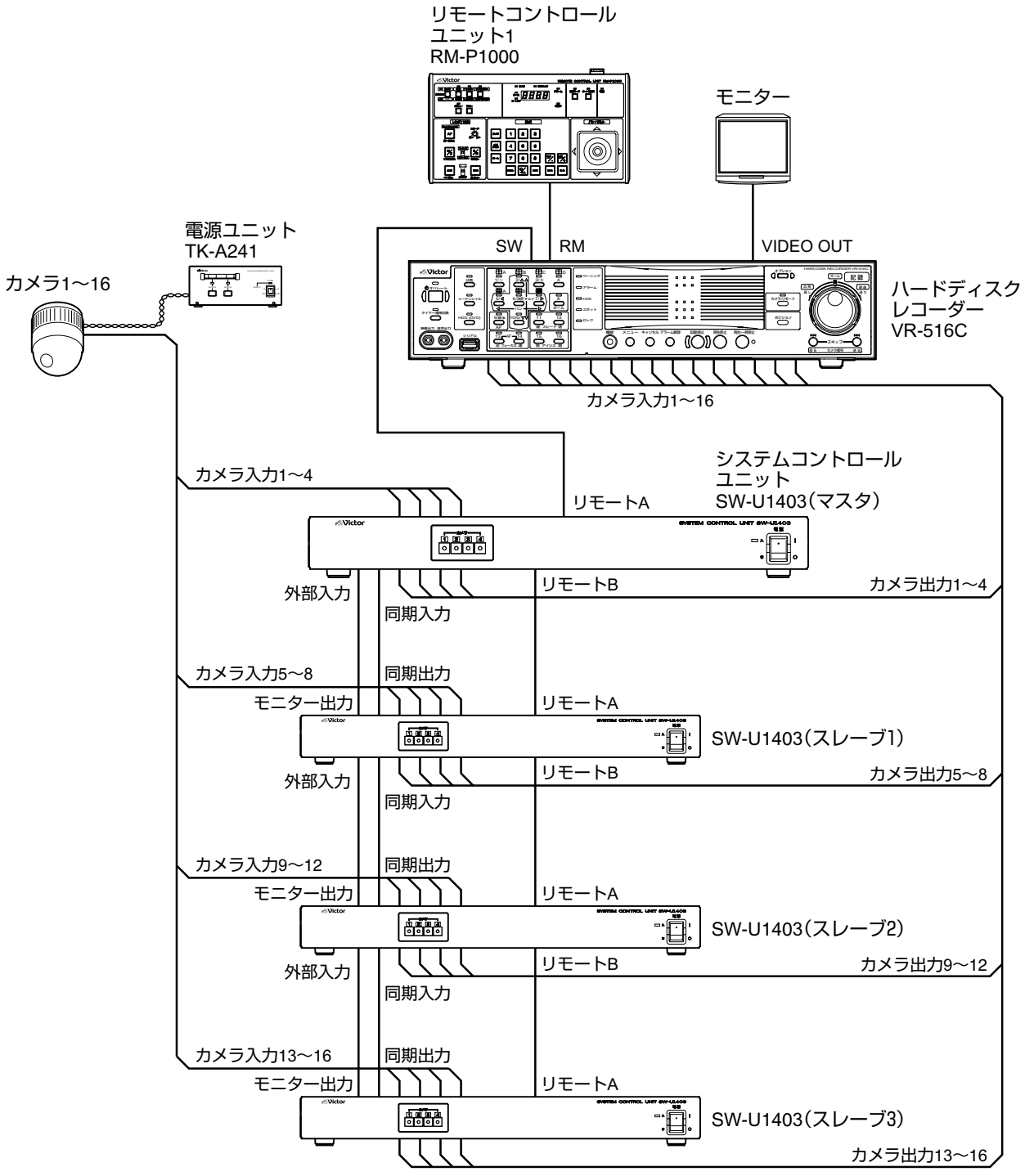
本機は、システム設定の [外部接続機器設定] や [リモコン設定] 項目の設定によって、2台のリモコンを使ったシステムを運用することができます。2台のリモコンうち、片方のリモコンを " 優先リモコン " とすることで、非優先リモコンに対して一部のカメラ操作、アラーム解除操作に制約をかけることができます。

リモコン設定		優先リモコンが設定がされている場合		優先リモコンが設定されていない場合
		優先リモコン	非優先リモコン	
アラーム動作中	アラーム発生中のカメラ操作	● アラームの手動解除、複数アラームの同時解除ができます。 ● [アラーム設定..]の[優先モード]が“マニュアル”の場合のみ、カメラのマニュアル操作ができます。 ● [リモコン設定 ..] の [リモコンオプションキー] が“アラーム切換”もしくは“---”のとき、[オプション] ボタンによるアラーム切換ができます。	● アラームの手動解除、複数アラームの同時解除はできません。 ● カメラのマニュアル操作はできません。 ● [オプション] ボタンによるアラームの切換はできません。	● 操作権限がある場合、アラームの手動解除、複数アラームの同時解除ができます。 ● カメラのマニュアル操作はできません。 ● [リモコン設定 ..] の [リモコンオプションキー] が " アラーム切換 " のとき、[オプション] ボタンによるアラーム切換ができます。
	アラームが発生していないカメラ操作	● 通常操作が可能です。	● 操作権限がある場合、通常操作が可能です。	● 操作権限がある場合、通常操作が可能です。

VR-516C を接続する（RS-485 接続）

接続

カメラ 16 台と VR-516C を組み合わせたシステム例です。

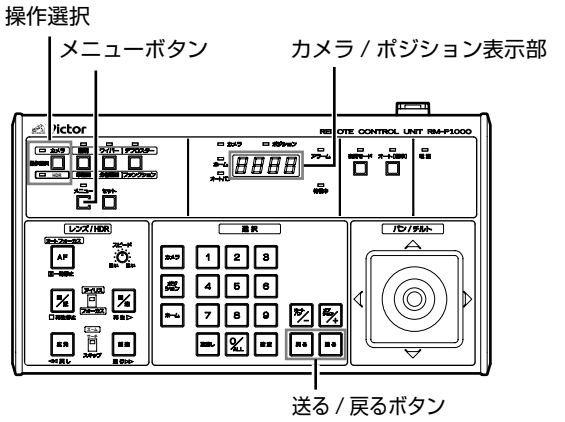


メモ：

- SW-U1403 と VR-516C を RS-232C 端子を用いて接続する場合は、☞36 ページ〜 43 ページをご覧ください。

接続設定

VR-516C を操作するには、SW-U1403 と VR-516C のメニュー設定が必要です。



■ 準備

本機背面の [設定 1] のディップスイッチを、“HDR” 側にする (☞ 8 ページ)

■ 本機メニューでの設定

1 メニューを起動させる

“ メニューの基本操作 ” (☞53 ページ)

2 [システム設定..] の [外部接続機器設定..] を選択し、[接続機種] を “VR-516C(RS-485)” に設定する

■ VR-516C のメニューでの設定

1 VR-516C のメニュー画面を表示する (☞ 35 ページ)

2 [カメラ制御システム] の [システム接続設定] を “SW-U1403+RM-P1000” に設定する

メモ :

- VR-516C のメニューについて詳しくは、VR-516C の「取扱説明書 」をご覧ください。
- 本機からの VR-516C のメニュー操作は、[カメラ制御システム] の [システム接続設定] が “SW-U1403+RM-P1000” でない場合は行えません。

■ VR-516C を「リモートモード」にする

本機から VR-516C やカメラを操作する場合、VR-516C のモードを「リモートモード」にします。「リモートモード」以外 (「標準操作／カメラモード」) のときは、本機から操作することはできません。

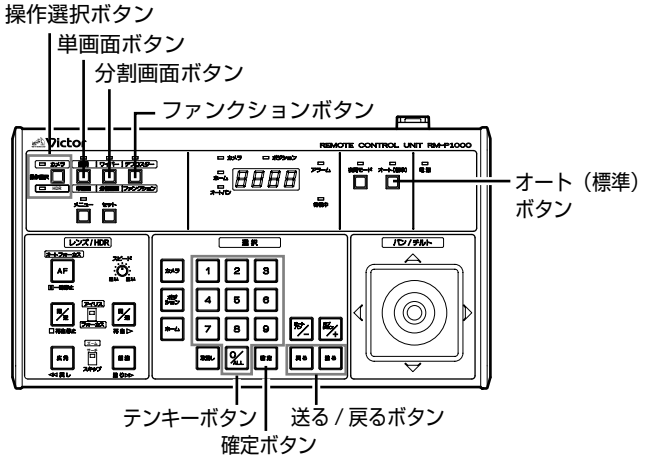
1 [戻る] と [送る] を同時に長押しする (約 5 秒)

メモ :

- [操作選択 (カメラ /HDR)] に関係なく設定ができます。
- 「リモートモード」以外のときは、カメラ／ポジション表示部に “516C.” と表示され、本機からのボタン操作が無効となります。
- 操作権限によりモードを変更できない場合もあります。

VR-516C を操作する（RS-485 接続）

基本操作



■ カメラの選択

1 **[操作選択] を押し、“HDR” を選択する**

- 本機で選択されているカメラの EE 画像が、VR-516C の [VIDEO OUT] から出力されます。

メモ：

- リモコン 2 の場合は、VR-516C の [SPOT OUT] から出力されます。
- オート（標準）状態のとき、[操作選択] ボタンは操作できません。[オート（標準）] ボタンを押し、オート（標準）状態を解除してから [操作選択] ボタン操作を行なってください。
- キーロック操作はできません。(☞ 82 ページ)

2 **カメラを選択する**

● テンキーで見たいカメラの番号を押し、[確定] を押す

メモ：

- 入力を間違えた場合は、[確定] ボタンを押す前に [取消し] ボタンを押します。入力した番号がキャンセルされます。

● [送る] を押す

次の番号のカメラに切り換わります。

● [戻る] を押す

前の番号のカメラに切り換わります。

メモ：

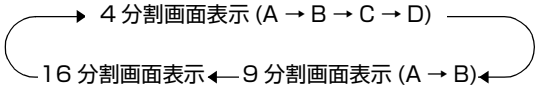
- 分割画面のときは、モニターに表示されている映像のカメラ番号のみが対象となります。

■ 多分割画面の表示

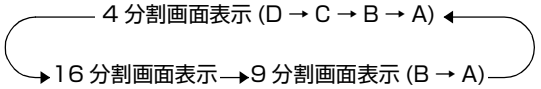
1 **[分割画面] を押す**

- 分割画面表示になります。

- [分割画面] ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



- [分割画面] と [ファンクション] ボタンを同時に押すごとに、次のようになります。



■ 単画面の表示

多分割画面の表示中に以下の操作を行うと、単画面表示に戻ります。

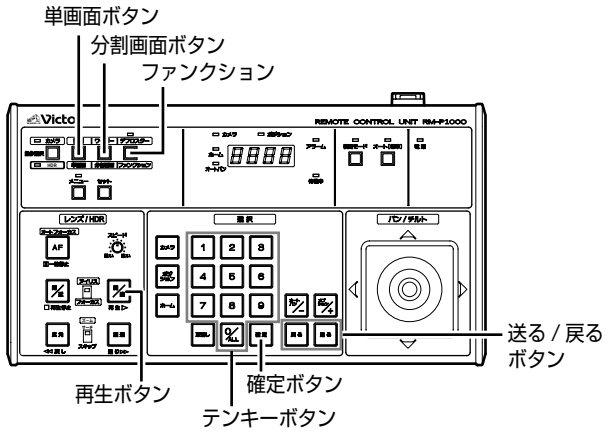
● [単画面] を押す

単画面表示に戻ります。

● テンキーで見たいカメラの番号を押し、[確定] を押す

選択した番号のカメラ映像が単画面表示されます。

記録された映像を見る



■ 再生

1 見たい映像を探す

- 見たい日時の映像を探す (☞ 33 ページ)
- 見たいアラーム映像を探す (☞ 34 ページ)

2 録画映像を再生する

[再生] ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。再度押すと継続再生されます。

メモ :

- リモコン 1 以外のリモコンは、再生メニューを表示できません。

3 再生中にカメラを選択する

再生中に見たいカメラを選択し、モニター表示できます。

- **テンキーで見たいカメラの番号を押し、[確定] を押す**

  選択した番号のカメラ映像が単画面再生されます。
- **[送る] を押す**

  単画面表示時は、次の番号のカメラが選択され、映像が再生されます。

  分割画面表示時は、モニターに表示されている画面内のカメラのみを対象として、次の番号のカメラが選択されます。
- **[戻る] を押す**

  単画面表示時は、前の番号のカメラが選択され、映像が再生されます。

  分割画面表示時は、モニターに表示されている画面内のカメラのみを対象として、前の番号のカメラが選択されます。

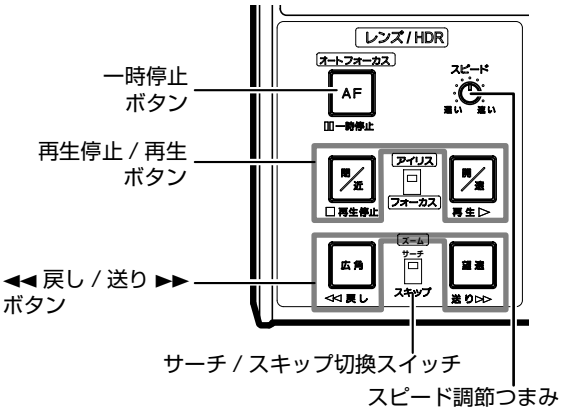
4 再生中に分割画面に切り換える

再生中に [分割画面] ボタンを押すと、分割画面表示に切り換わります。

- [分割画面] ボタンを押すごとに、4 分割画面表示（A → B → C → D)、9 分割画面表示（A → B)、16 分割画面表示に切り換わります。
- [分割画面]と[ファンクション]ボタンを同時に押すと、分割画面表示が逆方向に切り換わります。

5 再生中に単画面に切り換える

再生中に [単画面] ボタンを押すと単画面表示に切り換えられます。



■ 一時停止

1 [一時停止] を押す

- 再生中に [一時停止] ボタンを押すと、再生画が一時停止状態になります。

メモ :

- 再生中に [再生] ボタンを押すと、一時停止状態になります。再度 [再生] ボタンを押すと、再生となります。

■ 停止

1 [再生停止] を押す

- 再生が停止し、再生メニューが表示されます。
  再生メニュー表示中に再度 [再生停止] ボタンを押すと、EE モードになります。

■ サーチ・早送り・早戻し（再生中のみの機能です）

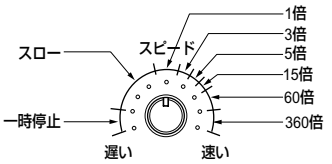
1 再生する

2 [サーチ/スキップ]切換スイッチを“サーチ”側に設定する

3 早送り・早戻しのスピードを設定する

スピード調節つまみをまわして早送り・早戻しのスピードを調節します

- スピードは 8 段階に設定できます。



メモ :

- [◀◀戻し]/[送り ▶▶] を押しながら調節つまみを回しても、スピード設定ができます。

4 [送り ▶▶]/[◀◀ 戻し] ボタンを押す

- [送り ▶▶] ボタンで、送り方向にサーチします。
- [◀◀ 戻し] ボタンで、戻り方向にサーチします。

メモ :

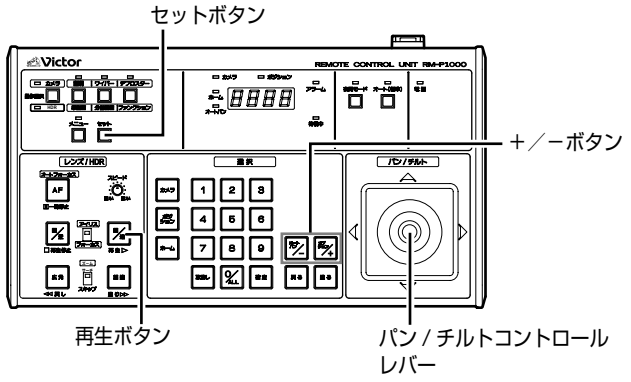
- この機能は再生中のみ動作します。

VR-516C を操作する（RS-485 接続）（つづき）

記録された映像を見る (つづき)

■ スキップ

スキップボタンでの操作は、VR-516C の動作状態やメニュー設定によって異なります。



1 **スキップボタンの動作設定をする**

● メニューを起動させる

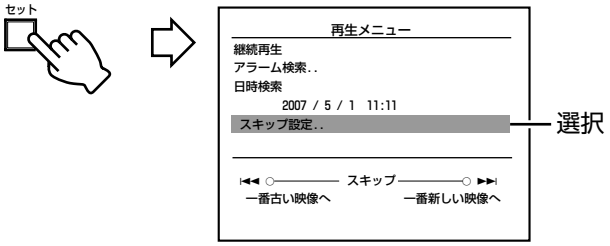
[再生] ボタンを押すと、VR-516C 側の再生メニューが起動します。

メモ :

- リモコン 1 以外のリモコンは、再生メニューを表示できません。

● スキップ設定画面を表示させる

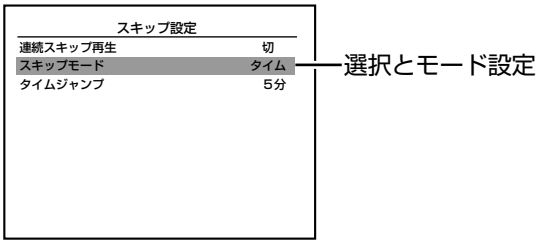
パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で [スキップ設定 ..] を選択し、[セット] を押します。



● スキップモードを選択する

パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で [スキップモード] を選択し、[+/−] ボタンでモードを決定します。

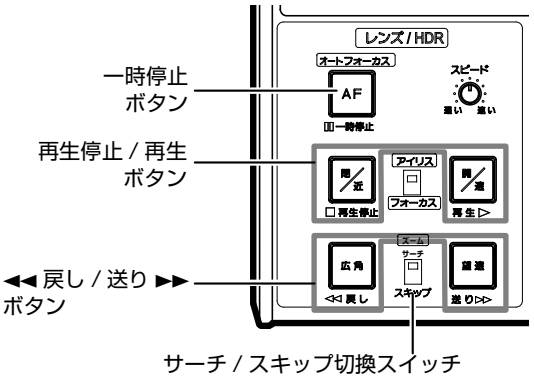
- タイム　：[タイムジャンプ] で設定した時間だけジャンプします。
- アラーム：アラーム記録の開始位置にジャンプします。
- イベント：記録開始位置（通常記録とアラーム記録の両方）にジャンプします。



メモ :

- 設定について詳しくは、VR-516C の「 取扱説明書 」をご覧ください。

2 **[サーチ/スキップ]切換スイッチを“スキップ”側に設定する**



3 [◀◀ 戻し]/[送り ▶▶] ボタンを押す

スキップ動作は、VR-516C の状態やメニュー設定によって４種類のモードがあります。

	メニュー設定	操作	操作後の状態
再生メニュー表示中にスキップ	—	◀◀ 戻し	HDD 記録済みの一番古い画像で一時停止状態となる
	—	送り ▶▶	HDD 記録済みの一番新しい画像で一時停止状態となる
再生状態からスキップ※	タイム	◀◀ 戻し	選択しているチャンネルのメニューで設定された時間分前にスキップし再生状態となる
		送り ▶▶	選択しているチャンネルのメニューで設定された時間分後ろにスキップし再生状態となる
	アラーム	◀◀ 戻し	選択しているチャンネルのアラームが入っている前のトラックに、スキップして再生状態となる
		送り ▶▶	選択しているチャンネルのアラームが入っている後ろのトラックに、スキップして再生状態となる
	イベント	◀◀ 戻し	選択しているチャンネルの１つ前のトラックに、スキップして再生状態となる
		送り ▶▶	選択しているチャンネルの１つ後ろのトラックに、スキップして再生状態となる

※ 一時停止状態からスキップすると一時停止状態になります。

※ 再生状態から一番新しい画像、および一番古い画像にスキップすると一時停止状態になります。

記録された映像を探す

■ 日時検索

日時を指定して、記録映像を検索します。

1 [再生] を押す

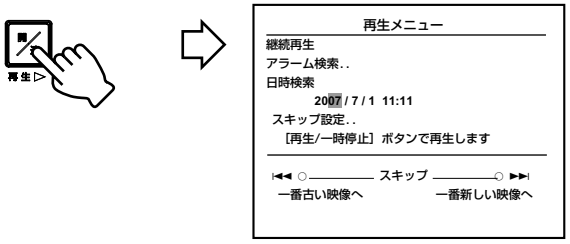
- 再生メニュー画面が表示されます。

メモ :

- リモコン 1 以外のリモコンは、再生メニューを表示できません。

2 “日時検索” を選択する

パン / チルトコントロールレバーで “日時検索” を選択します。



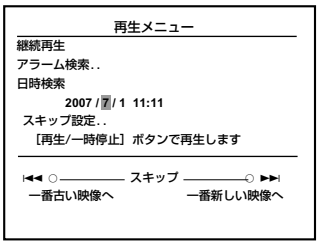
メモ :

- 再生メニュー画面表示中に [再生停止] ボタンを押すと、メニュー画面は終了します。

3 年月日、および時間を選択する

パン / チルトコントロールレバーと [+/−] ボタンを操作し、日時を設定します。

- パン / チルトコントロールレバー左右（◀/▶）で、検索したい年月日および時間を選択する。
- [+/−] ボタンで数値を変更する。



4 [再生] を押す

- 再生メニュー画面が終了し、該当記録画面が再生表示されます。

メモ :

- 再生メニュー終了後の画面は、検索前に選択していた番号のカメラ映像、もしくは分割画面の表示となります。

VR-516C を操作する（RS-485 接続）（つづき）

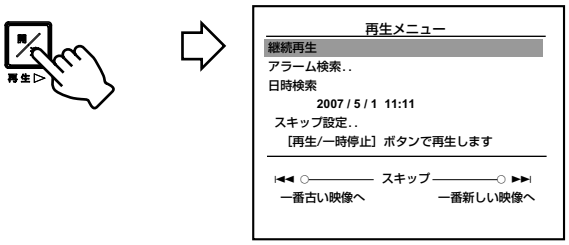
記録された映像を探す（つづき）

■ アラーム検索

アラーム履歴の中から記録映像を検索します。

1 [再生] を押す

- 再生メニュー画面が表示されます。

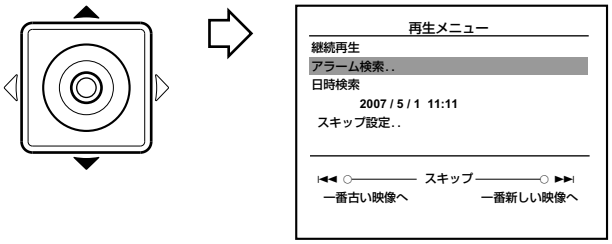


メモ：

- 再生メニュー画面表示中に [再生停止] ボタンを押すと、メニュー画面は終了します。
- リモコン 1 以外のリモコンは、再生メニューを表示できません。

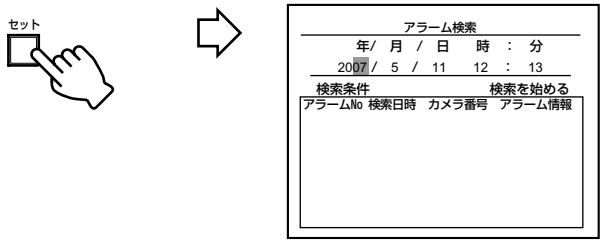
2 [アラーム検索] を選択する

パン / チルトコントロールレバーで “ アラーム / センサー検索 ” を選択します。



3 [セット] を押す

- アラーム検索メニューが起動します。



4 年月日、および時間を選択する

パン / チルトコントロールレバーと [+/−] ボタンを操作し、日時を設定します。

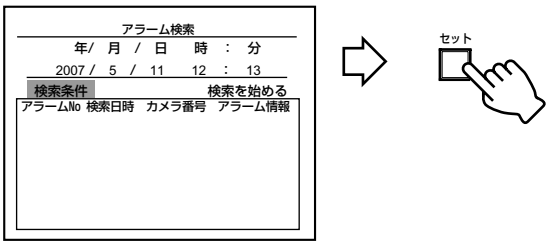
- パン / チルトコントロールレバー左右（◀/▶）で、検索したい年月日および時間を選択する。
- [+/−] ボタンで数値を変更する。

メモ：

- [再生停止] ボタンを押すと、EE モードに戻ります。
- [メニュー] ボタンを押すと、再生メニューに戻ります。

5 検索条件画面を表示する

[検索条件] を選択し、[セット] ボタンを押します。カメラ番号選択、検索条件入力子画面が表示されます。



6 検索条件を設定する

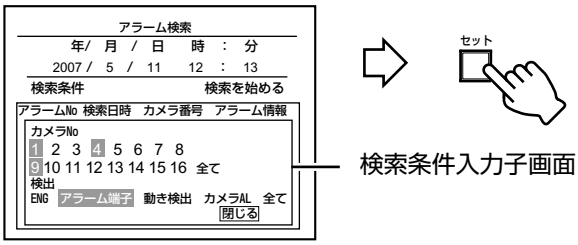
パン / チルトコントロールレバーでカメラ番号、検索条件を選択し、[セット] ボタンを押します。

- 選択した文字は反転されます。文字が反転されれば、条件として有効となります。

7 検索条件入力子画面を閉じる

条件設定が完了したら、[閉じる] を選択し、[セット] ボタンを押します。

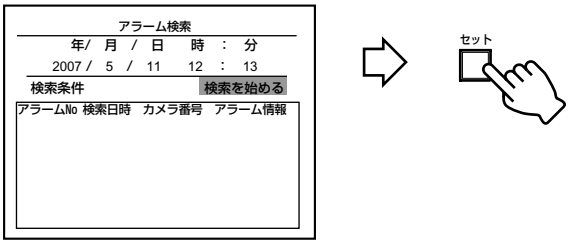
- 子画面が閉じます。



8 検索を開始する

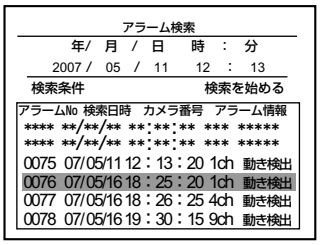
[検索を始める] を選択し、[セット] ボタンを押します。

- アラーム検索リストが表示されます。



9 検索したいリストを選択する

パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、リストを選びます。



メモ：

- [+/−] ボタン操作により、100 件単位でのアラームリストのジャンプができます。

10 [再生] を押す

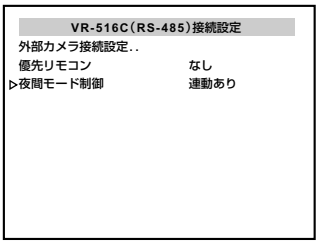
- 検索メニュー画面終了後、選択されたアラーム画面が再生表示されます。

その他の操作

■ 夜間モード制御の設定

1 [VR-516C (RS-485) 接続設定] の [夜間モード制御] 項目を “ 連動あり ” に設定する

(☞ 63 ページ)



2 [夜間モード] を押す

- VR-516C はタイマーモードに切り換わるか、記録運用モードが設定されたモードに切り換わります。

3 夜間モードを解除する

再度、[夜間モード] ボタンを押すとタイマーモードは解除されます。記録運用モードの場合は標準モードに戻ります。

メモ：

- [操作選択] が “ カメラ ” のときもタイマー動作します。

■ VR-516C のメニュー画面を表示する

1 [メニュー] と [ファンクション] を同時に押す

- VR-516C のメニュー画面が表示されます。

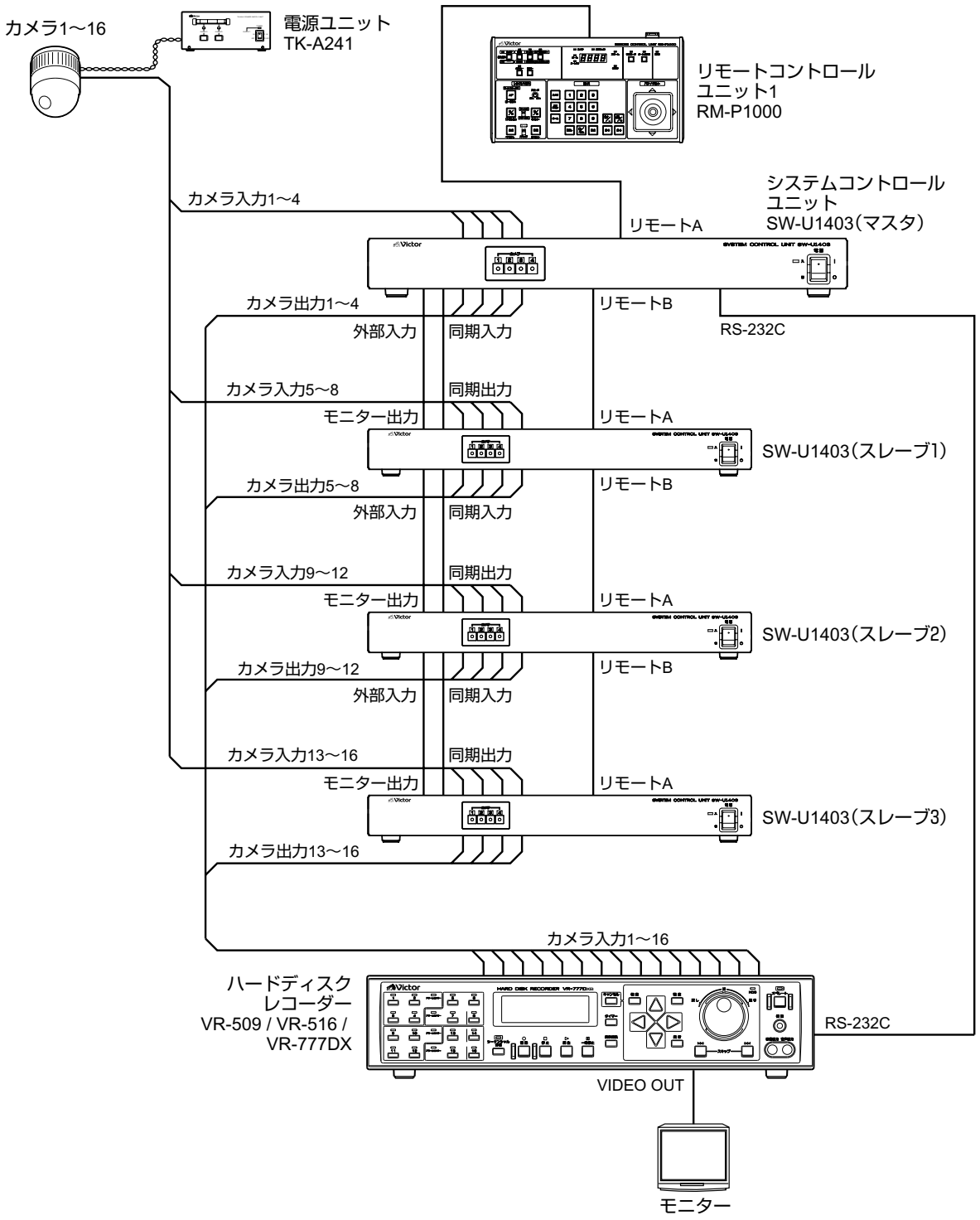
メモ：

- 本機アラーム動作中は、VR-516C のメニュー画面は表示できません。
- VR-516C のメニュー操作は、リモコン 1 のみで操作できます。
- VR-516C のメニュー操作中は、アラーム入力を受けつけません。
- VR-516C のメニュー操作中、リモコン 1 以外のリモコンは [待機中] 表示灯が点灯し、操作できません。

VR-509/VR-516/VR-777DX を接続する（RS-232C 接続）

接続

カメラ 16 台とハードディスクレコーダーを組み合わせたシステム例です。



接続設定（VR-509/VR-516）

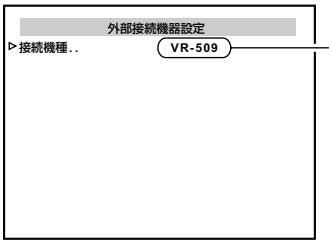
VR-509/VR-516 を操作するには、SW-U1403 のメニュー設定が必要です。

■ 本機メニューでの設定

1 メニューを起動させる

“ メニューの基本操作 ”（☞53 ページ）

2 [システム設定..] の [外部接続機器設定..] を選択し、[接続機種] を “VR-509” もしくは “VR-516（RS-232C）” に設定する



VR-516 の場合は、“VR-516（RS-232C）” に設定

接続設定（VR-777DX）

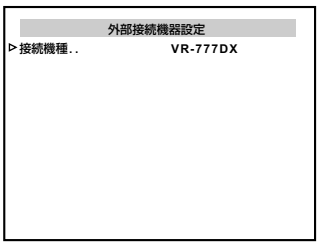
VR-777DX を操作するには、SW-U1403 と VR-777DX 両方のメニュー設定が必要です。

■ 本機メニューでの設定

1 メニューを起動させ、[接続機種] を “VR-777DX” に設定する

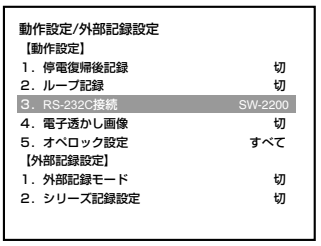
“ メニューの基本操作 ”（☞53 ページ）

“ 外部接続機器設定 ”（☞61 ページ）



■ VR-777DX のメニューで設定

1 [動作設定 / 外部記録設定] 項目の [3. RS-232C 接続] を “SW-2200” に設定する



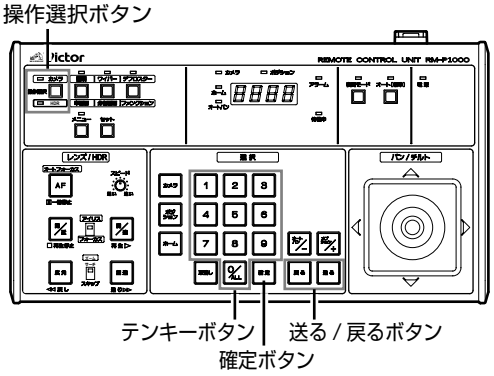
メモ：

- [3. RS-232C 接続] の設定は、本機からは行えません。
- メニュー操作について詳しくは、VR-777DX の「 取扱説明書 」をご覧ください。

VR-509/VR-516 を操作する（RS-232C 接続）

基本操作

● VR-777DX については、“VR-777DX を操作する（RS-232C 接続）” をご覧ください。(☞ 44 ページ)



■ カメラの選択

1 **[操作選択] を押し、“HDR” を選択する**

● 本機で選択されているカメラの EE 画像が、VR-509/VR-516/VR-516C の [VIDEO OUT] から出力されます。

メモ：

● オート（標準）状態のとき、[操作選択] ボタンは操作できません。[オート（標準）] ボタンを押し、オート（標準）状態を解除してから [操作選択] ボタン操作を行なってください。

● キーロック操作はできません。(☞ 82 ページ)

2 **カメラを選択する**

● テンキーで見たいカメラの番号を押し、[確定] を押す

メモ：

● 入力を間違えた場合は、[確定] ボタンを押す前に [取消し] ボタンを押します。入力した番号がキャンセルされます。

● [送る] を押す

次の番号のカメラに切り換わります。

● [戻る] を押す

前の番号のカメラに切り換わります。

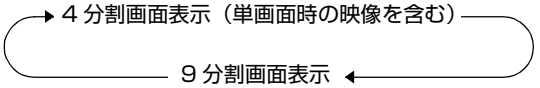
■ 多分割画面の表示

1 **[分割画面] を押す**

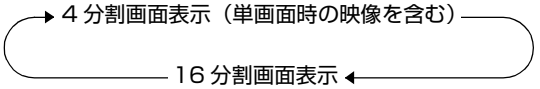
● 4 分割画面表示になります。

● [分割画面] ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

VR-509



VR-516



■ 単画面の表示

多分割画面の表示中に、以下の操作を行うと、単画面表示に戻ります。

● [単画面] を押す

単画面表示に戻ります。

● テンキーで見たいカメラの番号を押し、[確定] を押す

選択した番号のカメラ映像が単画面表示されます。

● [送る] を押す

本機に表示されているカメラ番号の次の番号のカメラが選択され、映像が単画面表示されます。

● [戻る] を押す

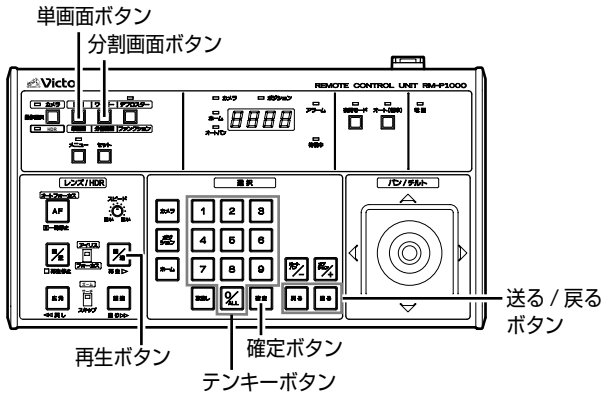
本機に表示されているカメラ番号の前の番号のカメラが選択され、映像が単画面表示されます。

メモ：

● [戻る]/[送る] ボタンを連続的に速く押すと、本機に表示されるカメラ No. と異なった映像が表示される場合があります。この場合、少し時間をおいてから [確定] ボタン押すか、再度 [戻る]/[送る] ボタン操作を行うと、映像が一致します。

● 再生メニュー、スキップ設定画面、およびアラーム検索画面表示中に、[戻る]/[送る] ボタンを押すと、本機に表示カメラ No. と異なった映像が表示されることがあります。この場合、上記画面が表示されていない状態で [確定] ボタンを押すか、再度 [戻る]/[送る] ボタンまたは [分割画面] ボタン操作を行うと、映像が一致します。

記録された映像を見る



■ 再生

1 見たい映像を探す

- 見たい日時の映像を探す (☞ 41 ページ)
- 見たいアラーム映像を探す (☞ 41 ページ)

2 録画映像を再生する

[再生] ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。再度押すと継続再生されます。

3 再生中にカメラを選択する

再生中に見たいカメラを選択し、モニター表示できます。

- テンキーで見たいカメラの番号を押し、[確定] を押す

選択した番号のカメラ映像が単画面再生されます。

- [送る] を押す

次の番号のカメラが選択され、映像が単画面再生されます。

- [戻る] を押す

前の番号のカメラが選択され、映像が単画面再生されます。

4 再生中に分割画面に切り換える

再生中に [分割画面] ボタンを押すと、多分割画面表示に切り換わります。

- VR-509　：4 分割画面表示→ 9 分割画面表示
- VR-516　：4 分割画面表示→ 16 分割画面表示

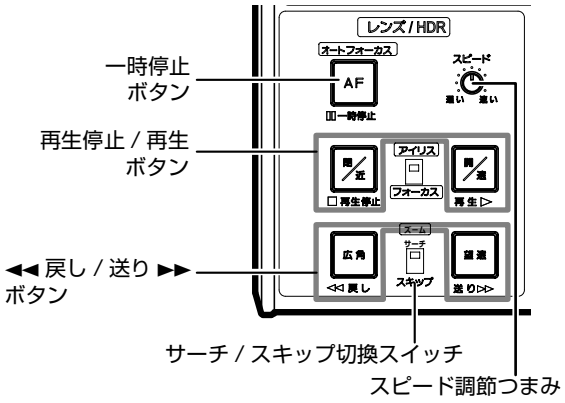
メモ :

- 再生中に [戻る]/[送る] ボタン、または [分割画面] ボタンを連続的に速く押すと、本機に表示されるカメラ No. と異なった映像が表示される場合があります。この場合、少し時間をおいてから [確定] ボタン押すか、再度 [戻る]/[送る] ボタンまたは [分割画面] ボタン操作を行うと、映像が一致します。

5 再生中に単画面に切り換える

再生中に [単画面] ボタンを押すと、単画面表示に切り換えられます。

■ 一時停止



1 [一時停止] を押す

- 再生中に [一時停止] ボタンを押すと、再生画が一時停止状態になります。

メモ :

- 再生中に [再生] ボタンを押しても、一時停止状態になります。再度 [再生] ボタンを押すと再生となります。

■ 停止

1 [再生停止] を押す

- 再生が停止し、再生メニューが表示されます。
  再生メニュー表示中に再度 [再生停止] ボタンを押すと、EE モードになります。

■ サーチ・早送り・早戻し（再生中のみの機能です）

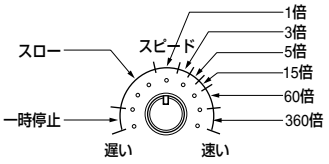
1 再生する

2 [サーチ/スキップ] 切換スイッチを“サーチ”側に設定する

3 早送り・早戻しのスピードを設定する

スピード調節つまみをまわして早送り・早戻しのスピードを調節します

- スピードは 8 段階に設定できます。



メモ :

- [◄◄ 戻し]/[送り ►►] を押しながら調節つまみを回しても、スピード設定ができます。

4 [送り ►►]/[◄◄ 戻し] ボタンを押す

- [送り ►►] ボタンで、送り方向にサーチします。
- [◄◄ 戻し] ボタンで、戻り方向にサーチします。

メモ :

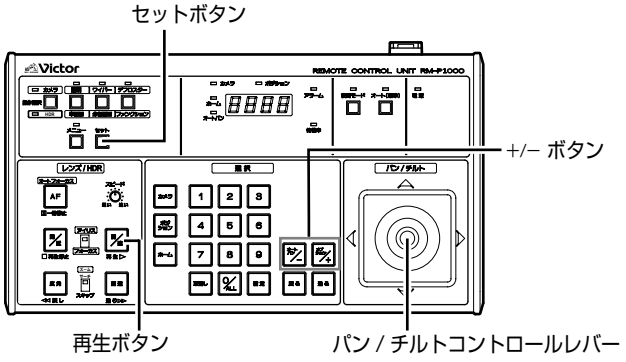
- この機能は再生中のみ動作します。

VR-509/VR-516 を操作する（RS-232C 接続）（つづき）

記録された映像を見る (つづき)

■ スキップ

スキップボタンでの操作は、VR-509/VR-516 の動作状態やメニュー設定によって異なります。



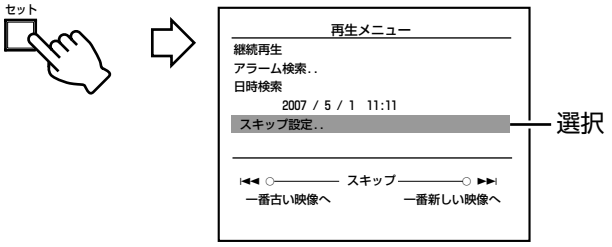
1 スキップボタンの動作設定をする

● **メニューを起動させる**

[再生] ボタンを押すと、VR-509/VR-516 側の再生メニューが起動します。

● **スキップ設定画面を表示させる**

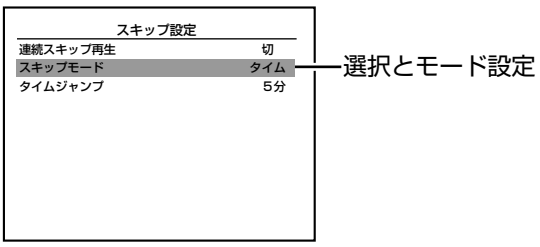
パン / チルトコントロールレバー（▲/▼）で [スキップ設定 ..] を選択し、[セット] を押します。



● **スキップモードを選択する**

パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で [スキップモード] を選択し、[+/−] ボタンでモードを決定します。

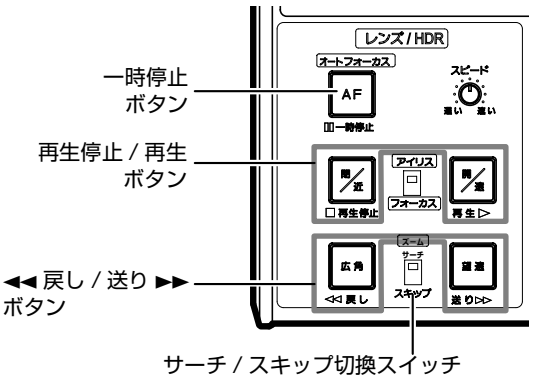
- タイム　：[タイムジャンプ] で設定した時間だけジャンプします。
- アラーム：アラーム記録の開始位置にジャンプします。
- イベント：記録開始位置（通常記録とアラーム記録の両方）にジャンプします。



メモ：

- 設定について詳しくは、ご使用の機器（VR-509/VR-516）の「 取扱説明書 」をご覧ください。

2 [サーチ/スキップ] 切換スイッチを“スキップ”側に設定する



3 [◀◀ 戻し]/[送り ▶▶] ボタンを押す

スキップ動作は、VR-509/VR-516 の状態やメニュー設定によって４種類のモードがあります。

	メニュー設定	操作	操作後の状態
再生メニュー表示中にスキップ	—	◀◀ 戻し	HDD 記録済みの一番古い画像で一時停止状態となる
	—	送り ▶▶	HDD 記録済みの一番新しい画像で一時停止状態となる
再生状態からスキップ※	タイム	◀◀ 戻し	選択しているチャンネルのメニューで設定された時間分前にスキップし再生状態となる
		送り ▶▶	選択しているチャンネルのメニューで設定された時間分後ろにスキップし再生状態となる
	アラーム	◀◀ 戻し	選択しているチャンネルのアラームが入っている前のトラックに、スキップして再生状態となる
		送り ▶▶	選択しているチャンネルのアラームが入っている後ろのトラックに、スキップして再生状態となる
	イベント	◀◀ 戻し	選択しているチャンネルの１つ前のトラックに、スキップして再生状態となる
		送り ▶▶	選択しているチャンネルの１つ後ろのトラックに、スキップして再生状態となる

※ 一時停止状態からスキップすると一時停止状態になります。

※ 再生状態から一番新しい画像、および一番古い画像にスキップすると一時停止状態になります。

記録された映像を探す

■ 日時検索

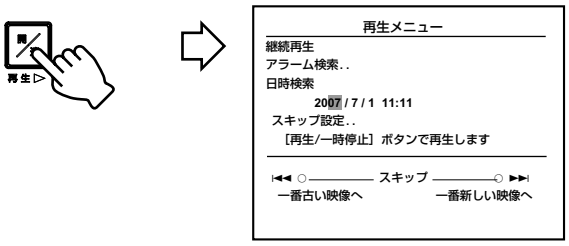
日時を指定して、記録映像を検索します。

1 [再生] を押す

- 再生メニュー画面が表示されます。

2 “日時検索”を選択する

パン / チルトコントロールレバーで“日時検索”を選択します。



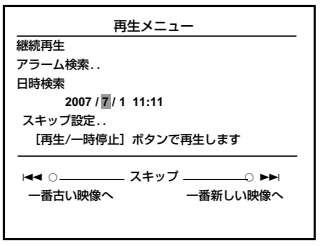
メモ :

- 再生メニュー画面表示中に [再生停止] ボタンを押すと、メニュー画面は終了します。

3 年月日、および時間を選択する

パン / チルトコントロールレバーと [+/–] ボタンを操作し、日時を設定します。

- パン / チルトコントロールレバー左右（◀/▶）で、検索したい年月日および時間を選択する。
- [+/–] ボタンで数値を変更する。



4 [再生] を押す

- 再生メニュー画面を終了し、該当記録画面が再生表示されます。

メモ :

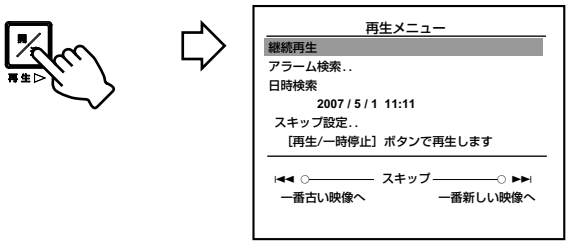
- 再生メニュー終了後の画面は、検索前に選択していた番号のカメラ映像、もしくは分割画面の表示となります。

■ アラーム検索

アラーム履歴の中から記録映像を検索します。

1 [再生] を押す

- 再生メニュー画面が表示されます。

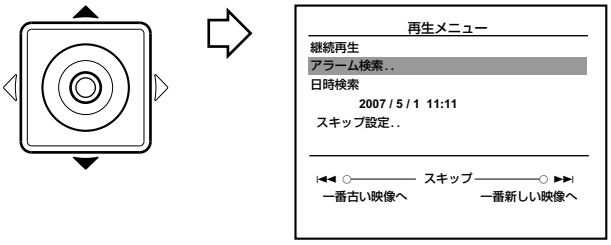


メモ :

- 再生メニュー画面表示中に [再生停止] ボタンを押すと、メニュー画面は終了します。

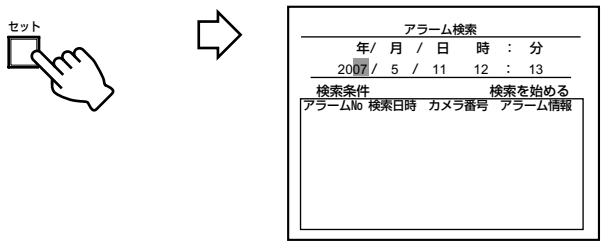
2 [アラーム検索] を選択する

パン / チルトコントロールレバーで “ アラーム検索 ” を選択します。



3 [セット] を押す

- アラーム検索メニューが起動します。



4 年月日、および時間を選択する

パン / チルトコントロールレバーと [+/–] ボタンを操作し、日時を設定します。

- パン / チルトコントロールレバー左右（◀/▶）で、検索したい年月日および時間を選択する。
- [+/–] ボタンで数値を変更する。

メモ :

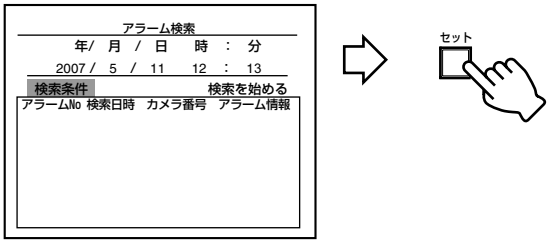
- [再生停止] ボタンを押すと、EE モードに戻ります。
- [メニュー] ボタンを押すと、再生メニューに戻ります。

VR-509/VR-516を操作する（RS-232C接続）（つづき）

記録された映像を探す（つづき）

5 検索条件画面を表示する

“ 検索条件 ” を選択し、[セット] ボタンを押します。カメラ番号選択、検索条件入力子画面が表示されます。



6 検索条件を設定する

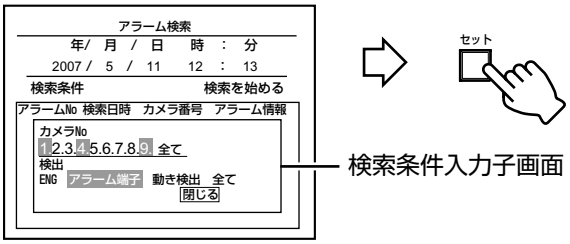
パン / チルトコントロールレバーでカメラ番号、検索条件を選択し、[セット] ボタンを押します。

- 選択した文字は反転されます。文字が反転されれば、条件として有効となります。

7 検索条件入力子画面を閉じる

条件設定が完了したら、[閉じる] を選択し、[セット] ボタンを押します。

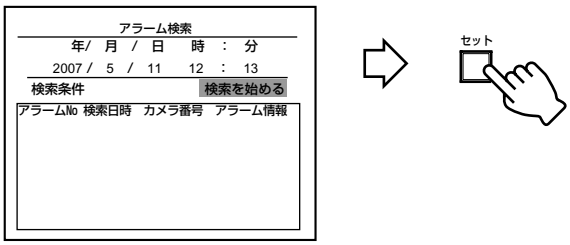
- 子画面が閉じます。



8 検索を開始する

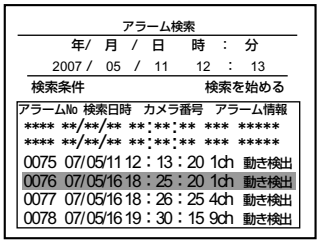
[検索を始める] を選択し、[セット] ボタンを押します。

- アラーム検索リストが表示されます。



9 検索したいリストを選択する

パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、リストを選びます。



メモ :

- [+/−] ボタン操作により、100 件単位でのアラームリストのジャンプができます。

10 [セット] を押す

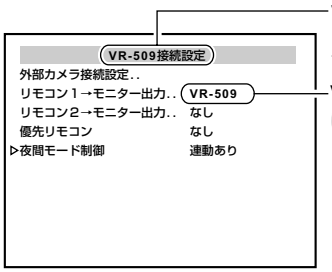
- 検索メニュー画面終了後、選択されたアラーム画面が再生表示されます。

その他の操作

■ 夜間モード制御の設定

1 VR-509/VR-516接続設定の[夜間モード制御]項目を“ 連動あり ”に設定する

(☞ 63 ページ)



VR-516 の場合は、“VR-516（RS-232C）”と表示されます。

VR-516 の場合は、“VR-516”に設定します。

2 [夜間モード] を押す

- VR-509/VR-516はタイマーモードに切り換わるか、記録運用モードが設定されたモードに切り換わります。

3 夜間モードを解除する

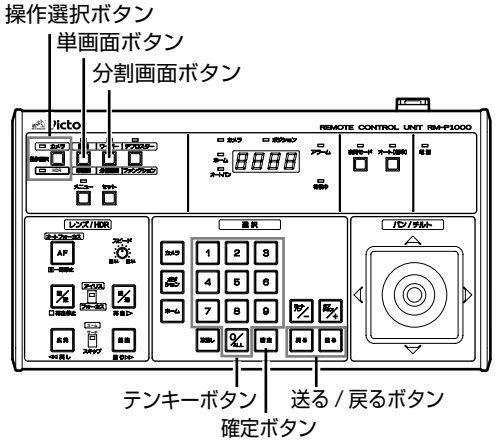
再度、[夜間モード] ボタンを押すとタイマーモードは解除されます。記録運用モードの場合は標準モードに戻ります。

メモ：

- [操作選択] が“ カメラ ”のときもタイマー動作します。

VR-777DX を操作する（RS-232C 接続）

基本操作



■ カメラの選択

1 **[操作選択] を押し、“HDR” を選択する**

- 本機で選択されているカメラの EE 画像が、VR-777DX の [VIDEO OUT] から出力されます。

メモ：

- キーロック操作はできません。(☞ 82 ページ)

2 **カメラを選択する**

● テンキーで見たいカメラの番号を押し、[確定] を押す

メモ：

- 入力を間違えた場合は、[確定] ボタンを押す前に [取消し] ボタンを押します。入力した番号がキャンセルされます。

● [送る] を押す

次の番号のカメラに切り換わります。

● [戻る] を押す

前の番号のカメラに切り換わります。

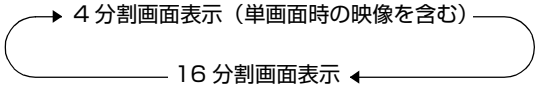
■ 多分割画面の表示

1 **[分割画面] を押す**

- 4 分割画面表示になります。

- [分割画面] ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

EE モード時



- 再生時は、4 分割画面表示（単画面時の映像を含む）のみです。

■ 単画面の表示

多分割画面の表示中に以下の操作を行うと、単画面表示に戻ります。

● [単画面] を押す

単画面表示に戻ります。

● テンキーで見たいカメラの番号を押し、[確定] を押す

選択した番号のカメラ映像が単画面表示されます。

● [送る] を押す

本機に表示されているカメラ番号の次の番号のカメラが選択され、映像が単画面表示されます。

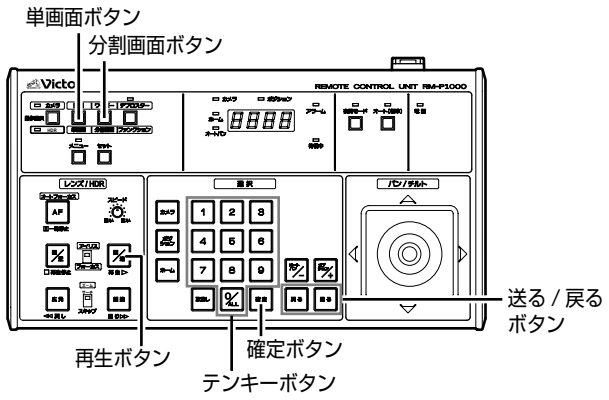
● [戻る] を押す

本機に表示されているカメラ番号の前の番号のカメラが選択され、映像が単画面表示されます。

メモ：

- [戻る]/[送る] ボタンを連続的に速く押すと、本機に表示されるカメラ No. と異なった映像が表示される場合があります。この場合、少し時間をおいてから [確定] ボタン押すか、再度 [戻る]/[送る] ボタン操作を行うと、映像が一致します。

記録された映像を見る



■ 再生

1 見たい映像を探す

- 見たい日時の映像を探す (☞ 47 ページ)
- 見たいアラーム映像、センサー映像を探す (☞ 48 ページ)

2 録画映像を再生する

[再生] ボタンを押すと、選択したカメラの録画映像が再生されます。

メモ :

- 16 分割画面表示中の場合、単画面表示となり再生されます。

3 再生中にカメラを選択する

再生中に見たいカメラを選択し、モニター表示できます。

- テンキーで見たいカメラの番号を押し、[確定] を押す

選択した番号のカメラ映像が単画面再生されます。

- [送る] を押す

次の番号のカメラが選択され、映像が単画面再生されます。

- [戻る] を押す

前の番号のカメラが選択され、映像が単画面再生されます。

ご注意 :

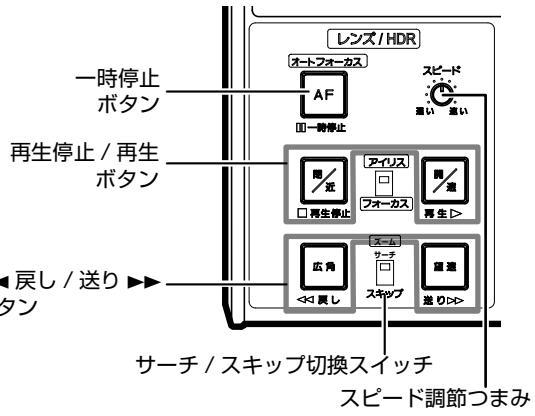
- 再生中に [戻る]/[送る] ボタンを連続的に速く押すと、本機に表示されるカメラ No. と異なった映像が表示される場合があります。この場合、少し時間をおいてから [確定] ボタン押すか、再度 [戻る]/[送る] ボタン操作を行うと、映像が一致します。

4 再生中に分割画面に切り換える

再生中に [分割画面] ボタンを押すと、4 分割画面表示に切り換わります。

5 再生中に単画面に切り換える

再生中に [単画面] ボタンを押すと、単画面表示に切り換えられます。



■ 一時停止

1 [一時停止] を押す

- 再生中に [一時停止] ボタンを押すと、再生画が一時停止状態になります。

■ 停止

1 [再生停止] を押す

- 再生中、または一時停止中に [再生停止] ボタンを押すと、再生が停止し、EE モードになります。

■ サーチ・早送り・早戻し（再生中のみの機能です）

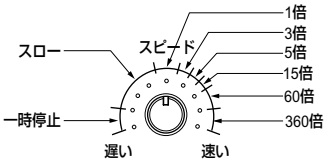
1 再生する

2 [サーチ/スキップ]切換スイッチを“サーチ”側に設定する

3 早送り・早戻しのスピードを設定する

スピード調節つまみをまわして早送り・早戻しのスピードを調節します

- スピードは 8 段階に設定できます。



メモ :

- [◀◀戻し]/[送り ▶▶] を押しながら調節つまみを回しても、スピード設定ができます。

4 [送り ▶▶]/[◀◀ 戻し] ボタンを押す

- [送り ▶▶] ボタンで、送り方向にサーチします。
- [◀◀ 戻し] ボタンで、戻り方向にサーチします。

メモ :

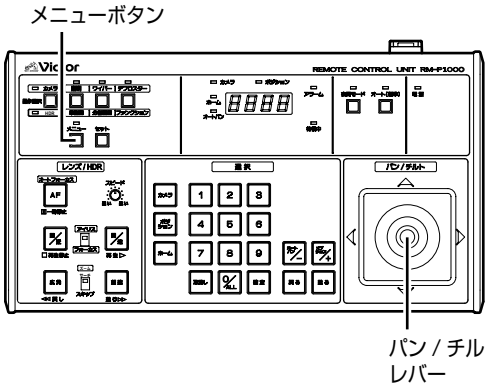
- この機能は再生中のみ動作します。

VR-777DX を操作する（RS-232C 接続）(つづき)

記録された映像を見る (つづき)

■ スキップ

スキップボタンでの操作は、VR-777DX の動作状態やメニュー設定によって異なります。

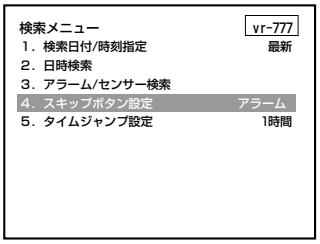


1 スキップボタンの動作設定をする

[メニュー] ボタンを押すと、VR-777DX 側のメニューが起動します。

検索メニューを開き [スキップボタン設定] を行います。

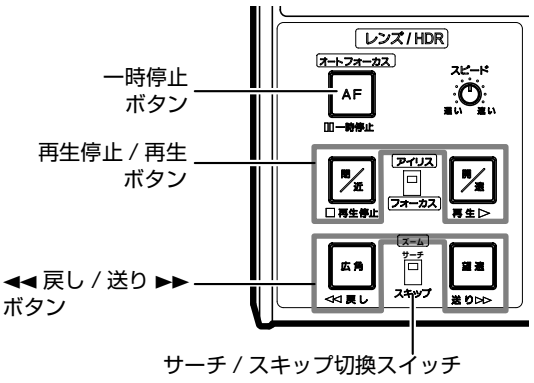
- タイム　：時間単位でスキップします。さらに、[タイムジャンプ] で、単位時間を設定できます。
- アラーム：アラーム単位でスキップします。
- イベント：イベント単位でスキップします。



メモ：

- パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で項目の選択、左右（◀/▶）で設定の変更ができます。
- 設定について詳しくは、VR-777DX の「 取扱説明書 」をご覧ください。

2 [サーチ/スキップ]切換スイッチを“スキップ”側に設定する



3 [◀◀ 戻し]/[送り ▶▶] ボタンを押す

スキップ動作は、VR-777DX の状態やメニュー設定によって異なります。

● 停止状態（EE モード）の場合

- [送り ▶▶] を押す
  選択しているカメラ番号において、HDD 記録済み部分の一番新しい画像で一時停止状態となります。
- [◀◀ 戻し] を押す
  選択しているカメラ番号において、HDD 記録済み部分の一番古い画像で一時停止状態となります。

● 再生または一時停止状態で、VR-777DX の [スキップボタン設定] が “ タイム ” の場合

- [送り ▶▶] を押す
  選択しているカメラ番号において、[タイムジャンプ設定] で設定された時間分送り方向にスキップして、一時停止状態となります。
- [◀◀ 戻し] を押す
  選択しているカメラ番号において、[タイムジャンプ設定] で設定された時間分戻り方向にスキップして、一時停止状態となります。

● 再生または一時停止状態で、VR-777DX の [スキップボタン設定] が “ アラーム ” の場合

- [送り ▶▶] を押す
  選択しているカメラを含むブロック内でアラームが入っている後ろのトラックへスキップして、選択しているカメラ映像が一時停止状態となります。
- [◀◀ 戻し] を押す
  選択しているカメラを含むブロック内でアラームが入っている前のトラックへスキップして、選択しているカメラ映像が一時停止状態となります。

● 再生または一時停止状態で、VR-777DX の [スキップボタン設定] が “ イベント ” の場合

- [送り ▶▶] を押す
  選択しているカメラ番号において、１つ後ろのトラックへスキップして一時停止状態となります。
- [◀◀ 戻し] を押す
  選択しているカメラ番号において、１つ前のトラックへスキップして一時停止状態となります。

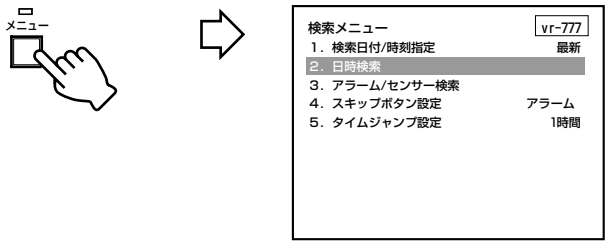
記録された映像を探す

■ 日時検索

日時を指定して、記録映像を検索します。

1 [メニュー] を押す

- 検索メニュー画面が表示されます。



メモ :

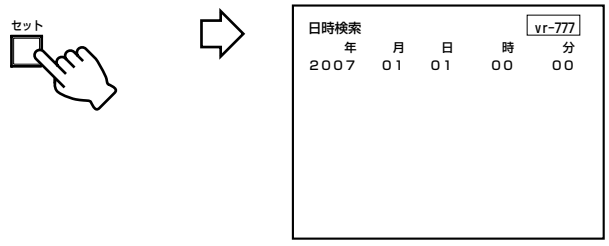
- 検索メニュー画面表示中に [メニュー] ボタンを押すと、メニュー画面は終了します。
- 検索メニュー画面表示中、約 1 分間操作をしないと、自動的にメニュー画面は終了します。

2 “日時検索” を選択する

パン / チルトコントロールレバーで “日時検索” を選択します。

3 [セット] を押す

- 日時検索メニューが起動されます。



4 年月日、および時間を選択する

パン / チルトコントロールレバーを操作し、日時を設定します。

- 左右（◀/▶）で項目選択
- 上下（▲/▼）で数値変更

メモ :

- [メニュー] ボタンを押すと、検索メニューに戻ります。

5 [セット] を押す

- 検索メニュー画面終了後、該当記録画面が一時停止表示されます。

メモ :

- 検索終了後の画面は、検索前に選択していた番号のカメラ映像、もしくは 4 分割画面の表示となります。
- 検索前に 16 分割表示していた場合は、本機に表示されている番号のカメラ映像を単画面で表示します。
- 検索メニュー表示中に、[操作選択] を “ カメラ ” に切り換えたい場合、[メニュー] ボタンを押し、メニューを終了してから操作選択の切り換えを行なってください。
- 検索メニュー表示中にアラーム入力があった場合、検索メニューの表示を継続します。アラームカメラの映像を確認する場合は、[操作選択] を “HDR” に切り換え、[メニュー] ボタンを押して、検索メニューの表示を終了してください。

VR-777DX を操作する（RS-232C 接続）(つづき)

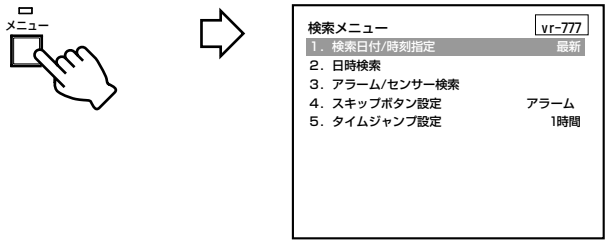
記録された映像を探す (つづき)

■ アラーム／センサー検索

アラーム／センサー履歴の中から記録映像を検索します。

1 [メニュー] を押す

- 検索メニュー画面が表示されます。

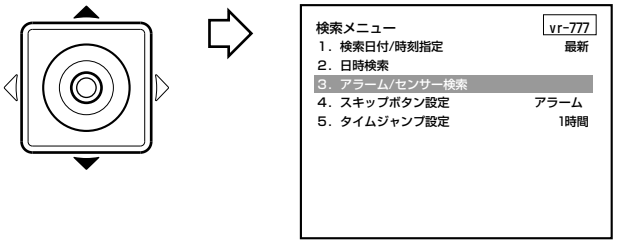


メモ :

- 検索メニュー画面表示中に [メニュー] ボタンを押すと、メニュー画面は終了します。
- 検索メニュー画面表示中、約 1 分間操作をしないと、自動的にメニュー画面は終了します。

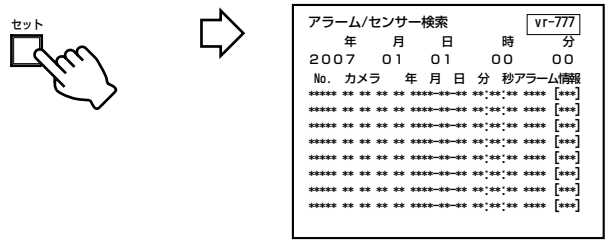
2 [アラーム / センサー検索] を選択する

パン / チルトコントロールレバーで、“ アラーム / センサー検索 ” を選択します。



3 [セット] を押す

- アラーム／センサー検索メニューが起動します。



4 年月日、および時間を選択する

パン / チルトコントロールレバーを操作し、日時を設定します。

- 左右（◀/▶）で項目選択
- 上下（▲/▼）で数値変更

メモ :

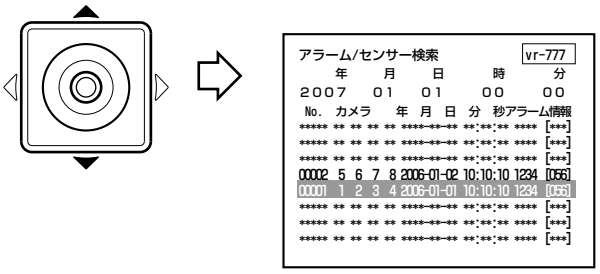
- 選択した日時にアラーム / センサー履歴が無い場合は、モニター画面下部に、「アラーム / センサー登録はありません」と表示されます。
- [メニュー] ボタンを押すと、検索メニューに戻ります。

5 [セット] を押す

- アラーム / センサー検索リストが表示されます。

6 検索したいリストを選択する

パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、リストを選びます。



メモ :

- スキップ操作により、100 件単位でのアラームリストのジャンプができます。(☞ 46 ページ)
- 複数のアラームが同時刻に発生すると、1 つのアラームリストに、最大 4 つのカメラ番号が登録されることがあります。その場合は、[再生] ボタンを押すと一番若い番号のカメラ映像が再生されます。他のカメラの映像が見たい場合は、見たいカメラ番号を選択してください。

7 [セット] を押す

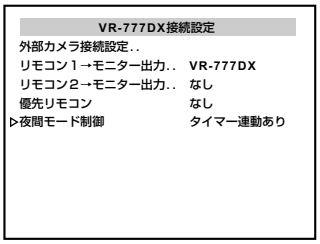
- 検索メニュー画面終了後、選択されたアラーム画面が一時停止表示されます。

その他の操作

■ タイマーモードの設定

1 [VR-777DX接続設定]の[夜間モード制御]項目を“ タイマー連動あり ”に設定する

(☞ 63 ページ)



2 [夜間モード] を押す

- VR-777DX はタイマーモードに設定されます。

3 タイマーモードを解除する

再度、[夜間モード] ボタンを押すとタイマーモードは解除されます。

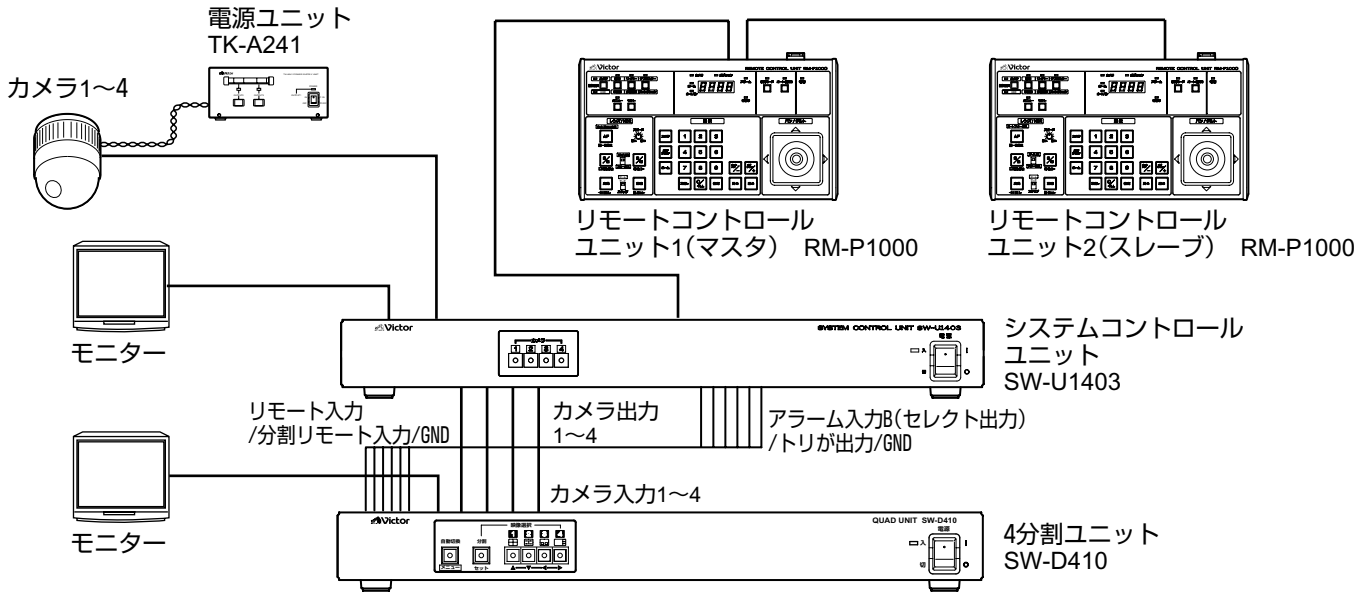
メモ：

- [操作選択] が“ カメラ ”のときもタイマー動作します。

分割ユニット SW-D410/ SW-D1600 の操作

システム例 (SW-D410)

[システム設定] の [外部接続機器設定] 項目の [接続機種] を “SW-D410” または “SW-D1600” に設定すると、分割ユニット SW-D410/SW-D1600 に接続されたモニターに表示する映像を切り換えることができます。(☞ 61 ページ)



メモ :

- SW-D1600 のシステム接続や接続方法について詳しくは、SW-U1403 の「 取扱説明書 」をご覧ください。

SW-D410/SW-D1600 の接続設定

■ 本機のメニュー設定

● 外部接続機器の設定

[システム設定] の [外部接続機器設定] 項目の [接続機種] を “SW-D410”、または “SW-D1600” に設定します。(☞ 61 ページ)

● リモコンとモニター出力の関連付けの設定

[接続機種] で “SW-D410” または “SW-D1600” を選択すると、下位層メニューに移動できます。下位層メニューの「SW-D410 接続設定」に進み、リモコンとモニター出力の関連付けを [リモコン 1 →モニター出力] と [リモコン2→モニター出力] の設定で、“SW-U1403”、または “SW-D410”、“SW-D1600” に設定します。

● [優先リモコン] の設定

リモコンに対して操作権限を与えたい場合は、[優先リモコン] を “ リモコン1 ” または “ リモコン2 ” に設定します。

● [オートシーケンス] の設定

[接続機種] で “SW-D410” または “SW-D1600” を選択すると、[オートシーケンス] の下位層メニューに移動でき、SW-D410/SW-D1600 のモニター出力でのオートシーケンス設定ができます。(☞ 62 ページ)

メモ :

- 本システムでは、RM-P1000 を2台まで拡張できます。接続機器のモニター出力と関連付けをすることで、各モニターを独立して操作することができます
- [優先リモコン] の設定をしたリモコンは、他のリモコンで操作中のコンビネーションカメラを割り込みで操作できます。
- オートシーケンス機能は、リモコンの [オート（標準）] ボタンと連動しています。

ご注意 :

- 本機のメニュー画面表示・操作は、リモコン1からのみ行えます。

リモートコントロールユニットの番号表示について :

本機メニューおよび本書では、リモートコントロールユニット (RM-P1000) をリモコン1、リモコン2と表現している場合があります。

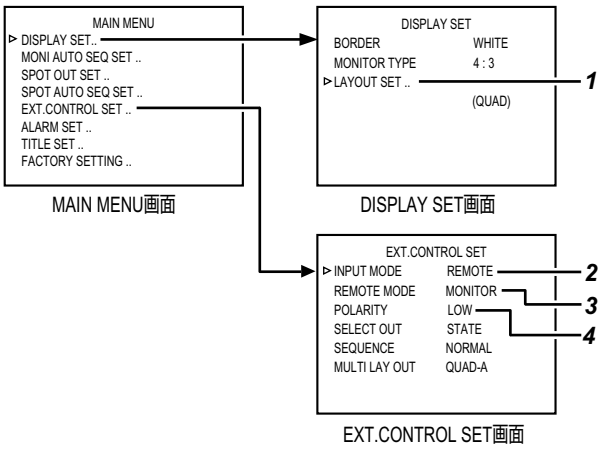
リモコン1 ：本機リアパネルの設定切換ディップスイッチの設定で、マスタに設定されているリモートコントロールユニット。

リモコン2 ：本機リアパネルの設定切換ディップスイッチの設定で、スレーブに設定されているリモートコントロールユニット。

“[設定 1 〜 12] 設定切換ディップスイッチ ”
(☞ 8 ページ)

■ SW-D410/SW-D1600 のメニュー設定

本システムでは、動作に整合性を持たせるため、SW-D410/SW-D1600 のメニューにて、分割画面設定およびリモートコントロール機能の設定が必要です。また、SW-U1403 のセレクト出力端子（ハーモニカ端子）と SW-D410/SW-D1600 のアラーム / リモート入力端子（D-Sub 25pin）を接続することで、制御を可能にしています。



MAIN MENU画面　　DISPLAY SET画面

EXT.CONTROL SET画面

※ 上記は SW-D1600 のメニュー画面です。

1 出力する分割画面を設定する

設定 ： [EXT.CONTROL SET] 画面の [MULTILAYOUT] を表示したいレイアウト画面に設定します。
分割画面のレイアウトは、[DISPLAY SET] 画面の [LAYOUT SET] を設定してください。

2 アラーム / リモート入力端子の入力信号を設定する

設定 ： [MAIN MENU] から [EXT.CONTROL SET] を選択し、[INPUT MODE] を “REMOTE” に設定します。

3 リモート入力端子で制御する映像信号出力端子を設定する

設定 ： [REMOTE MODE] を “MONITOR” に設定します。

4 リモート入力端子の極性を設定する

設定 ： [POLARITY] を “LOW” に設定します。

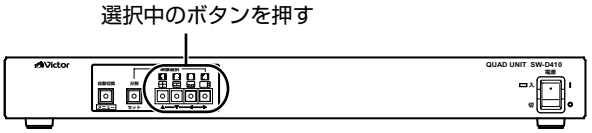
メモ :

- SW-D410/SW-D1600 のメニュー設定は、本機からは行えません。
- メニュー操作について詳しくは、SW-D410/SW-D1600 の「 取扱説明書 」をご覧ください。

■ SW-D410/SW-D1600 操作ロックの設定

オートシーケンスは、SW-U1403 で制御するため、SW-D410/SW-D1600 からオートシーケンス操作ができないようにする必要があります。

設定 ： 現在、表示選択中のボタン（表示灯が点灯）を５秒以内に１０回押します。
操作ロックとなります。
操作ロックを解除するには、表示選択中のボタンを５秒以内に１０回押してください。



ご注意 :

- 複数のアラームが同時に発生したとき、SW-D410/SW-D1600 の画面上に表示されるカメラ番号と RM-P1000 上のカメラ番号に、不一致が生じる場合があります。

メニュー設定の手順

システムをはじめて組んだ場合やカメラを入れ換えた場合、各ポジションの設定やタイトル設定を行います。
下記設定手順の流れに従い設定してください。

Step 1
メニュー画面の起動 (☞ 53 ページ)
パスワードを入力し、メニュー画面を起動させます。

▼

Step 2
システム設定 (☞ 58 ページ)
本システムに関する設定（SW-U1403 使用台数の設定、カメラ設定、モニター出力設定、外部接続機器の設定、アラーム設定など）を行います。
※ カメラ設定は確実に行なってください。設定を誤ると、映像が出力されない場合があります。
確認: " カメラを選択する " (☞11 ページ) など

▼

Step 3
カメラタイトルの設定
(☞ **使用カメラの「 取扱説明書 」**)
全接続カメラのカメラタイトル、ホームポジションタイトルを設定します。(☞ 67 ページ)
設定は、カメラメニュー画面で行います。
確認: タイトルの設定されたカメラを選択した場合、モニター画面の左下に設定したタイトルが表示されます。

▼

Step 4
※ 必要に応じて行います
ホームポジション設定 (☞ 68 ページ)
全接続カメラのホームポジションを設定します。
確認: " ホームポジションを選択する " (☞12 ページ)

▼

Step 5
ホームポジションの映像設定
(☞ 70 ページ)
ホームポジションごとに、アイリス、ExDR などの映像シーン設定を行います。
メモ :
- 詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。

▼

Step 6
プリセットポジション設定
(☞ 71 ページ)
ホームポジションとは別に、任意のポジションをプリセットポジションとして設定します。
確認: " プリセットポジションを選択する " (☞14 ページ)、ポジションタイトルの表示

▼

Step 7
※ 必要に応じて行います
プリセットポジションの映像設定
(☞ 77 ページ)
プリセットポジションごとに、アイリス、ExDR などの映像シーン設定を行います。
メモ :
- 詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。

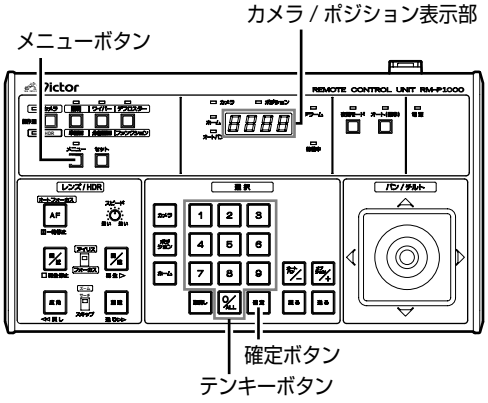
▼

Step 8
※ 必要に応じて行います
データ I/O 端子設定
(☞ 78 ページ)
SW-U1403 背面の [アラーム入力 A]、[アラーム入力 B] 端子などの設定を行います。

メニューの基本操作

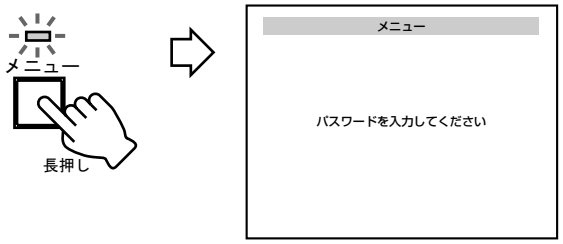
メニュー画面の起動

下記の手順でパスワードを入力し、メニュー画面を起動させます。



1 [メニュー] を長押しする（約 1 秒）

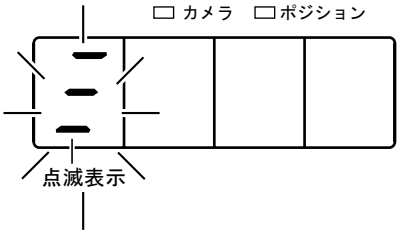
- 「ピッ」と音がして、画面が黒くなり、パスワード入力画面が表示されます。
- [メニュー] 表示灯が点灯します。



パスワード入力画面

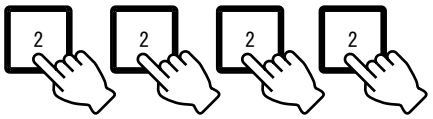
メモ：

- アラーム動作中は、メニューの起動はできません。
- パスワード入力画面表示中に[メニュー]ボタンを押すと、メニュー画面が終了し、通常状態に戻ります。
- メニュー画面を起動すると、SW-U1403 のカメラ出力端子 1 にもメニュー映像が出力されます。
- カメラ / ポジション表示部に “ ニ ” が点滅表示されます。

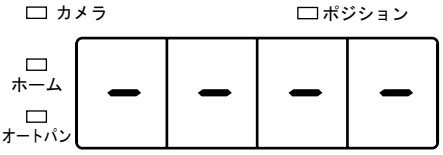


2 パスワードを入力する

テンキーの [2] を 4 回押します。

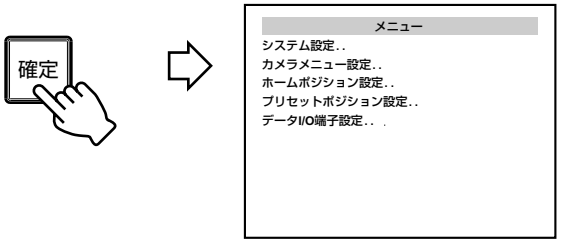


- カメラ / ポジション表示部に “----” と表示されます。



3 [確定] を押す

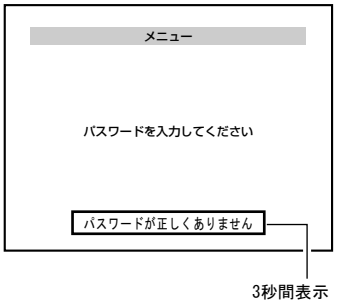
- メニュー画面が表示されます。



メニューの基本操作 (つづき)

■ パスワードを間違えた場合

- " パスワードが正しくありません " と約 3 秒間表示され、パスワード入力画面に戻ります。
- 正しいパスワードを入力してください。



メモ :

- メニューの操作は、リモコン 1（[接続先 SW-U1403/HDR/RM-P1000（マスタ）] 端子に接続されたリモートコントロールユニット）のみで操作することができます。また、本機の [モニター出力] 端子に接続されたモニターにメニューが表示されます。
- メニュー操作中、リモコン 1 以外のリモコンは [待機中] 表示灯が点灯し、操作できません。
- メニュー操作中のアラーム入力は受付けません。
- メニュー操作中、夜間モード (☞ 21 ページ) は解除されます。その後、メニュー操作を終了しても、夜間モードは復帰しません。

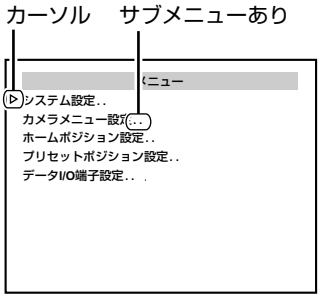
設定値を変える

下記の手順でサブメニューを表示し、設定値を変えます。

■ サブメニューを起動させる

1 メニュー画面を起動させる (☞ 53 ページ)

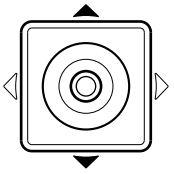
- メニュー画面が表示されます。



2 項目を選ぶ

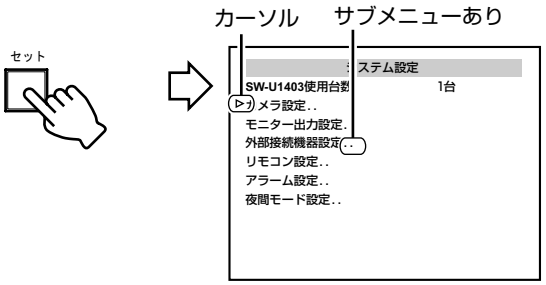
パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、選択したい項目にカーソル（▷）をあわせます。

- 項目の後ろに [・・] が付いているものは、サブメニューがあります。



3 [セット] を押す

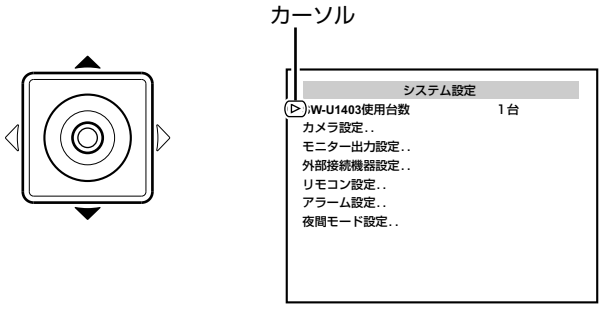
- サブメニュー画面が表示されます。



■ 設定値を変更する

4 項目を選ぶ

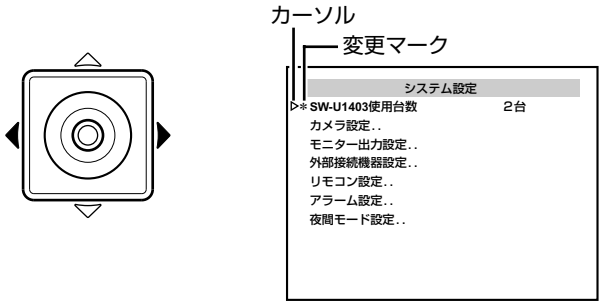
パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、選択したい項目にカーソル（▷）をあわせます。



5 設定値を変える

パン / チルトコントロールレバー左右（◀/▶）を動かすたびに、値が変化します。

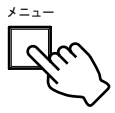
- 設定値を変えると、変更マーク“ ＊ ”が表示されます。



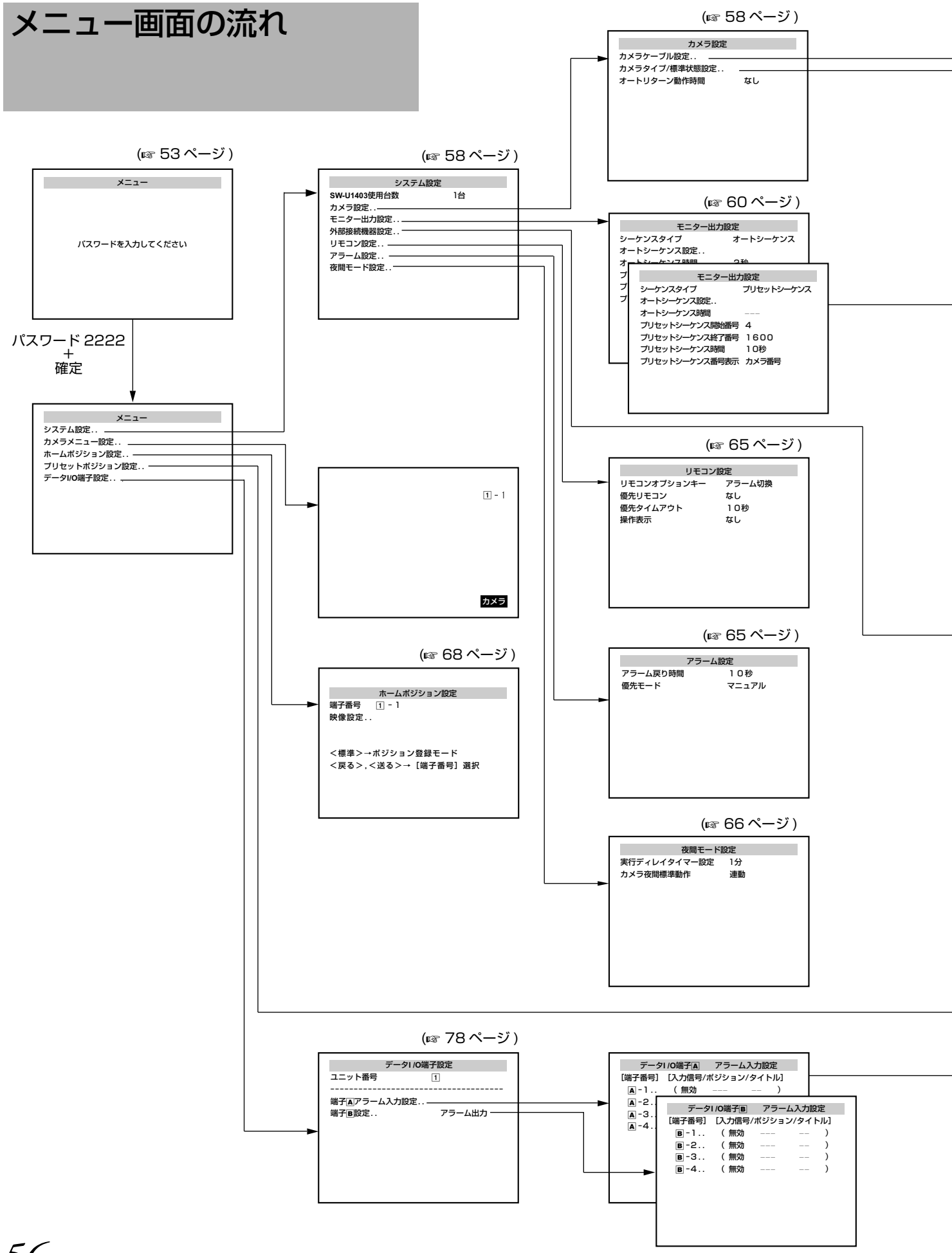
■ 上位のメニュー画面に戻る

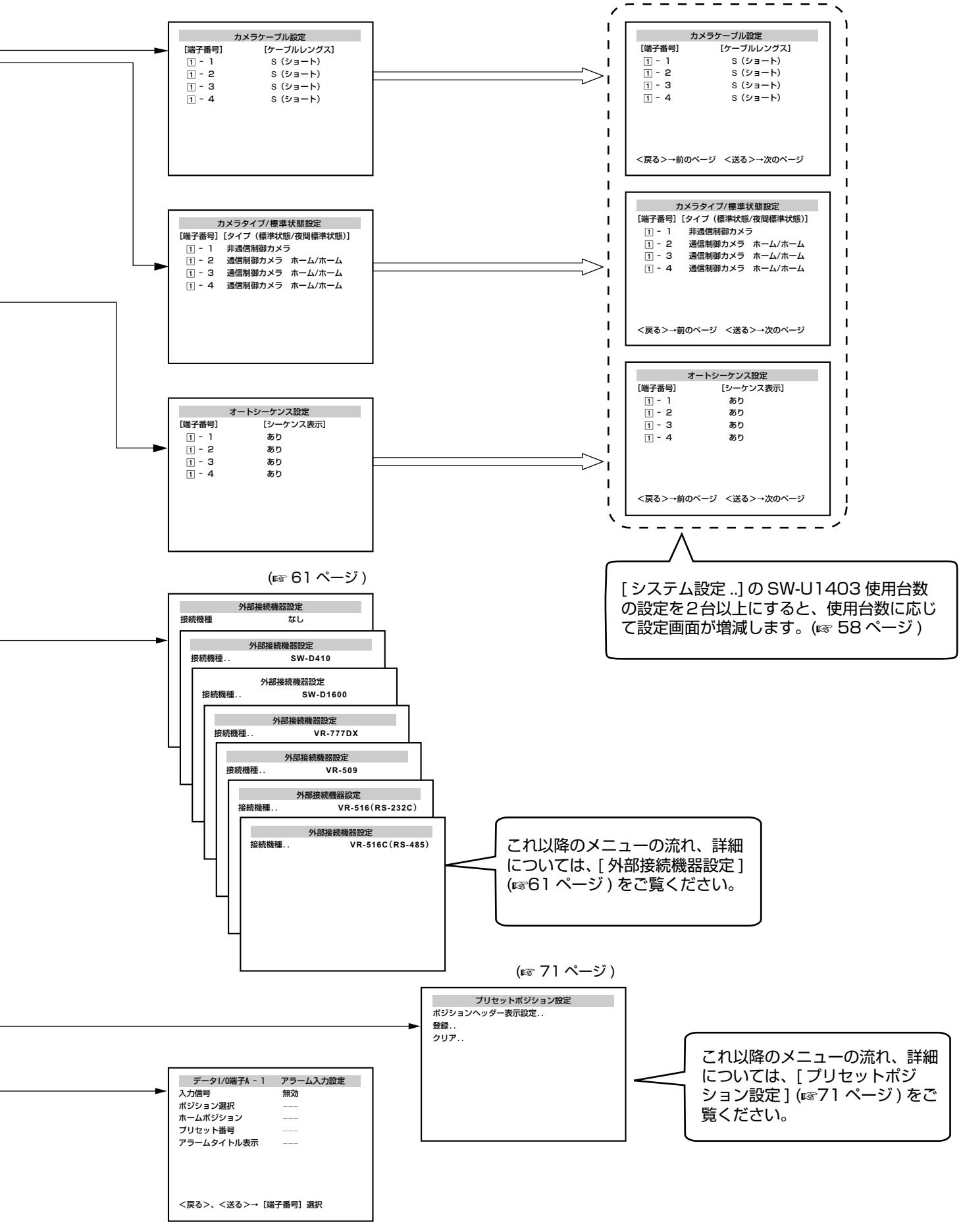
6 [メニュー] を押す

- 画面上に“ データをメモリーしました ”と表示され、上位のメニュー画面に戻ります。



メニュー画面の流れ


(☞ 58 ページ)
カメラ設定
カメラケーブル設定..
カメラタイプ/標準状態設定..
オートリターン動作時間 なし
(☞ 53 ページ)
メニュー
パスワードを入力してください
(☞ 58 ページ)
システム設定
SW-U1403使用台数 1台
カメラ設定..
モニター出力設定..
外部接続機器設定..
リモコン設定..
アラーム設定..
夜間モード設定..
(☞ 60 ページ)
モニター出力設定
シーケンスタイプ オートシーケンス
オートシーケンス設定..
モニター出力設定
シーケンスタイプ プリセットシーケンス
オートシーケンス設定..
オートシーケンス時間 ---
プリセットシーケンス開始番号 4
プリセットシーケンス終了番号 1600
プリセットシーケンス時間 10秒
プリセットシーケンス番号表示 カメラ番号
パスワード 2222
＋
確定
メニュー
システム設定..
カメラメニュー設定..
ホームポジション設定..
プリセットポジション設定..
データI/O端子設定..
1 - 1
カメラ
(☞ 65 ページ)
リモコン設定
リモコンオプションキー アラーム切換
優先リモコン なし
優先タイムアウト 10秒
操作表示 なし
(☞ 68 ページ)
ホームポジション設定
端子番号 1 - 1
映像設定..
＜標準＞→ポジション登録モード
＜戻る＞,＜送る＞→［端子番号］選択
(☞ 65 ページ)
アラーム設定
アラーム戻り時間 10秒
優先モード マニュアル
(☞ 66 ページ)
夜間モード設定
実行ディレイタイマー設定 1分
カメラ夜間標準動作 連動
(☞ 78 ページ)
データI/O端子設定
ユニット番号 1
端子Aアラーム入力設定..
端子B設定.. アラーム出力
データI/O端子A アラーム入力設定
［端子番号］［入力信号/ポジション/タイトル］
A-1.. (無効 --- --)
A-2..
A-3..
A-4..
データI/O端子B アラーム入力設定
［端子番号］［入力信号/ポジション/タイトル］
B-1.. (無効 --- --)
B-2.. (無効 --- --)
B-3.. (無効 --- --)
B-4.. (無効 --- --)


カメラケーブル設定
[端子番号] [ケーブルレングス]
1 - 1 S (ショート)
1 - 2 S (ショート)
1 - 3 S (ショート)
1 - 4 S (ショート)
<戻る>→前のページ <送る>→次のページ
カメラタイプ/標準状態設定
[端子番号] [タイプ (標準状態/夜間標準状態)]
1 - 1 非通信制御カメラ
1 - 2 通信制御カメラ ホーム/ホーム
1 - 3 通信制御カメラ ホーム/ホーム
1 - 4 通信制御カメラ ホーム/ホーム
オートシーケンス設定
[端子番号] [シーケンス表示]
1 - 1 あり
1 - 2 あり
1 - 3 あり
1 - 4 あり
[システム設定 ..] の SW-U1403 使用台数の設定を2台以上にすると、使用台数に応じて設定画面が増減します。(☞ 58 ページ)
(☞ 61 ページ)
外部接続機器設定
接続機種 なし
接続機種.. SW-D410
接続機種.. SW-D1600
接続機種.. VR-777DX
接続機種.. VR-509
接続機種.. VR-516(RS-232C)
接続機種.. VR-516C(RS-485)
これ以降のメニューの流れ、詳細については、[外部接続機器設定] (☞61 ページ) をご覧ください。
(☞ 71 ページ)
プリセットポジション設定
ポジションヘッダー表示設定..
登録..
クリア..
これ以降のメニューの流れ、詳細については、[プリセットポジション設定] (☞71 ページ) をご覧ください。
データI/O端子A - 1 アラーム入力設定
入力信号 無効
ポジション選択 ---
ホームポジション ---
プリセット番号 ---
アラームタイトル表示 ---
<戻る>、<送る>→[端子番号] 選択

システム設定

システムに使用するカメラの設定やモニター出力、接続機器などの設定を行います。
設定を間違えると、システムが正常に動作しません。また、システムを変更した場合は再度設定し直してください。

SW-U1403 使用台数

● は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
SW-U1403 使用台数	1 台～4台 （初期値：1台）	システムに組み込む SW-U1403 の台数を設定します。

カメラ設定

カメラに関する設定を行います。

項目	設定値	内容
カメラケーブル設定 [端子番号] 1–1 ～ 1–4 ⬇ 4–1 ～ 4–4	[ケーブルレングス] ● S（ショート） M（ミドル） L（ロング）	カメラと SW-U1403 を接続するケーブル長を設定します。 正しく設定しないと、カメラが正常に動作しない場合があります。 S（ショート）：0m ～ 100m（3C-2V）、0m ～ 150m（5C-2V、5C-FB）、0m ～ 180m（7C-2V）のケーブル M（ミドル）：100m ～ 200m（3C-2V）、150m ～ 300m（5C-2V、5C-FB）、180m ～ 360m（7C-2V）のケーブル L（ロング）：300m ～ 500m（5C-2V）、360m ～ 500m（7C-2V）のケーブル **メモ：** ● [カメラケーブル設定 ..] 画面は複数ページで構成されており、SW-U1403 の接続台数に応じて設定ページ数が変化します。SW-U1403、1 台につき 1 ページ（最大 4 ページ）。
カメラタイプ / 標準状態設定	接続なし ● 非通信制御カメラ 通信制御カメラ　ホーム / ホーム 通信制御カメラ　オートパン / ホーム 通信制御カメラ　オートパン / オートパン リレーボックス リレーボックス　オートパン /--- リレーボックス　オートパン / オートパン	SW-U1403 のカメラ信号入力端子に接続されたカメラの下記3点に関する設定を行います。 ● カメラのタイプ ● オート（標準）状態の動作 ● 夜間モード時の動作 **メモ：** ● 本項目は、全ての端子について設定してください。 ● TK-S576B、TK-S655、TK-S625、TK-S850 は通信制御カメラです。 ● TK-S850 はオートパン機能がありません。必ず [通信制御カメラ ホーム / ホーム] に設定してください。 **ご注意：** ● [夜間モード設定..]の[カメラ夜間標準動作]項目が“ 連動 ”(☞ 66ページ)、[カメラタイプ / 標準状態設定] の標準状態が “ オートパン ” に設定されている場合、[夜間モード] ボタンを “ON” から “OFF” にすると、カメラはオートパン動作をします。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>カメラタイプ / 標準状態設定</td><td>接続なし
● 非通信制御カメラ
通信制御カメラ　ホーム / ホーム
通信制御カメラ　オートパン / ホーム
通信制御カメラ　オートパン / オートパン
リレーボックス
リレーボックス　オートパン /---
リレーボックス　オートパン / オートパン</td><td>接続なし　：カメラを接続しない場合に設定します。この設定にすると、手動選択も、オートシーケンス時の選択も行えません。
非通信制御カメラ：同軸多重通信制御しないカメラの場合に設定します。
通信制御カメラ　ホーム / ホーム：
同軸多重通信制御ができるカメラ（コンビネーションカメラなど）で、標準状態を “ ホームポジション ”、夜間モード時標準状態を “ ホームポジション ” に設定します。
通信制御カメラ　オートパン / ホーム：
同軸多重通信制御ができるカメラ（コンビネーションカメラなど）で、標準状態を “ オートパン ”、夜間モード時標準状態を “ ホームポジション ” に設定します。
通信制御カメラ　オートパン / オートパン：
同軸多重通信制御ができるカメラ（コンビネーションカメラなど）で、標準状態を “ オートパン ”、夜間モード時標準状態を “ オートパン ” に設定します。
リレーボックス　：同軸多重通信制御するリレーボックスで、標準状態：オートパン OFF、夜間モード時標準状態：オートパン OFF に設定します。
リレーボックス　オートパン /---：
同軸多重通信制御するリレーボックスで、標準状態：オートパン ON、夜間モード時標準状態：オートパン OFF に設定します。
リレーボックス　オートパン / オートパン：
同軸多重通信制御するリレーボックスで、標準状態：オートパン ON、夜間モード時標準状態：オートパン ON に設定します。
<table>
<tr><th>設定</th><th>夜間モード OFF 時のカメラの標準状態</th><th>夜間モード ON 時のカメラの標準状態</th></tr>
<tr><td>通信制御カメラ
ホーム / ホーム</td><td>ホーム</td><td>ホーム</td></tr>
<tr><td>通信制御カメラ
オートパン / ホーム</td><td>オートパン</td><td>ホーム</td></tr>
<tr><td>通信制御カメラ
オートパン / オートパン</td><td>オートパン</td><td>オートパン</td></tr>
</table>
“ オートパン動作 ” (☞20 ページ)、“ 夜間モード ” (☞21 ページ)
メモ：
● 全ての端子を “ 接続なし ” に設定した場合、画面上に「全ての端子を接続なしに設定できません」と表示されます。
● オートパンについては、カメラにオートパン機能が無い場合でも選択できますが、正しく動作しません。</td></tr>
<tr><td>オートリターン動作時間</td><td>● なし
1 分
2 分
3 分
5 分
10 分
20 分
30 分
60 分</td><td>オートリターンとは：
マニュアル操作したカメラを一定時間操作しないと、そのカメラが自動的に、カメラ設定の [カメラタイプ / 標準状態設定 ..] 項目で設定した標準状態に戻る機能です。
なし　：オートリターンは働きません。
1 分～ 60 分　：オートリターンが動作する時間を設定します。操作しない時間が設定した時間をこえると、オートリターンが働き、カメラが標準状態に戻ります。</td></tr>
</table>

システム設定 (つづき)

モニター出力設定

モニターのオート（標準）状態時の動作などを設定します。

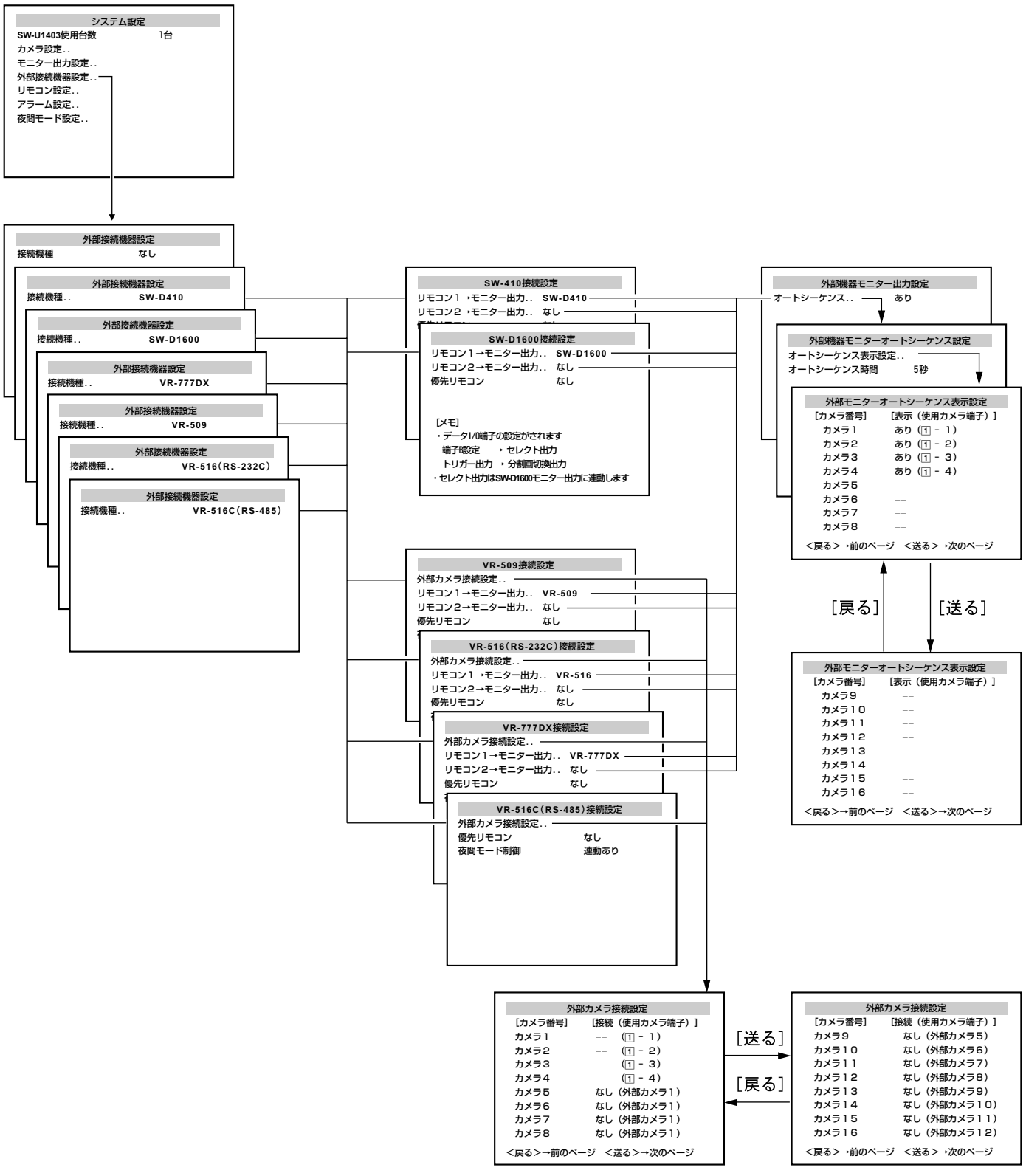
項目	設定値	内容
シーケンスタイプ	● オートシーケンス プリセットシーケンス	モニター出力の標準状態が、オートシーケンスかプリセットシーケンスかを選択します。 “ オートシーケンス動作 ” (☞19 ページ) “ プリセットシーケンス動作 ” (☞19 ページ) **メモ :** ● プリセットシーケンスに設定しても、有効なプリセットポジションが無い場合はモニターの映像は変化しません。
オートシーケンス設定 .. [端子番号] 1–1 ～ 1–4 ⬇ 4–1 ～ 4–4	● あり なし	各端子ごとに、オートシーケンス時にモニター表示をするかどうかを設定します。 **メモ :** ● オートシーケンス設定画面は複数ページで構成されており、SW-U1403 の接続台数に応じて設定ページ数が変化します。SW-U1403、1 台につき 1 ページ (最大 4 ページ)。 ● [カメラタイプ/標準状態設定..]で“ 接続なし ”に設定された端子は“- - -”と表示され設定変更できません。
オートシーケンス時間	1 秒～ 30 秒 (初期値 : 2 秒)	シーケンスタイプが “ オートシーケンス ” に設定されている場合に、カメラの切換時間を設定します。 **メモ :** ● シーケンスタイプが “ プリセットシーケンス ” に設定されている場合、“- - -” と表示され、設定変更できません。
プリセットシーケンス開始番号	1 ～ 1600 (初期値 : 1)	シーケンスタイプが “ プリセットシーケンス ” に設定されている場合に、表示する映像の開始ポジションを設定します。 **メモ :** ● ポジションが登録されていない場合も表示されます。 ● シーケンスタイプが “ オートシーケンス ” に設定されている場合、“- - -” と表示され、設定変更できません。
プリセットシーケンス終了番号	1 ～ 1600 (初期値 : 1600)	シーケンスタイプが “ プリセットシーケンス ” に設定されている場合に、表示する映像の終了ポジションを設定します。 **メモ :** ● ポジションが登録されていない場合も表示されます。 ● [プリセットシーケンス開始番号] より小さな番号は入力できません。 ● シーケンスタイプが “ オートシーケンス ” に設定されている場合、“- - -” と表示され、設定変更できません。
プリセットシーケンス時間	● 10 秒、 15 秒、20 秒、30 秒	シーケンスタイプが “ プリセットシーケンス ” に設定されている場合に、ポジションの切換時間を設定します。 **メモ :** ● シーケンスタイプが “ オートシーケンス ” に設定されている場合、“- - -” と表示され、設定変更できません。
プリセットシーケンス番号表示	● カメラ番号 プリセット番号	シーケンスタイプが “ プリセットシーケンス ” に設定されている場合に、カメラ / ポジション表示部に表示する内容を設定します。 カメラ番号　　：カメラ / ポジション表示部にカメラ番号を表示します。 プリセット番号　：カメラ / ポジション表示部にプリセット番号を表示します。

メモ :

● [外部接続機器設定 ..] の [接続機種] を “VR-516C(RS-485)” と設定したときのシーケンス設定は、VR-516C に従います。詳しくは、VR-516C の「 取扱説明書 」をご覧ください。

外部接続機器設定

■ メニュー画面の流れ



システム設定 (つづき)

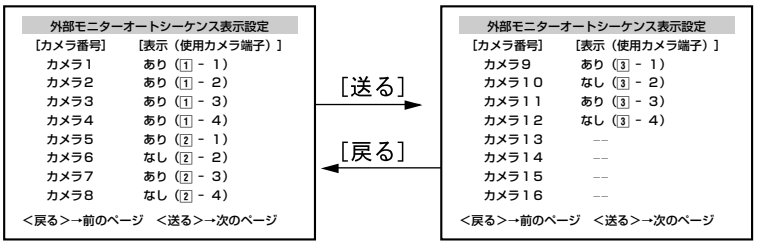
外部接続機器設定 (つづき)

外部に接続する機器の機種を選択します。

項目	設定値	内容
接続機種	● なし SW-D410 SW-D1600 VR-777DX VR-509 VR-516（RS-232C） VR-516C（RS-485）	外部に接続する機器の機種を選択します。 選択した機種ごとにサブメニューが表示できます。 **メモ：** ● 接続機種がなしの場合、サブメニューは起動しません。

■ SW-D410/SW-D1600

下記内容は、SW-D410 を接続した場合です。SW-D1600 を接続した場合、設定値に “SW-D1600” が表示されます。

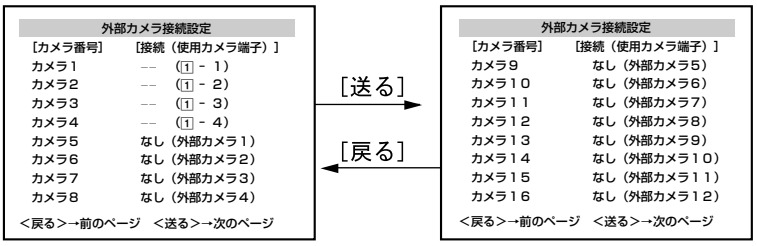
項目	設定値	内容
リモコン 1 →モニター出力	SW-U1403 ● SW-D410※	リモコン 1 で操作できるモニターを設定します。 “SW-U1403” を選択した場合、以下のサブメニューは表示されません。
オートシーケンス	● あり なし	接続機器のモニター出力で、オートシーケンスをするかどうかを設定します。 “ なし ” に設定した場合、以下のサブメニューは表示されません。
オートシーケンス表示設定		
	● あり なし	カメラ番号ごとに、オートシーケンス表示のあり、なしを設定します。 “ あり ” に設定したカメラの映像を切り換え、モニターに表示します。 ■ オートシーケンス表示設定画面 SW-D410/SW-D1600 表示例： 
オートシーケンス時間	5秒～30秒 （初期値：5秒）	オートシーケンスのカメラ切換時間を設定します。
リモコン2→モニター出力	SW-U1403 SW-D410 ● なし	リモコン2で操作できるモニターを設定します。 **メモ：** ● [リモコン 1 →モニター出力]の設定値が“SW-U1403”に設定されている場合、本項目を “SW-U1403” に設定することはできません。
オートシーケンス	● あり なし	リモコン 1 →モニター出力と同じ。
オートシーケンス表示設定		
	● あり なし	
オートシーケンス時間	5秒～30秒 （初期値：5秒）	
優先リモコン	なし ● リモコン1 リモコン2	制御したいカメラを他のリモコンが操作している場合でも、優先して操作できる優先リモコンを設定します。 **メモ：** ● “なし” に設定した場合、[アラーム設定 ..] の [優先モード] が “---” の設定になります。(☞ 65 ページ)

メモ：

● リモコン 1 / リモコン 2 のモニター出力に同一の外部接続機器を設定した場合、外部機器モニター出力設定はリモコン 1、またはリモコン 2 のどちらで設定しても同じ動作となります。

■ VR-509/VR-516/VR-777DX

下記内容は、VR-777DX を接続した場合です。VR-777DX 以外のハードディスクレコーダーを接続した場合、「設定値」に接続した機器の機種名が表示されます。

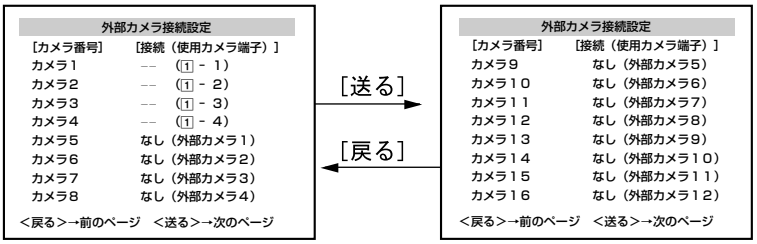
項目	設定値	内容
外部カメラ接続設定	● なし あり	VR-777DX 側のカメラ端子に空きがある場合、SW-U1403 システムで使用しないカメラ番号に、VR-777DX のカメラ端子を割り付け、外部カメラとしてオートシーケンスの対象にすることができます。 ■ 外部カメラ接続設定画面  **メモ：** ● システム設定メニューの「SW-U1403 使用台数」で設定されている台数により割り付け可能な外部カメラの台数が変化します。 SW-U1403 使用台数 1台：12台まで設定可能 2台：8台まで設定可能 3台：4台まで設定可能 4台：設定不可 ● 外部カメラとして割り付け可能なカメラ番号がない場合は、“ 外部カメラとして割当可能なカメラ番号がありません（メニューキーで戻ります）” とメッセージが表示されます。 ● 外部機器に接続可能なカメラ台数が割り付け可能な空きカメラ番号より少ない場合、不要なカメラ番号の選択肢は “- - -” 表示となります。
リモコン 1 →モニター出力	SW-U1403 ● VR-777DX	SW-D410/SW-D1600 と同じ (☞ 62 ページ) **メモ：** ● 外部カメラ接続設定のメニューで “ あり ” に設定されているカメラに対して、オートシーケンスを “ あり ” に設定できます。
オートシーケンス	● あり なし	
オートシーケンス表示設定	● あり なし	
オートシーケンス時間	5秒～30秒 （初期値：5秒）	
リモコン2 →モニター出力	SW-U1403 VR-777DX ● なし	
オートシーケンス	● あり なし	
オートシーケンス表示設定	● あり なし	
オートシーケンス時間	5秒～30秒 （初期値：5秒）	
優先リモコン	なし ● リモコン 1 リモコン2	
夜間モード制御	タイマー連動なし ● タイマー連動あり	夜間モードの ON/OFF と、VR-777DX のタイマーモード制御を連動するかどうかを設定します。 VR-509/VR-516 の場合は、タイマー記録運用モード制御と連動するかどうかを設定します。画面上には、“ 連動あり／なし ” と表示されます。

システム設定（つづき）

外部接続機器設定（つづき）

■ VR-516C

下記内容は、VR-516C を接続した場合です。

項目	設定値	内容
外部カメラ接続設定	● なし あり	VR-516C 側のカメラ端子に空きがある場合、SW-U1403 システムで使用しないカメラ番号に、VR-516C のカメラ端子を割り付け、外部カメラとしてオートシーケンスの対象にすることができます。 ■ 外部カメラ接続設定画面  **メモ：** ● システム設定メニューの [SW-U1403 使用台数] で設定されている台数により割り付け可能な外部カメラの台数が変化します。 SW-U1403 使用台数 1台：12台まで設定可能 2台：8台まで設定可能 3台：4台まで設定可能 4台：設定不可 ● 外部カメラとして割り付け可能なカメラ番号がない場合は、“ 外部カメラとして割当可能なカメラ番号がありません（メニューキーで戻ります）” とメッセージが表示されます。 ● 外部機器に接続可能なカメラ台数が割り付け可能な空きカメラ番号より少ない場合、不要なカメラ番号の選択肢は “- - -” 表示となります。
優先リモコン	なし ● リモコン1 リモコン2 VR-516C：モニタ VR-516C：スポット	制御したいカメラを他のリモコンが操作している場合でも、優先して操作できる優先リモコンを設定します。 **メモ：** ● “なし” に設定した場合、[アラーム設定 ..] の [優先モード] が “---” の設定になります。(☞ 65 ページ)
夜間モード制御	連動なし ● 連動あり	夜間モードの ON/OFF と、VR-516C のタイマー / 記録運用モード制御を連動するかどうかを設定します。

メモ：

- リモコン1のモニター出力はVR-516Cの[VIDEO OUT]端子、リモコン2のモニター出力はVR-516Cの[SPOT OUT]端子となります。
- オートシーケンスの設定は、VR-516C の設定に従います。詳しくは、VR-516C の「 取扱説明書 」をご覧ください。

リモコン設定

項目	設定値	内容
リモコンオプションキー	● アラーム切換 割当なし - - -	オプションボタンの機能を割り当てます。 アラーム切換　：複数のアラームが入っている状態で [オプション] ボタンを押すと、アラームカメラの映像を順に切り換えて、モニターに出力します。 割当なし　：[オプション] ボタンを押しても映像は切り換わりません。 - - -　：“ アラーム切換 ” と同じ動作をしますが、設定値の変更は行えません。 **メモ：** ● 優先リモコンが設定されている場合、“アラーム切換”の動作をできるのは優先リモコンだけです。
優先リモコン	なし ● リモコン 1 リモコン 2 - - -	本システムでは、リモコン2台をカスケード接続したシステムで運用することができます。 リモコン間でカメラ操作の取り合いを防ぐために、先にカメラ操作しているリモコンに対してある一定時間の「操作権限」を与えます。しかし、本項目で優先リモコンを設定した場合は、優先リモコンの操作が優先となります。 なし：優先リモコンの設定をしません。 リモコン 1：2 台カスケード接続時のマスター側のリモコンが優先リモコンとなります。 リモコン 2：2 台カスケード接続時のスレーブ側のリモコンが優先リモコンとなります。 - - -　：外部接続機器が選択されているため選択できません。外部接続機器設定画面にて、優先リモコンの設定を行なってください。(☞62 ページ～64 ページ) **メモ：** ● “なし” に設定した場合、[アラーム設定 ..] の [優先モード] が “---” の設定になります。
優先タイムアウト	● 10 秒 20 秒 30 秒	本システムでは、リモコン間でカメラ操作の取り合いを防ぐために、先にカメラ操作しているリモコンに対してある一定時間の「操作権限」を与えます。 操作権限の切れる時間を設定します。 ただし、優先リモコンが設定されている場合は、優先リモコンの操作が優先となります。 **メモ：** ● 最後に操作してからのカウントとなるので、操作し続けている間は操作権限は持ち続けていることになります。
操作表示	あり ● なし	SW-U1403 側のモニター出力に優先タイムアウト状態表示を設定します。

アラーム設定

アラームに関する設定をします。

項目	設定値	内容
アラーム戻り時間	5 秒～ 10 秒 ● 15 秒 20 秒 25 秒 30 秒 戻らない	アラーム動作の時間を設定します。 “ 戻らない ” に設定すると、アラームを手動解除するまでアラームは解除されません。 “ 手動解除 ” (☞24 ページ)
優先モード	マニュアル ● アラーム - - -	モニター出力しているカメラをマニュアル操作しているときに、アラームが入った場合の動作を設定します。 マニュアル　：マニュアル操作中のカメラにアラーム入力があっても、アラーム動作しません。(マニュアル優先) アラーム　：マニュアル操作中である、なしに関わらずアラームが入ると、アラーム動作となります。(アラーム優先) - - -　：“ アラーム “ と同じ動作をしますが、設定値の変更は行えません。 **メモ：** ● “マニュアル” に設定した場合、[リモコン設定 ..] の [リモコンオプションキー] が “---” の設定になります。

システム設定（つづき）

夜間モード設定

夜間モードに関する設定をします。

項目	設定値	内容
実行ディレイタイマー設定	なし 30 秒 ● 1 分 2 分	夜間モードボタンを “ON” にしてから、実際に夜間モード（強制白黒切換、強制モーションディテクトなど）に切り換わるまでの時間を設定します。 “ 夜間モード ” (☞21 ページ) **メモ：** ● 夜間モードの設定は、カメラ側のメニューで行います。 ● タイマー作動中は夜間モード表示灯が点滅します。
カメラ夜間標準動作	非連動 ● **連動**	夜間モードの ON/OFF に連動して、カメラを [カメラタイプ / 標準状態設定 ..] で設定した［標準状態］にするかどうか設定をします。 非連動　：夜間モードを ON/OFF してもそれぞれの標準状態になりません。 連動　：夜間モードを ON/OFF すると連動してそれぞれの標準状態になります。 **メモ：** ● 優先リモコンが設定されている場合、“連動” の動作をできるのは優先リモコンだけです。

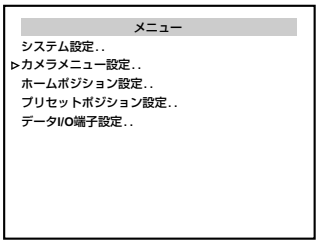
カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定

(カメラ側のメニュー)

各カメラと、ホームポジションにタイトルを付けます。あらかじめ設定することによって、ホームポジションの設定、プリセットポジションの設定などが、スムーズに行えます。

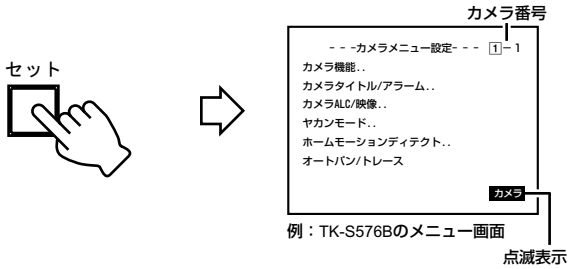
1 メニュー画面を起動させる (☞ 53 ページ)

- メニュー画面が表示されます。



2 [カメラメニュー設定 ..] を選択し、[セット] を押す

- カメラ側のメニューが呼び出され、表示されます。
- 画面右下に " カメラ " が点滅表示されます。
- 画面右上にカメラ番号が表示されます。



3 カメラタイトル、ホームポジションタイトルを設定する

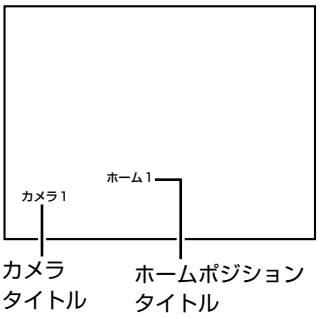
メモ :

- 接続カメラの種類によってメニューが異なります。詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。
- [システム設定 ..] の [カメラタイプ / 標準状態設定 ..] 項目で、カメラタイプが " 通信制御カメラ " 以外に設定されているカメラは選択できません。(☞ 58 ページ)

■ 表示例

- タイトルは画面左下に表示されます。

カメラタイトル　　: カメラ 1
ホームポジションタイトル　: ホーム 1



4 次のカメラのタイトルを設定する場合

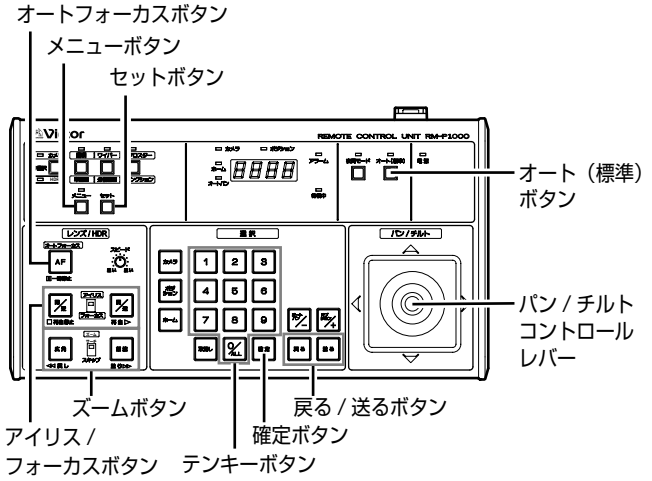
- [送る] ボタンを押します。
- 次のカメラの映像に切り換わります。

ホームポジション設定

接続カメラ全てのホームポジション映像を設定します。

ホームポジションとは：

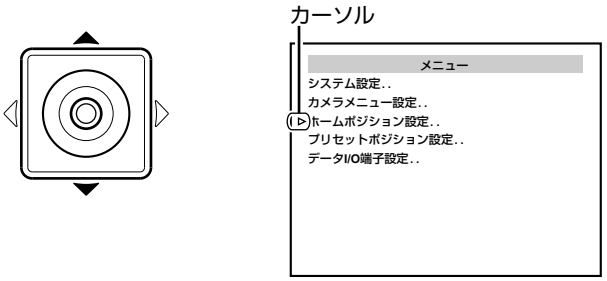
- オートシーケンス時に選択されるカメラ映像です。
  “ シーケンス動作 ”（☞18 ページ）
- 一般的にはズーム位置を広角側に設定し、全体がみわたせる位置に設定します。



ホームポジションの登録

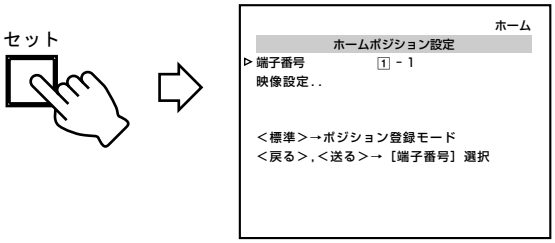
1 メニュー画面を起動させ、[ホームポジション設定 ..] 項目を選択する

パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、“ ホームポジション設定 ..” 項目にカーソル（▷）をあわせます。



2 [セット] を押す

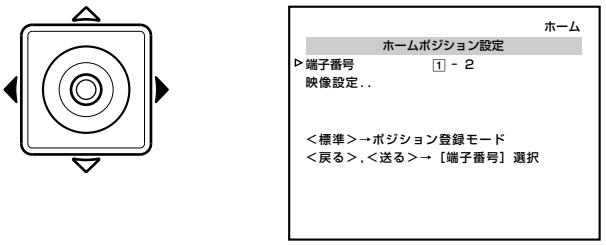
- ホームポジション設定画面が表示されます。



3 [端子番号] を選択する

パン / チルトコントロールレバー左右（◀/▶）で、設定したいカメラを選択します。

- カメラが切り換わり、選択されたカメラの映像に切り換わります。

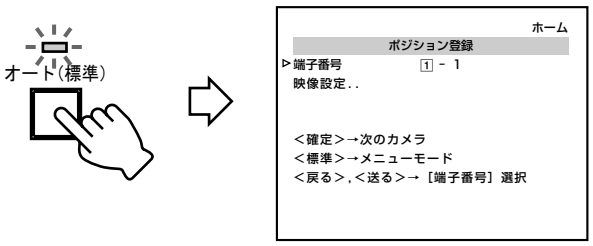


メモ：

- テンキーボタンでも、上記と同様に “ 端子番号 ” を選択することができます。端子番号 1 -1 を選択したいときは、テンキーボタンで [1]、[0]、[1] と入力して [確定] ボタンを押します。

4 [オート（標準）] を押す

- ポジション登録画面が表示され、ポジション登録モードになります。
- [オート（標準）] 表示灯が点灯します。



5 画角を設定する (☞ 16 ページ)

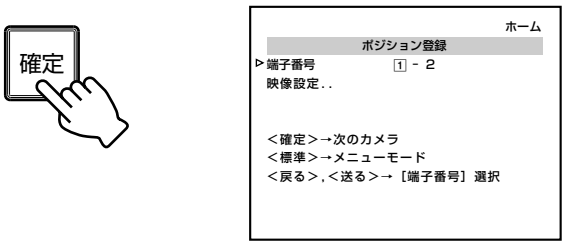
- [パン / チルト] ：カメラの向き
- [オートフォーカス（AF）] ：ピントの自動調節
- [アイリス（閉）/（開）]/ [フォーカス（近）/（遠）] ：映像のピント、明るさ
- [ズーム（広角）/（望遠）] ：画像のサイズ

メモ :

- [アイリス（閉）/（開）] および [フォーカス（近）/（遠）] ボタンを使用する場合、[アイリス / フォーカス] 切換スイッチを、画角設定したい方にあわせてから設定してください。
- ピントは [オートフォーカス（AF）] ボタンであわせます。あわない場合は、[フォーカス（近）/（遠）] ボタンで調整してください。

6 [確定] を押し、ホームポジションを登録する

- 画面に " ホームポジションを設定しました " と表示され、ホームポジションが登録されます。
- [端子番号] が次のカメラの番号に切り換わります。



メモ :

- [戻る]/[送る]ボタンを押しても上記と同様にポジションを設定することができます。
- [オート（標準）] ボタンを押してもポジションが登録されますが、この場合、ポジションが登録されたあと、手順 ***2*** のホームポジション設定画面に戻ります。
- [メニュー] ボタンを押すと、上位メニュー画面に戻ります。

ご注意 :

- [パン/チルト]操作をしながら[確定]ボタンを押すと、" 範囲外のポジション（チルト）" と表示されることがあります。この表示が出ると、ホームポジションは登録されません。[パン / チルト] 操作を停止して、再度 [確定] ボタンを押しポジションを登録してください。

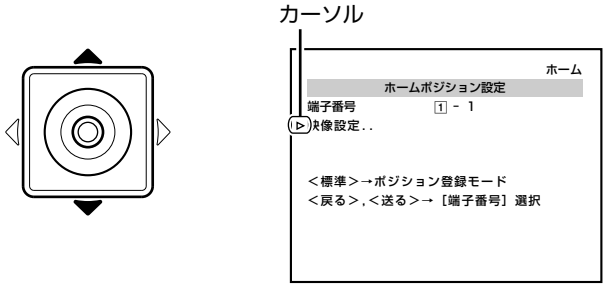
7 手順 *5*、*6* を繰り返し、全てのホームポジションを登録する

ホームポジション設定 (つづき)

ホームポジションの映像設定

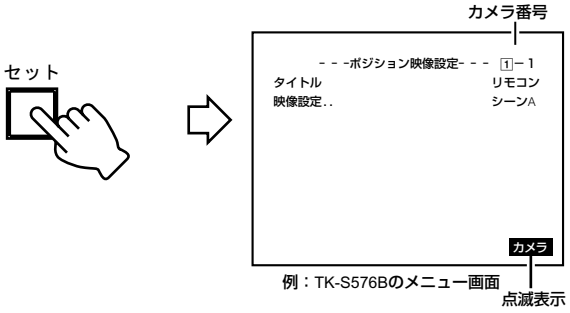
1 [ホームポジション設定 ..] 画面で、" 映像設定 " 項目を選択する

パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、" 映像設定 .." 項目にカーソル（▷）をあわせます。



2 [セット] を押す

- カメラ側のメニューが呼び出され、表示されます。
- 画面右下に " カメラ " が点滅表示されます。
- 画面右上にカメラ番号が表示されます。



メモ：

- 接続カメラの種類によってメニューが異なります。詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。

3 映像設定をする

- 必要に応じて細かい映像設定を行います。

ホームポジション設定画面

項目	設定値	内容
端子番号	1-1 ～ 1-4 ⬇ 4-1 ～ 4-4	ホームポジションを登録するカメラが接続されている端子番号を選びます。 端子番号の選択は [戻る]/[送る] ボタン、テンキーボタン、[パン / チルト] コントロールレバーで行えます。 **メモ：** ● 表示されるのは、[カメラタイプ/標準状態設定] (☞58ページ)で" 通信制御カメラ " に設定されたカメラの端子番号のみです。
映像設定	—	映像カメラのカメラ側メニューを表示します。 **メモ：** ● メニュー画面は、接続カメラの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。

プリセットポジション設定

接続カメラのプリセットポジションを設定します。

プリセットポジションとは：

- カメラごとに最大 255 ポジション（TK-S576B の場合）のプリセットポジションを設定することができます。(TK-S655：63 ポジション、TK-S625：31 ポジション、TK-S850：2 ポジション。)
- 一般的にプリセットポジションは、ズーム位置を望遠側に設定し、詳細な映像を監視する位置に設定します。

プリセットポジション設定手順

Step 1	**ポジションヘッダー設定 (☞ 74 ページ)** 全プリセットポジションの共通タイトル（ポジションヘッダー）を設定します ***1*** ポジションヘッダー表示の設定 ***2*** ポジションヘッダー編集 ***3*** 番号表示種別の設定

▼

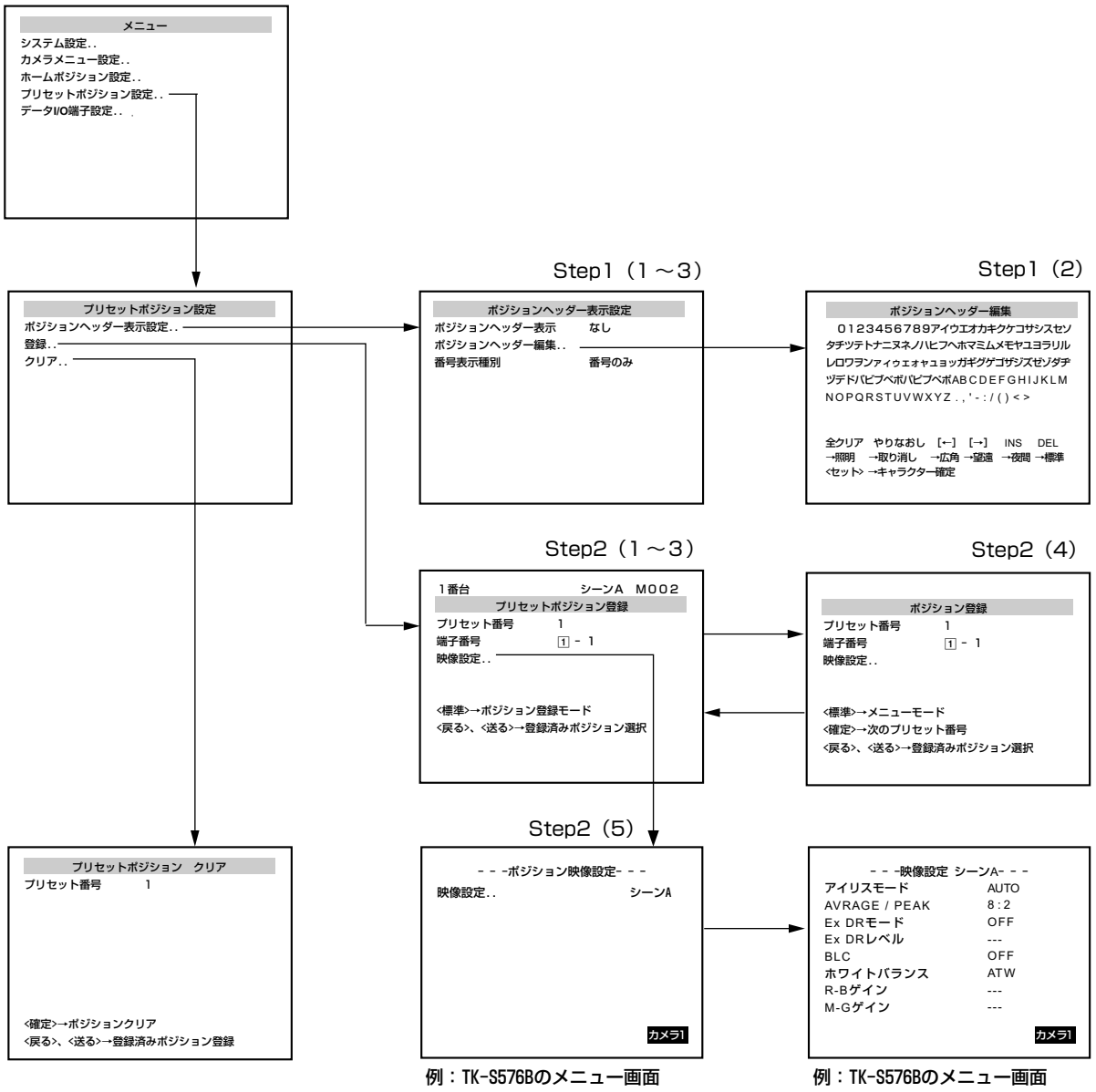
Step 2	**プリセットポジションの登録** **(☞ 75 ページ)** 画角の設定をし、ポジションを登録します。 ***1*** ポジションの設定 ***2*** プリセット番号の設定 ***3*** 端子番号の設定 ***4*** 各ポジションの画角の設定 ***5*** 必要に応じて、各ポジションの映像設定（カメラ側のメニュー） (☞ 使用カメラの「 取扱説明書 」)

メモ：

- 接続カメラの機種によっては、ポジションヘッダーが表示されないものもあります。
- プリセットシーケンスの開始番号と終了番号を設定することができます。“ モニター出力設定 ”(☞60 ページ)
- 画角の設定ができるのは通信制御カメラのみです。非通信制御カメラは、ポジション登録はできますが、画角の設定はできません。
- リレーボックスはプリセットポジション登録できません。

プリセットポジション設定（つづき）

メニューの流れ



例：TK-S576Bのメニュー画面　　例：TK-S576Bのメニュー画面

項目		設定値	内容
ポジションヘッダー表示設定			プリセットポジションのヘッダー表示設定を行います。 ポジションヘッダーは全プリセットポジション共通のタイトルです。
	ポジションヘッダー表示	あり ● **なし**	ポジションヘッダーを表示するかどうかの設定を行います。 (☞ 74 ページ)
	ポジションヘッダー編集	—	表示するタイトルを編集します。 タイトル文字数は最大 8 文字です。 (☞ 74 ページ)
	番号表示種別	番台 PO- NO. ● **番号のみ**	表示するプリセットポジション番号に文字を付けることができます。 **メモ :** ● “ 番台 ” は番号の後ろ、“PO-” 、“NO.” は番号の前に付きます。 （例） 77 番台 PO-77、NO.77
登録		—	プリセットポジションを登録します。 (☞ 75 ページ)
	プリセット番号	1 ～ 1600 （初期値 : 1）	ポジション登録するプリセットポジション番号を選択します。 **メモ :** ● テンキーボタン、[戻る]/[送る] ボタンで設定可能です。 ● 本メニューを起動したときのプリセット番号表示はポジション登録内容により、以下のように異なります。 プリセットポジション未登録時 : “1” を表示。 プリセットポジション再登録時 : 登録されている最も若いプリセット番号を表示。
	端子番号	1–1 ～ 1–4 ↓ 4–1 ～ 4–4	ポジション登録するカメラの接続された端子番号を選択します。
	映像設定		接続カメラのカメラ側のメニューを表示します。 **メモ :** ● 接続カメラの種類によってメニューが異なります。詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。
	クリア	—	登録されたプリセットポジションのデータを、プリセット番号単位で消去します。 クリアされたポジションは、ポジション選択することができません。

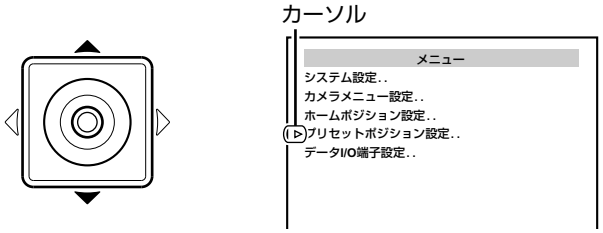
プリセットポジション設定（つづき）

ポジションヘッダーの表示設定

表示するタイトルを編集します。タイトル文字数は最大８文字です。

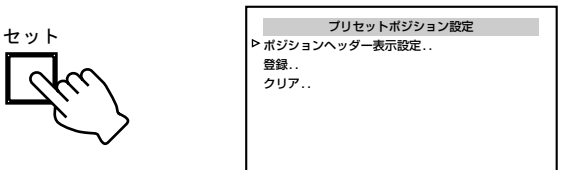
1 メニュー画面を起動させ、“ プリセットポジション設定 ..” 項目を選択する

パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、“ プリセットポジション設定 ..” 項目にカーソル（▷）をあわせます。



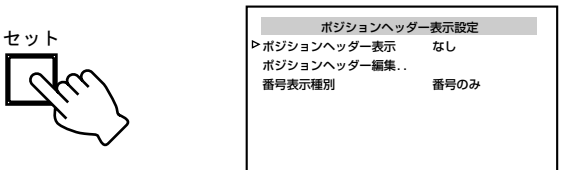
2 [セット] を押す

- プリセットポジション設定画面が表示されます。



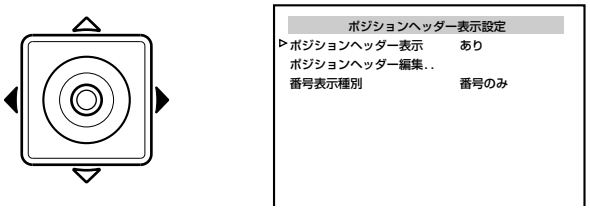
3 “ ポジションヘッダー表示設定 ” 項目を選択し、[セット] を押す

- ポジションヘッダー表示設定画面が表示されます。



4 [ポジションヘッダー表示]項目を“あり”に設定する

パン / チルトコントロールレバー左右（◀/▶）で、[ポジションヘッダー表示] 項目を “ あり ” に設定します。



メモ：

- “ あり ” に設定しないと、ポジションヘッダーは表示されません。

ポジションヘッダーの編集

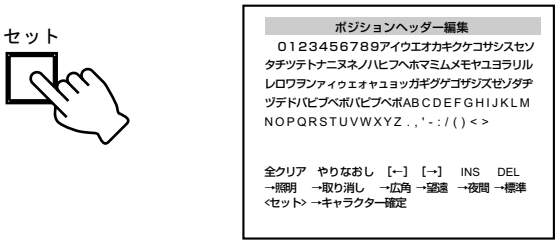
1 “ ポジションヘッダー表示設定 ” 画面を開く

[ポジションヘッダーの表示設定] (☞74 ページ)
手順 *1* ～手順 *3*

2 “ ポジションヘッダー編集 ” 項目を選択し、[セット] を押す

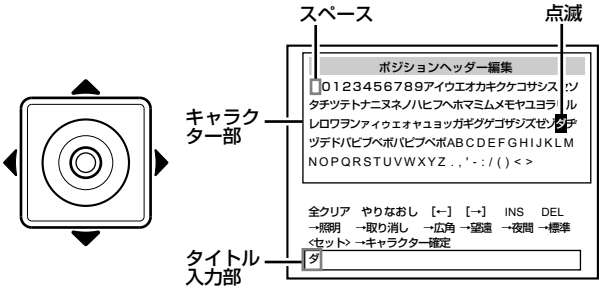
パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、“ ポジションヘッダー編集 ” 項目にカーソル（▷）をあわせ、[セット] ボタンを押します。

- ポジションヘッダー編集画面が表示されます。



3 文字を選択する

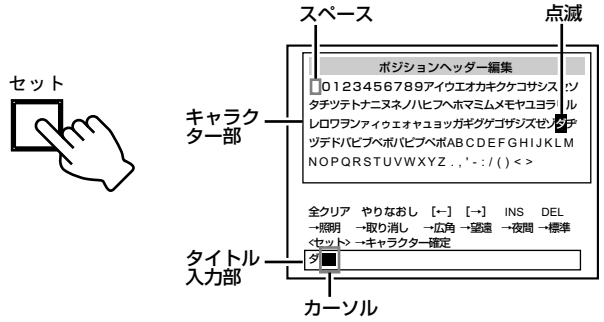
パン / チルトコントロールレバーを上下（▲/▼）、左右（◀/▶）に動かし、文字を選択します。



4 文字を確定する

[セット] ボタンを押し、文字を確定します。

- 確定された文字がタイトル入力部に表示され、カーソル（■）が次のマスに移動します。



5 全ての文字を入力する

- 手順 ***3***、***4*** を繰り返し、タイトルを完成させます。
- タイトル文字は 8 文字まで入力できます。

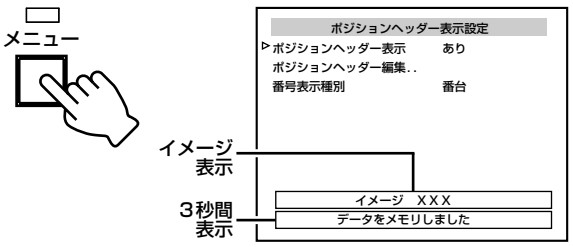
メモ：

- 操作方法詳細

操作方法		内容
モニター表示 ＋ ボタン操作	リモコンの ボタン操作	
全クリア選択 ＋ セット	照明	入力した文字を全消去。 編集文字が全て消され、カーソル位置は先頭に戻ります。
やりなおし選択 ＋ セット	取消	入力した内容を全てキャンセル。 カーソル位置は先頭に戻ります。
← 選択 ＋ セット	広角	カーソル位置をひとつ左へ移動
→ 選択 ＋ セット	望遠	カーソル位置をひとつ右へ移動
INS 選択 ＋ セット	夜間モード	カーソル位置にスペースを入れる
DEL 選択 ＋ セット	オート（標準）	カーソル位置の文字を消去

6 [メニュー] を押す

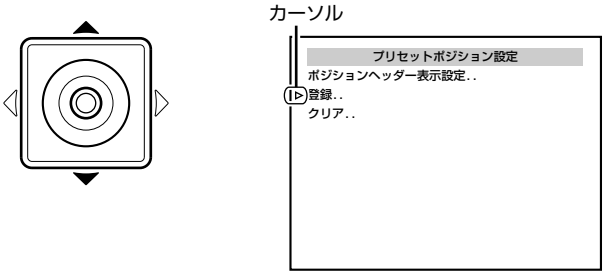
- タイトルが登録され、ポジションヘッダー表示設定画面に戻ります。
- モニター画面下に“データをメモリしました”と約3 秒間表示され、タイトルが登録されます。
- 入力したタイトルと、選択した番号表示がイメージとして画面上に表示されます。



プリセットポジションの登録

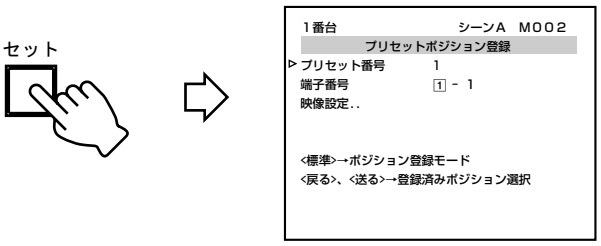
1 [プリセットポジション設定..] 画面で、“ 登録 ” 項目を選択する

パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、“ 登録 ” 項目にカーソル（▷）をあわせます。



2 [セット] を押す

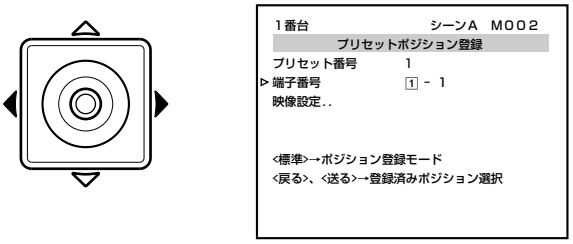
- プリセットポジション登録画面が表示されます。



3 [端子番号] を選択する

パン / チルトコントロールレバー左右（◀/▶）で、設定したいカメラが接続されている端子番号を選択します。

- 選択したカメラの映像に切り換わります。
- カメラ／ポジション表示部の [カメラ] 表示灯が点灯します。



メモ：

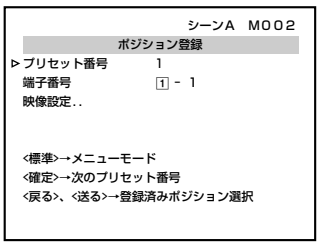
- テンキーボタンでも、上記と同様に “ 端子番号 ” を選択することができます。端子番号 1 -1 を選択したいときは、テンキーボタンで [1]、[0]、[1] と入力して [確定] ボタンを押します。

プリセットポジション設定（つづき）

プリセットポジションの登録（つづき）

4 [オート（標準）] を押す

- [ポジション登録] 画面が表示され、ポジション登録モードになります。
- [オート（標準）] 表示灯が点灯します。
- カメラ／ポジション表示部の [ポジション] 表示灯が点灯します。



5 画角を設定する (☞ 16 ページ)

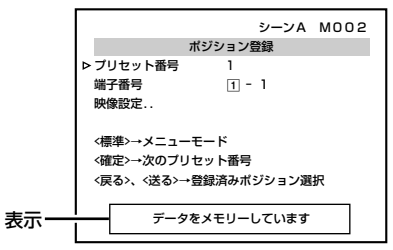
- [パン / チルト] ：カメラの向き
- [オートフォーカス（AF）] ：ピントの自動調節
- [アイリス（閉）/（開）]/ [フォーカス（近）/（遠）] ：映像のピント、明るさ
- [ズーム（広角）/（望遠）] ：画像のサイズ

メモ :

- [アイリス（閉）/（開）] および [フォーカス（近）/（遠）] ボタンを使用する場合、[アイリス / フォーカス] 切換スイッチを、画角設定したい方にあわせてから設定してください。
- ピントは [オートフォーカス（AF）] ボタンであわせます。あわない場合にフォーカスボタンで調整してください。
- TK-S850 の場合はズームのみの設定となります。

6 [確定] を押し、プリセットポジションを登録する

- 画面に “ データをメモリーしています ” と表示され、プリセットポジションが登録されます。
- [プリセット番号] が次の番号に切り換わります。



メモ :

- [オート（標準）] ボタンを押してもポジションが登録されますが、この場合、ポジションが登録されたあと、手順 ***2*** のプリセットポジション登録画面に戻ります。
- カメラの種類によって 1 台につき設定できるプリセットポジション数は異なります。
- 登録できるポジション数を超えてポジション登録をしようとすると、“ 全てのメモリーが登録済です。他のカメラを選んでください。” と表示され、手順 ***3*** の [プリセットポジション登録] 画面に戻ります。
- [メニュー] ボタンを押すと、上位メニュー画面に戻ります。
- [戻る]/[送る] ボタンを押すと、登録済みポジションの選択、確認ができます

ご注意 :

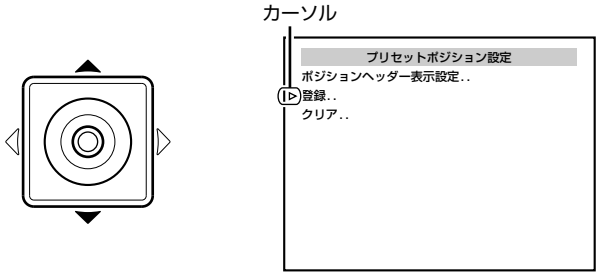
- [パン/チルト]操作をしながら[確定]ボタンを押すと、“ 範囲外のポジション（チルト）” と表示されることがあります。この表示が出ると、ホームポジションは登録されません。[パン / チルト] 操作を停止して、再度 [確定] ボタンを押し、ポジションを登録してください。

7 手順 *5*、*6* を繰り返し、必要なプリセットポジションを登録する

プリセットポジションの映像設定

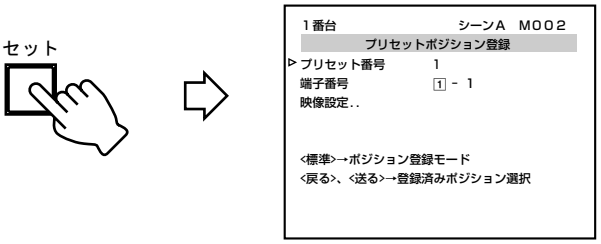
1 [プリセットポジション設定 ..] 画面で、“ 登録 ” 項目を選択する

パン / チルトコントロールレバー上下（▲/▼）で、“ 登録 ” 項目にカーソル（▷）をあわせます。



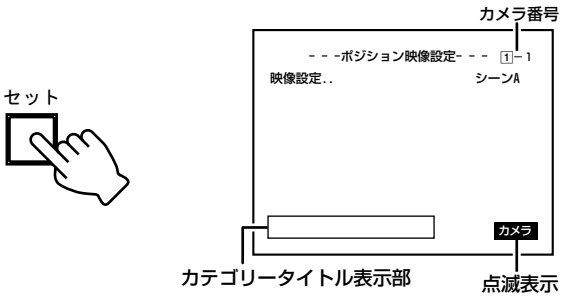
2 [セット] を押す

- プリセットポジション登録画面が表示されます。



3 [映像設定 ..] 項目を選択し、[セット] を押す

- カメラ側のメニューが呼び出され、表示されます。
- 画面右下に “ カメラ ” が点滅表示されます。
- 画面右上にカメラ番号が表示されます。



メモ :

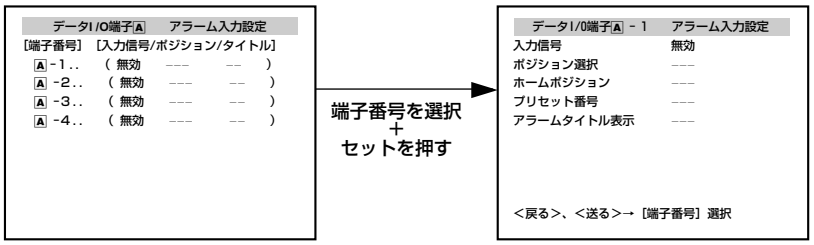
- 接続カメラの種類によってメニューが異なります。詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。
- カメラメニューにないカメラを使用している場合、画面に “ このカメラは映像設定をサポートしていません ” と表示されます。
- プリセット番号が 1 つも登録されていない場合、画面に “ このプリセット番号は登録されていません ” と表示されます。
- プリセットポジション表示は、カメラ側のメニュー設定で、“ リモコン ” または “ カメラ編集 ” を選択できます。詳しくは、ご使用のカメラの「 取扱説明書 」をご覧ください。

4 映像設定をする

- 必要に応じて細かい映像設定を行います。

データ I/O 端子設定

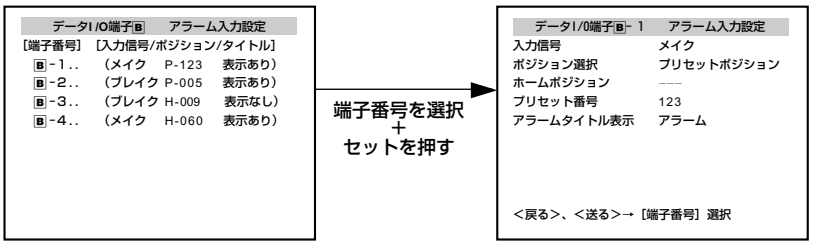
端子 A 設定

項目	設定値	内容
ユニット番号	1 ～ 4	設定を行う SW-U1403 のユニット番号を選択します。 システム設定 [SW-U1403 使用台数] 項目で設定されている台数分選択できます。 **メモ：** ● SW-U1403 が 1 台しか接続されていない場合は、1 に固定となり選択できません。
端子 A アラーム入力設定	A-1 ～ A-4	■ データ I/O 端子 A アラーム設定画面  **メモ：** ● [入力信号] 項目が " 無効 " に設定されている場合、全ての項目で "- - -" と表示され選択できません。 ● [入力信号] 項目が " 無効 " 以外に設定されている場合、ホームポジションは " H：＊＊＊ "、プリセットポジションは "P：＊＊＊ " と表示されます。 ● [カメラタイプ / 標準状態設定] (☞58ページ) で、" 通信制御カメラ " 以外に設定されている場合、[ポジション選択] 項目で " プリセットポジション " を選択するとメニュー画面上の右端に " # " が表示されます。設定を確認してください。 ● 選択したポジションが設定されていない場合、メニュー画面上の右端に " # " が表示されます。設定を確認してください。
入力信号	● 無効 メイク ブレイク	アラーム入力信号の極性を設定します。 無効 ：アラーム信号を入力しても、アラーム状態になりません。 メイク ：各アラーム入力端子と GND 端子の接点がオープンからクローズになったとき、アラームが入ります。 ブレイク ：各アラーム入力端子と GND 端子の接点がクローズからオープンになったとき、アラームが入ります。
ポジション選択	● ホームポジション プリセットポジション	アラーム入力時に、映像出力するカメラの状態を選択します。 ホームポジション ：アラーム信号の入力があった場合、ホームポジションの映像を出力します。 プリセットポジション ：アラーム信号の入力があった場合、プリセットポジションの映像を出力します。
ホームポジション	1–1 ～ 1–4 ⬇ 4–1 ～ 4–4 （初期値：1–1）	アラーム入力時に、映像を切り換えるカメラの番号を設定します。 **メモ：** ● [ポジション選択] 項目が " プリセットポジション " に設定されている場合、"- - -" と表示され選択できません。
プリセット番号	1～ 1600 （初期値：1）	アラーム入力時に、映像を切り換えるプリセットポジションの番号を設定します。 [セット] ボタンを押すと、選択されたプリセットポジションの映像を見ることができます。 **メモ：** ● [ポジション選択] 項目が " ホームポジション " に設定されている場合、"- - -" と表示され選択できません。 ● 設定されている一番若いポジション番号が表示されます。

端子 A 設定 (つづき)

項目	設定値	内容
端子 A アラーム入力設定 (つづき)	A-1 ～ A-4	
アラームタイトル表示	● なし アラーム ALARM A トラブル ドアオープン ケイホウ 呼出 異常発生 センサー シンニュウ カメラ編集 1 ～ カメラ編集 10	アラーム入力時に、モニターに表示するタイトルを設定します。 **メモ：** ● [カメラタイプ/標準状態設定..]で“通信制御カメラ”に設定されているカメラにのみ有効です。それ以外のカメラの場合は設定しても表示されません。 ● “ カメラ編集 1 ～ 10” は、カメラ側で設定されたタイトルです。

端子 B 設定

項目	設定値	内容
端子 B 入力設定	モニターセレクト出力 ● アラーム出力 アラーム入力	SW-U1403 背面の［アラーム入力 B/ 出力システムアラーム 1 ～4］端子の設定を行います。 モニター セレクト出力　：SW-U1403 のモニター出力に選択されたカメラ番号に対応して信号を出力します。 アラーム出力　：アラーム状態となったカメラ番号に対応して信号を出力します。複数のアラームの場合、複数の出力をします。 アラーム入力　：アラーム信号の入力端子となります。 **メモ：** ● [外部接続機器設定] (☞61 ページ) で [接続機種] が “SW-D410” または “SW-D1600” に設定されている場合、“- - -” と表示され選択できません。
端子 B アラーム入力設定	B-1 ～ B-4	■ データ I/O 端子 B アラーム設定画面  **メモ：** ● [入力信号]項目が“ 無効 ” に設定されている場合、全ての項目で“- - -” と表示され選択できません。 ● [入力信号] 項目が “ 無効 ” 以外に設定されている場合、ホームポジションは “H：＊＊＊ ”、プリセットポジションは “P：＊＊＊ ” と表示されます。 ● [カメラタイプ/標準状態設定] (☞58ページ)で、“ 通信制御カメラ ” 以外に設定されている場合、[ポジション選択] 項目で “ プリセットポジション ” を選択するとメニュー画面上の右端に “ # ” が表示されます。設定を確認してください。 ● 選択したポジションが設定されていない場合、メニュー画面上の右端に “ # ” が表示されます。設定を確認してください。

データ I/O 端子設定 (つづき)

端子 B 設定 (つづき)

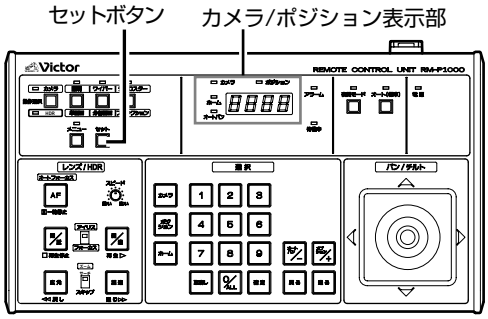
項目	設定値	内容
端子 B アラーム入力設定 (つづき)	B-1 ～ B-4	
入力信号	● 無効 メイク ブレイク	アラーム入力信号の極性を設定します。 無効　：アラーム信号を入力しても、アラーム状態になりません。 メイク　：各アラーム入力端子と GND 端子の接点がオープンからクローズになったとき、アラームが入ります。 ブレイク　：各アラーム入力端子と GND 端子の接点がクローズからオープンになったとき、アラームが入ります。
ポジション選択	● ホームポジション プリセットポジション	アラーム入力時に、映像出力するカメラの状態を選択します。 ホームポジション　：アラーム信号の入力があった場合、ホームポジションの映像を出力します。 プリセットポジション　：アラーム信号の入力があった場合、プリセットポジションの映像を出力します。
ホームポジション	1–1 ～ 1–4 ⬇ 4–1 ～ 4–4 (初期値：1–1)	アラーム入力時に、映像を切り換えるカメラの番号を設定します。 **メモ：** ● [ポジション選択]項目が“ プリセットポジション ” に設定されている場合、“- - -” と表示され選択できません。
プリセット番号	1～ 1600 (初期値：1)	アラーム入力時に、映像を切り換えるプリセットポジションの番号を設定します。 [セット] ボタンを押すと、選択されたプリセットポジションの映像を見ることができます。 **メモ：** ● [ポジション選択]項目が“ ホームポジション ” に設定されている場合、“- - -” と表示され選択できません。 ● 設定されている一番若いポジション番号が表示されます。
アラームタイトル表示	● なし アラーム ALARM A トラブル ドアオープン ケイホウ 呼出 異常発生 センサー シンニュウ カメラ編集 1 ～ カメラ編集 10	アラーム入力時に、モニターに表示するタイトルを設定します。 **メモ：** ● [カメラタイプ/標準状態設定..]で“ 通信制御カメラ ”に設定されているカメラにのみ有効です。それ以外のカメラの場合は設定しても表示されません。 ● “ カメラ編集 1 ～ 10” は、カメラ側で設定されたタイトルです。

設定時のメッセージ表示について

メッセージ表示	内容
パスワードが正しくありません	● パスワードが正しく入力されなかった場合に表示されます。再度パスワードを入力してください。
全ての端子を接続なしに設定できません	● [カメラタイプ / 標準状態設定] で、SW-U1403の全てのカメラタイプを “ 接続なし ” に設定した場合に表示されます。 この場合、カメラ 1 が強制的に “ 非通信制御カメラ ” に設定されます。
設定可能なカメラがありません （メニューボタンで戻ります）	● カメラメニュー設定およびホームポジション設定画面を起動したとき、通信制御カメラが 1 台も設定されていなかった場合に表示されます。
全てのメモリーが登録済です。他のカメラを選んでください。	● 通信制御カメラ 1 台に登録可能ポジション数※以上のプリセットポジションを登録しようとした場合に表示されます。 ※ TK-S576B ：255 ポジション TK-S655 ：63 ポジション TK-S625 ：31 ポジション TK-S850 ：2 ポジション
カメラ（＊）の変更によりプリセットは無効です！ クリアもしくは他のカメラで登録してください。 ＊：カメラ 1 ～ カメラ 16	● カメラ設定の変更などにより、既存のプリセット番号が無効になっているとき、プリセットポジション登録画面を起動すると表示されます。
このカメラは映像設定をサポートしてません	● プリセットポジション登録の映像設定にて、選択したポジションの登録カメラが、非通信制御カメラである場合に表示されます。
ポジションをクリアしました	● プリセットポジションのクリアを実行した場合に表示されます。
登録されているポジションはありません （メニューキーで戻ります）	● プリセットポジションのクリアを実行した結果、登録されているプリセットポジションが全てなくなった場合に表示されます。

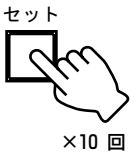
キーロック（誤操作防止）

誤操作防止のため、パネル上の全てのボタン、パン／チルトコントロールレバー操作をできなくするキーロック（誤操作防止）状態にすることができます。



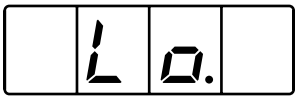
1 **[セット] を 5 秒以内に 10 回押す**

- キーロック（誤操作防止）状態となり、全ての操作は無効となります。



メモ：

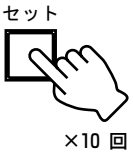
- キーロック状態で、何かのボタンを押したり、操作しようとするとカメラ／ポジション表示部に約 2 秒間［Lo.］と表示され、操作できません。
- メニュー操作中は、キーロック状態にすることはできません。

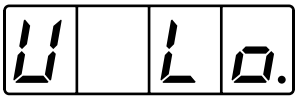


■ ロックの解除

1 **再度 [セット] を 5 秒以内に 10 回押す**

- カメラ／ポジション表示部に［U Lo.］と表示され、キーロック状態が解除されます。





こんなときは

こんなときは	ご確認ください	参照ページ
映像がでない	● コンビネーションカメラに AC24V 電源が接続されていますか？	カメラの「取扱説明書」
	● カメラタイプは正しく設定されていますか？	SW-U1403 の「取扱説明書」
	● SW-U1403 とモニターは正しく接続されていますか？	SW-U1403 の「取扱説明書」
カメラがイニシャライズ（初期設定動作）しない	● 使用可能なカメラヘッドを接続していますか？	—
カメラがイニシャライズ後、勝手な方向を向いてしまう	● ホームポジションは登録されていますか？	☞ 68 ページ
リモコン操作ができない	● カメラと SW-U1403 が正しく接続されていますか？	カメラの「取扱説明書」
	● リモコン2台使用時、カスケード接続が正しく接続されていますか？	☞ 8 ページ
	● カメラ本体の設定は正しく行われていますか？	カメラの「取扱説明書」
	● カメラタイプ / 標準状態設定は正しく行われていますか？ 電源を切り、表示されているカメラをはずしてから設定を確認してください。	☞ 58 ページ ☞ 59 ページ
	● 本機と SW-U1403 の接続は正しく行われていますか？ SW-U1403 を複数台使用するシステムの場合、モニターが接続できるのはマスターの SW-U1403、1台のみです。	SW-U1403 の「取扱説明書」
	● リモコンとモニター選択は正しく行われていますか？ 分割ユニットやハードディスクレコーダーなどの外部接続機器を使用するシステムの場合、SW-U1403 の外部接続機器設定が必要です。	☞ 61 ページ
	● キーロック（誤動作防止）状態になっていませんか？ 操作時に “Lo.” と表示されている場合は、キーロック状態です。解除してください。	☞ 82 ページ
画面に “ カデンリュウ ” を検出しました！接続されているカメラを確認してください。 1 [_ 2 _ _] 2 [1_ _4] 3 [_ _ 3 _] 4 [_ _ _ _] と表示される。	● SW-U1403 とカメラが正しく接続されていますか？	☞ 58 ページ
	● カメラタイプ／標準状態設定は正しく行われていますか？ 電源を切り、SW-U1403 と各カメラが正しく接続されているか確認してから、設定を確認してください。 (過電流を検出したカメラの端子番号が [_ _ _ _] 内に表示されます。)	☞ 59 ページ
[カメラ] ボタンでカメラが選択できない	● [オート（標準）] ボタンが押されていませんか？ [オート（標準）] ボタンを押し、消灯してからカメラを選択してください。	☞ 18 ページ
	● リモコンとモニター選択は正しく行われていますか？ 分割ユニットやハードディスクレコーダーなどの外部接続機器を使用するシステムの場合、SW-U1403 の外部接続機器設定が必要です。	☞ 61 ページ
ポジション選択できない	● [オート（標準）] ボタンが押されていませんか？ [オート（標準）] ボタンを押し、消灯してからカメラを選択してください。	☞ 18 ページ
	● ポジション登録されていますか？	☞ 71 ページ
パン / チルト操作をしたとき、カメラの動きが遅い	● パン／チルトスピードが “ 遅い ” に設定されていませんか？	☞ 8 ページ

こんなときは (つづき)

こんなときは	ご確認ください	参照ページ
オートシーケンスボタンを押しても、オートシーケンスできない	● ホームポジションは登録されていますか？	☞ 68 ページ
	● [モニター出力設定..] の [オートシーケンス設定..] は、“ あり ” に設定されていますか？	☞ 60 ページ
	● [シーケンスタイプ] が “ プリセットシーケンス ” に設定されていませんか？	☞ 60 ページ
	● [外部機器モニター出力設定] の [オートシーケンス] は “ あり ” に設定されていますか？ 外部機器を接続するときは、[外部機器モニター出力設定] の [オートシーケンス] を “ あり ” に設定してください。	☞ 62 ページ
分割ユニット (SW-D410/SW-D1600) のモニター出力の画面操作ができない	● 分割ユニット (SW-D410/SW-D1600) のリモート入力端子が SW-U1403 の [アラーム入力 B/ 出力] 端子に接続されていますか？	SW-U1403 の「 取扱説明書 」
	● [システム設定] メニューで、[外部接続機器設定 ..] の [接続機種] が “SW-D410/SW-D1600” に設定されていますか？	☞ 61 ページ
	● 分割ユニット (SW-D410/SW-D1600) のモニター出力に対象のリモコンが設定されていますか？	☞ 62 ページ
ハードディスクレコーダーの操作ができない	● ハードディスクレコーダー（VR-509/VR-516/VR-777DX）と SW-U1403 は、RS-232C ケーブルで接続されていますか？	SW-U1403 の「 取扱説明書 」
	● ハードディスクレコーダー VR-516C と SW-U1403 は、RS-485 ケーブルで接続されていますか？	SW-U1403 の「 取扱説明書 」
	● 本機背面の [設定１] のディップスイッチは、正しく設定されていますか？	☞ 8 ページ
	● [システム設定] メニューで、[外部接続機器設定 ..] の [接続機種] が正しく設定されていますか？	☞ 61 ページ
	● ハードディスクレコーダーのモニター出力に、対象のリモコンが設定されていますか？	☞ 63 ページ
	● “HDR” が選択されていますか？	☞ 30 ページ ☞ 38 ページ ☞ 44 ページ
アラームが入っても映像が切り換らない	● プリセットポジションは登録されていますか？	☞ 71 ページ
	● アラーム優先モードが “ マニュアル ” に設定されていませんか？	☞ 23 ページ ☞ 65 ページ
“NO SIGNAL” と表示される	● SW-U1403 とカメラが正しく接続されていますか？	☞ 58 ページ
	● カメラタイプ／標準状態設定は正しく行われていますか？ 電源を切り、SW-U1403 と各カメラが正しく接続されているか確認してから、設定を確認してください。	☞ 59 ページ

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望ににより有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	：リモートコントロールユニット
品番	：RM-P1000
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

■ 通信方式

: RS-485 規格準拠、全二重通信方式により、SW-U1403 や VR-516C と通信

■ 電源電圧

: DC 5 V

■ 消費電力

: 250 mA

■ 周囲温度

: 0 ℃～ 50 ℃（動作）
: 0 ℃～ 40 ℃（推奨）

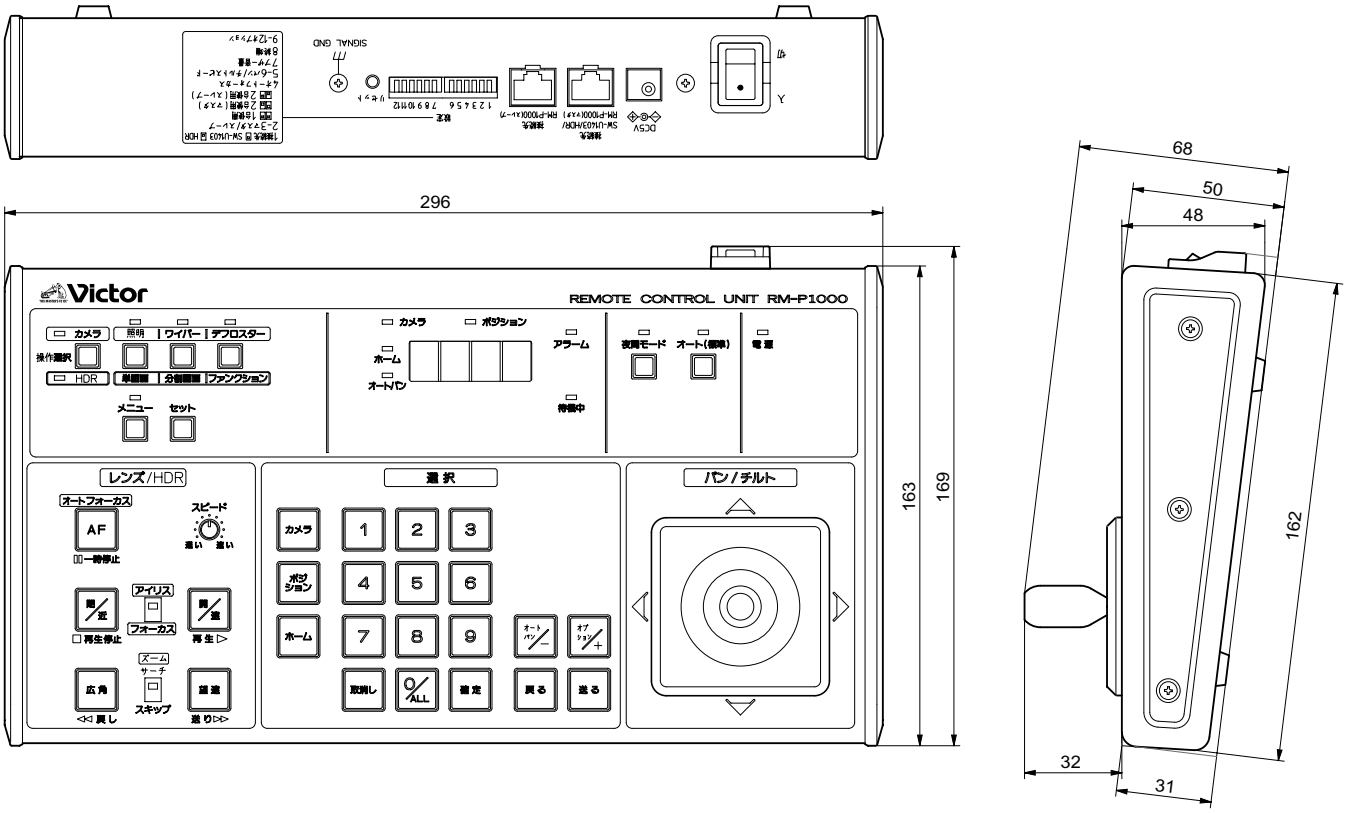
■ 許容動作湿度

: 30 %RH ～ 80 %RH

■ 質量

: 1.3 kg

■ 外形寸法図（単位：mm)



■ 添付物

取扱説明書 1
保証書 1
安全上のご注意 1
ビクターサービス窓口案内 1
AC アダプター 1
接続ケーブル 1
ケーブルクランプ 1
スクリュー（M3 ×8 mm) 1

※ 本機ならびに関連商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

RM-P1000　リモートコントロールユニット

お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950［代表］

FAX (045)450-2275

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（042）660-7245

© 2007 Victor Company of Japan, Limited

LST0502-001B